

令和5年度 黒坂警察署多里駐在所新築工事 設計図

図面目次											
建 築				電 気 設 備				機 械 設 備			
A-1	木造建築工事特記仕様書-1	—	A-16	平面詳細図	1/50	E-1	電気設備工事仕様書(1)	—	M-1	機械設備工事仕様書(1)	—
A-2	木造建築工事特記仕様書-2	—	A-17	展開図(1)	1/50	E-2	電気設備工事仕様書(2)	—	M-2	機械設備工事仕様書(2)	—
A-3	木造建築工事特記仕様書-3	—	A-18	展開図(2)	1/50	E-3	構内配電・通信線路	1/100	M-3	衛生設備 配置図 付近見取図	1/100
A-4	木造建築工事特記仕様書-4	—	A-19	展開図(3)	1/50	E-4	分電盤結線図・照明器具参考姿図	—	M-4	機器表・樹表	—
A-5	木造建築工事特記仕様書-5	—	A-20	展開図(4)・部分詳細図	1/10 1/50	E-5	電灯設備 平面図	1/50	M-5	衛生設備 平面図	1/50
A-6	木工事 補足特記仕様書(その1)	—	A-21	金属製建具表	1/100	E-6	コンセント設備 平面図	1/50	M-6	空調・換気設備 平面図	1/50
A-7	木工事 補足特記仕様書(その2)	—	A-22	木製建具表・家具図	1/100	E-7	弱電・火災報知設備 系統図・機器参考姿図	1/50			
A-8	付近見取図・概略工程表 敷地求積図・現況敷地図	1/200 1/30	A-23	システムキッチン・ユニットバス詳細図	1/30	E-8	弱電設備 平面図	1/50			
A-9	配置・外構図、擁壁・フェンス配置図	1/150									
A-10	外構詳細図	1/50 1/30	S-1	伏図(地盤改良・基礎)・基礎リスト	1/100						
A-11	仕上表	—	S-2	伏図(床・小屋)・筋かい配置図、木材仕様表	1/30 1/100						
A-12	平面図・求積図	1/100	A-3	軸組図	1/100						
A-13	天井伏図・屋根伏図	1/100									
A-14	立面図・断面図	1/100									
A-15	矩形図	1/30									

令和6年3月
その建築設計事務所

木造建築工事特記仕様書

I 工事概要

1. 工事場所 鳥取県日野郡日南町湯河
2. 敷地面積 400.10 m²
3. 地域・地区 1 都市計画区域（内（市街化区域・市街化調整区域・非線引き区域）外）
2 用途地域等（指定なし）
3 防火地域等（防火地域・準防火地域）指定なし
4. 工事概要
1. 建物

番号	名称	工事種別	構造	階数	建築面積(m ²)	延べ面積(m ²)
1	駐在所事務所用住宅	新築	木造	1	121.81	116.37

2. 工作物

3. 外構
道路舗装・側溝、敷地舗装・側溝・樹、擁壁、フェンス、掲示板、バリアー

4. 造園

II 建築工事仕様

1. 共通仕様
(1) 図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の「木造建築工事標準仕様書(平成31年度版)」(以下「木造標仕」という。)による。また、木造標仕に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の「公共建築工事標準仕様書(平成28年度版)」(以下「標仕」という。)による。
(2) 電気設備工事及び機械設備工事を本工事に含む場合は、電気設備工事及び機械設備工事はそれぞれの工事仕様書を適用する。
(3) 受注者は完了検査(中間検査を含む。)の検査には、特定行政庁(建築主事等)が求める検査に必要な資料等(報告書等)を用意すること。
2. 特記仕様
(1) 項目は、印の付いたものを適用する。
(2) 特記事項は、印の付いたものを適用する。
印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
印と印の付いた場合は、共に適用する。
(3) 特記事項に記載の()内表示番号は、木造標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。
(4) 特記事項に記載の【 . . . 】は、標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。
(5) 印は、「国等」による環境物品等の調達に関する法律(以下「グリーン購入法」という。)の特定調達品目を示す。判断の基準は「環境物品等の調達の推進に関する基本方針」(環境省のホームページからダウンロード可能)による。
(6) 木造標仕、標仕で「特記がなければ」以降に具体的な材料・工法・検査方法を明示している場合において、それらが関係法令の改定により(条例を含む)抵触する場合には、関係法令等の遵守(1.1.13)の規定を優先する。

章	項目	特記事項																																								
1 一般共通事項	① 適用基準等	○ 建築工事標準詳細(令和4年版) 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 ○ 建築工事監理指針(令和4年版) 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 ○ 監理工事写真撮影要領(令和5年版) 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 ・ 建築解体工事共通仕様書(令和4年版)・解説(令和5年版) 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 ・ 公共建築改修工事標準仕様書(令和4年版) 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 ・ 監理工事電子納品要領(令和3年版) 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修																																								
	② 届出手続等	工事の施工に伴い必要な官公署、その他への手続き、検査並びにその費用は本工事請負者の負担とする。(1.1.3) 工事現場における電気保安技術者は、鳥取県総務部営繕工事用電気工物作業保安規定第5条に定める工事担当技術者の職務を補佐し、当該工事の工事期間中自家用電気工物物の保安の業務をおこなうものとする。(1.3.3)																																								
	・ 電気保安技術者	建築工事安全施工技術指針及び建設公衆災害防止対策要領を参考に、工事安全計画書を監督職員に提出する。(1.3.8)																																								
	・ 工事安全計画書	建築工事安全施工技術指針及び建設公衆災害防止対策要領を参考に、工事安全計画書を監督職員に提出する。(1.3.8)																																								
・ 発生材等の処理等	・ 特定建設資材の分別解体等及び再資源化等 本工事は、特定建設資材を用いた建築物等に係る解体工事又はその施工に特定建設資材を使用する新築工事であって、その現場が「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」(平成12年5月31日 法律第104号。以下「建設リサイクル法」という。)施行令又は都道府県が条例で定める建設工事の規模に関する基準以上の工事であるため建設リサイクル法に基づき分別解体等及び特定建設資材の再資源化等の実施について適正な措置を講ずることとする。 工事契約後に明らかになったやむを得ない事情により、予定していた条件により難しい場合は、監督職員と協議するものとする。 また、分別解体・再資源化等の完了時に、再資源化等が完了した年月日、再資源化等をした施設の種類及び所在地、再資源化等に要した費用を書面に監督職員に報告する。																																									
分別解体の方法		<table border="1"><thead><tr><th rowspan="2">工種</th><th rowspan="2">作業内容</th><th colspan="2">分別解体等の方法</th></tr><tr><th>手作業</th><th>手作業、機械作業併用(範囲)</th></tr></thead><tbody><tr><td rowspan="2">・ 新築工事</td><td>・ 造成等の工事</td><td>・</td><td>・(※)図示</td></tr><tr><td>・ 基礎等の工事</td><td>・</td><td>・(※)図示</td></tr><tr><td rowspan="2">・ 増築工事</td><td>・ 基礎等の工事</td><td>・</td><td>・(※)図示</td></tr><tr><td>・ 上部構造部分の工事</td><td>・</td><td>・(※)図示</td></tr><tr><td></td><td>・ 外装の工事</td><td>・</td><td>・(※)図示</td></tr><tr><td></td><td>・ 屋根の工事</td><td>・</td><td>・(※)図示</td></tr><tr><td></td><td>・ 建築設備工事</td><td>・</td><td>・(※)図示</td></tr><tr><td></td><td>・ 内装等の工事</td><td>・</td><td>・(※)図示</td></tr><tr><td></td><td>・ その他</td><td>・</td><td>・(※)図示</td></tr></tbody></table>	工種	作業内容	分別解体等の方法		手作業	手作業、機械作業併用(範囲)	・ 新築工事	・ 造成等の工事	・	・(※)図示	・ 基礎等の工事	・	・(※)図示	・ 増築工事	・ 基礎等の工事	・	・(※)図示	・ 上部構造部分の工事	・	・(※)図示		・ 外装の工事	・	・(※)図示		・ 屋根の工事	・	・(※)図示		・ 建築設備工事	・	・(※)図示		・ 内装等の工事	・	・(※)図示		・ その他	・	・(※)図示
工種	作業内容	分別解体等の方法																																								
		手作業	手作業、機械作業併用(範囲)																																							
・ 新築工事	・ 造成等の工事	・	・(※)図示																																							
	・ 基礎等の工事	・	・(※)図示																																							
・ 増築工事	・ 基礎等の工事	・	・(※)図示																																							
	・ 上部構造部分の工事	・	・(※)図示																																							
	・ 外装の工事	・	・(※)図示																																							
	・ 屋根の工事	・	・(※)図示																																							
	・ 建築設備工事	・	・(※)図示																																							
	・ 内装等の工事	・	・(※)図示																																							
	・ その他	・	・(※)図示																																							

① 環境への配慮

① 材料の品質等

① 特別な材料の工法

① 技能士

特定建設資材廃棄物の種類と再資源化等をする施設		
特定建設資材廃棄物の種類	再資源化等をする施設の種類	所在地
・ コンクリート		
・ コブト及び鉄から成る建設資材		
・ 木材		
・ アスファルト・コンクリート		

化学物質を放射させる建築資材等 (1.4.1)
本工事の建物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の(1)から(4)を満たすものとする。

- 1) 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、遮熱材、断熱材、土壌上塗材は、アセトアルデヒド及びスチレンを放射しない又は放射が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放射量」の区分に応じた材料を使用する
- 2) 接着剤及び塗料にトルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する
- 3) 接着剤は、可塑剤(フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑剤を除く)が添加されていない材料を使用する
- 4) 1)の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器等は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを放射しないが、放射が極めて少ない材料を使用したものとする。また、設計図書に規定する「ホルムアルデヒド放射量」は、次のとおりとする。

- ホルムアルデヒド放射量 規制対象外
- ① 建築基準法施行令第20条の第7第1項に定める第一種、第二種及び第三種ホルムアルデヒド発散建築材料以外の材料
 - ② 建築基準法施行令第20条の第7第4項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料
- ホルムアルデヒド放射量 第三種
- ① 建築基準法施行令第20条の第7第1項に定める第三種ホルムアルデヒド発散建築材料
 - ② 建築基準法施行令第20条の第7第4項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料
- 国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律(平成12年法律第100号)に基づく環境物品等の調達の推進に関する基本方針における公共工事の配慮事項に留意すること。

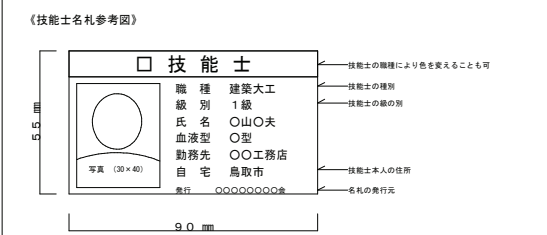
材料・機材等の品質及び性能 (1.4.2)
1) 本工事に使用する材料は、設計図書に定める品質及び性能の他、通常すべき品質及び性能を有するものとする
2) 本工事に使用する材料のうち、3)に指定する材料の製造業者等は、次の(1)～(6)の事項を満たすものとし、その証明となる資料(外部機関が発行する証明書等の写し)を監督職員に提出して承認を受けるものとする。ただし、あらかじめ監督職員の承認を受けた場合はこの限りではない
(1) 品質及び性能に関する試験データが整備されていること
(2) 生産施設及び品質の管理が適切に行われていること
(3) 安定的な供給が可能であること
(4) 法令等定める許可、認可、認定又は免許を取得していること
(5) 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること
(6) 販売、保守等の営業体制が整えられていること
3) 製造業者等に関する資料の提出が必要な材料

床型待用鋼製デッキプレート	オーバーヘッドドア
鉄骨柱下無収縮モルタル	防水材
無収縮グラウト材	現場発泡断熱材
乾式保護材	フリーアクセスフロア
既成調合モルタル	可動間仕切
ルーフドレイン	移動間仕切
給水調整材	トイレブース
アルミニウム製建具	煙突用成形ライニング材
鋼製建具	天井吊钩口
鋼製軽量建具	床点検口
ステンレス製建具	グレーチング
錠前類	塵上緑化システム
クローザ類	トポライト
自動扉機構	エボキシ樹脂
自閉式上吊り引戸機構	ポリマーセメントモルタル
重量シャッター	既成調合目地材
軽量シャッター	鋼鉄鋳込み

標準仕様書に記載されていない特別な工法については、材料製造所の指定する工法とする。

下表より適用する技能士は、適用する工事作業中、1名以上の者が自ら作業をすると共に、他の技能者 (1.5.2) に対して、施工品質の向上を図るための作業指導を行うこと
(技能士：職業能力開発促進法による一級技能士又は第二等級の資格を有する者)
また、その技能士はその者が技能士であることがわかる名札を常時着用すること

工事種目	技能検定職種	技能検定作業
仮設工事	とび	○とび作業
鉄筋工事	鉄筋施工	○鉄筋組立作業
コンクリート工事	型枠施工	○型枠工事作業
	コブト引込送施工	○コブト引込送工事作業
鉄骨工事	鉄工	・ 構造物鉄工作業
	とび	・ とび作業
	塗装	・ 建築塗装作業
コブトアロウ・E-1&E-2	アロウ建築	・ コブトアロウ工事作業
柱・押出成型コブト板工事	E-1&E-2 柱施工	・ E-1&E-2 柱工事作業
防水工事	防水施工	・ F27F28防水工事作業 ・ 外付け土系遮断防水工事作業 ・ F77F82土系遮断防水工事作業 ・ 合成土系防水工事作業 ・ 強化土系防水工事作業 ・ 土系防水工事作業 ○アロウ防水工事作業 ・ 改良F27F28F29防水工事作業 F97防水工事作業
石工事	石材施工	・ 石張り作業
タイル工事	タイル張り	○タイル張り作業
木工工事	建築大工	○大工工事作業
屋根及びとい工事	建築板金	○内外装板金作業
	スレート施工	・ スレート工事作業
金属工事	内装仕上施工	・ 鋼製下地工事作業
	建築板金	○内外装板金作業
左官工事	左官	○左官作業
建具工事	サッシ施工	・ ビム用サッシ工事作業
	ガラス施工	○ガラス工事作業
	ガラス用ガラス施工	・ 建築フィルム作業
	木製建具加工	・ 木製建具加工作業
	自動ドア施工	・ 自動ドア工事作業
カチンカチン工事	カチンカチン施工	・ 金属製カチンカチン工事作業
塗装工事	塗装	○建築塗装作業
内装工事	内装仕上施工	○アクリル系床仕上げ工事作業 ○ビニル系仕上げ工事作業 ・ カチンカチン系仕上げ工事作業(2級及びF27F28F29系仕上げ工事作業を含む)
	塗装	○壁紙作業
	配管	・ 建築配管作業
排水工事	配管	○排水用パイプ工事作業 ・ 加熱パイプ工事作業
舗装工事	路面表示施工	○路面表示工事作業 ・ 加熱パイプ工事作業
屋根工事	造園	・ 造園工事作業
養生工事	養生	・ 養生作業



- ・ 施工の検査等 (1.5.5)
見本施工の実施 ・ 行なう
見本施工を行なう製品 ()

① 化学物質の濃度測定 (1.7.3)
図示した室のホルムアルデヒド、スチレン、トルエン、キシレン、エチルベンゼンの室内濃度を測定し、厚生労働省が定める指針値以下であることを確認し、監督職員に報告する
・ パラジロクロベンゼンを追加して分析を行う
測定対象室 ()
パッシブ型採取機器を用いて測定を行う場合には、次の要領で測定及び分析を行う

- ① 30分間換気
測定対象室のすべての窓及び扉(造り付け家具、押し入れ等の収納部分の扉を含む)を開放し、30分間換気する
- ② 5時間閉鎖
①の後、測定対象室すべての窓及び扉を5時間閉鎖する。ただし、造り付け家具、押し入れ等の収納部分の扉は開放したままとする
- ③ 測定
イ ②の状態のまま測定する
ロ 測定時間は、原則として24時間とする。ただし、工程等の都合により、24時間測定が行えない場合は、8時間測定とする。なお、8時間測定の場合は、午後2時～3時が測定時間帯の中央となるよう、10時30分～18時30分までの時間帯で測定する
ハ 測定回数1回とし、複数回の測定は不要とする
- ④ 分析
測定対象化学物質を採取したパッシブ型採取機器を分析機関に送付し、濃度を分析する
- ⑤ その他
監督職員から測定方法に関する注意事項等の指示を受けること

下記のものを監督職員に提出する

区分	分類・規格	撮影箇所	部数	備考
※ 工事記録写真	カラーサービス判	各工種の工種毎	1部	
※ 完成写真	カラーサービス判	○ 内部 8箇所 ○ 外部 4箇所	2部	
・	カラーキャビネ判	・ 内部 箇所 ・ 外部 箇所	部	
・ パネル	カラー	・ 四切 箇所 ・ 半切 箇所 ・ 全紙 箇所	2部	
・				
・				

○ 電子データ又はナガの提出[工事記録写真] (・ 要 ○ 不要)
○ 電子データ又はナガの提出[完成写真] (○ 要 ○ 不要)

- ① 完成時の提出図書 (1.7.2)
下記のことを監督職員に提出する
※ 原図A1版又はA2版(設計図の第2原図訂正不可) 1部
※ CADデータ 1式
※ 原図の2つ折製本 2部
※ 原図の縮小版の2つ折製本(A4版) 2部
・ 複写 縮小版A3バrou 部

- 完成図の種類及び内容
- 案内図・配置図・面積表：配置図には外構整備、屋外給排水系統図含む(BMの表示)
 - 平面図：室名、耐震壁(防火壁)、避難施設等を表示する
 - 立面図：外壁仕上等を表示する
 - 断面図：階高、天井高等を表示する
 - 仕上表：屋外、屋内(各階)の仕上表を表示する
 - 構造図：杭、構造躯体等を表示する
 - その他：監督職員の指示による
 - 原図ケース：製本面の背表紙に「施設コード・部局名称」ラベルを貼付すること

提出した施工図及び施工計画書の著作権に係わる当該建物に関する使用権は、発注者に移譲するものとする (1.7.2)

設備工事との取り合い	建築	電気設備	機械設備
○コンクリート壁、床等貫通部	補強	※	-
○埋込分電盤・端子盤・プルボックスの仮枠及び埋込部分の補強	スリーブ・箱入れ	-	※
○埋込形機器取付用の天井、壁の切込加工	仮枠	※	※
○下地の補強	補強	-	-
○天井吊钩口	※	-	-
○基礎部のコンクリート基礎	屋内・屋外設置	※	※

- ① 設計図 (1.7.3)
建築基準法に基づき定められた区分等
基準風速 $V_{0} = 30 \text{ m/s}$
地表面粗度区分 ・ I ○ II ○ III ○ IV
積雪区分 建設省告示第1455号 別表(33)

- 下記のものをJIS A4版ファイルに製本して監督職員に提出する。 (1.7.3)
- 主な主要資材、機器等のメーカー及び施工者一覧表
 - 機密性能試験成績書及び取扱説明書
 - 保証書
 - 官公署届出書類(領収に必要とするもの)
 - 建築物の保守に関する説明書、指導案内書
 - ・
 - ・

工事目的物及び工事材料等工事施工中の事故に伴う損害を円滑に補償するため火災保険等に参加する。保険の加入期限 ※工事完成後引き渡しまでの間

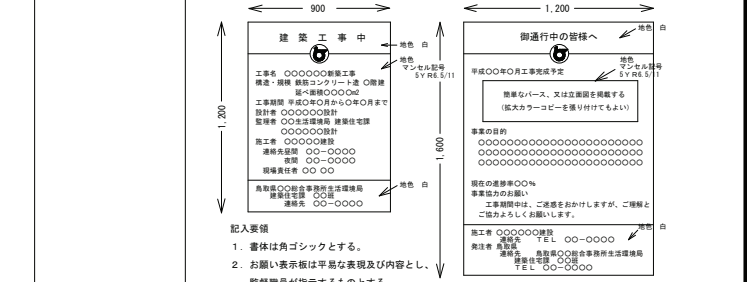
- ・ 建設リサイクル法
※ 対象工事 ・ 対象外工事

- ・ 鳥取県福祉のまちづくり条例
※ 対象工事 ・ 対象外工事

- ・ 鳥取県景観形成条例 ※ 対象工事 ・ 対象外工事
- ・ 省工手法 ※ 対象工事 ・ 対象外工事
- ・ 鳥取県公共事業環境配慮指針 ※ 対象工事 ・ 対象外工事

- ② 足場その他 (2.3.1)
足場を設ける場合は、公共建築工事標準仕様書(建築工編)平成25年版2.2.4(b)によるほか、設置においては「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」の(2)の手すり設置方式又は(3)の手すり先行専用足場方式により行うこと

- ① 監督職員事務所 (2.3.1)
※ 設ける m² ○ 設けない
現場に常備する備品等は、監督職員の指示を受けて設置すること



- ① 工事用水
構内既存の施設 ※ 利用できない ・ 利用できる (※ 有償 ・ 無償)
- ① 工事用電力
構内既存の施設 ※ 利用できない ・ 利用できる (※ 有償 ・ 無償)
- ・ 工事用仮設物
構内既存の施設 ・ できる ・ できない
- ・ 工事現場のハザードマップ

- ③ 土工・地業・基礎工事
① 埋戻し及び盛土 (3.2.3)【表3.2.1】
埋戻し 種別 ・ A種 ※ B種 ・ C種 ・ D種
・ 建設汚泥から再生した処理土[G]
C種の場合(建設発生土受入量()m³発生場所)
D種の場合は「セメント及びセメント系高固化材を使用した改良土の六価クロム溶出試験実施要領(案)」により、六価クロム溶出試験を行う。

- 盛土 種別 ・ A種 ※ B種 ・ C種 ・ D種 (3.2.3)【表3.2.1】
・ 建設汚泥から再生した処理土[G]
C種の場合(建設発生土受入量()m³発生場所)
D種の場合は「セメント及びセメント系高固化材を使用した改良土の六価クロム溶出試験実施要領(案)」により、六価クロム溶出試験を行う。

- ① 建設発生土の処理 (3.2.5)
※ 郊外指示の場所に処分
・ 構内指定場所に敷き均し
・ 構内指定場所にたい積

- ① 地業工事 (4.5.4)【4.5.5】
・ 杭基礎
支持地盤の位置及び種類(基礎杭の先端の位置含む)
・ 図示による()
・ 連続基礎
支持地盤の位置及び種類(基礎地盤の位置含む)
・ 図示による() ・ 構造図による

- ・ 支持地盤 (4.5.4)【4.5.5】
・ 杭基礎
支持地盤の位置及び種類(基礎杭の先端の位置含む)
・ 図示による()
・ 連続基礎
支持地盤の位置及び種類(基礎地盤の位置含む)
・ 図示による() ・ 構造図による

- ① 砂利地業 (4.6.2)【4.6.3】
材料
○ 再生クラッシュラン [G] ・ 切込砂利及び切込砕石 ○ クラッシュラン
砂利厚さ
・ 60mm ○ 図示による

- ① 適用場所 (4.6.2)【4.6.3】
・ 基礎床下、基礎スラブ下、土間コンクリート下、土に接するスラブ下
○ 図示による()

- ① 積コンクリート地業 (4.6.4)【4.6.5】
積コンクリート厚さ
・ 50mm ○ 図示による

- ① 施工範囲 (6.14.1)
・ 基礎床下、基礎スラブ下、土に接するスラブ下
○ 図示による()

- ① 設計基準強度 (6.14.1)
・ 18N/mm² ○ 図示による

- ① スラブ (6.14.1)
・ 15cm ・ 18cm ○ 図示による

- ① 施工範囲 (4.6.5)
○ 建物内の土間スラブ及び土間コンクリート下(ピット下を除く)
・

- ① 防湿工法 (4.6.5)
○ ポリエチレンフィルム厚さ0.15mm以上
防湿層の位置
○ 図示による()



鉄筋	鉄筋の種類	[5.2.1] 【表5.2.1】	
	種類	呼び径 (mm)	備考
	SD295A	D16以下	
	SD345	D19以上	
鉄筋の継手	継手方法等	[5.3.4] 【5.5.2】	
	部 位	継 手 方 法	呼 び 径 (mm)
	柱、梁の主筋	・ 方ス圧接	D19以上
	耐力壁の鉄筋	・ 重ね継手	
鉄筋の定着の方法及び長さ	主筋及び耐力壁の重ね継手の長さ	[5.3.4]	
	本造構造関係共通事項 (配筋標準図) 4.1(a)による		
	示による()		
	示による()		
鉄筋の定着の長さ	鉄筋の定着長さ	[5.3.4]	
	本造構造関係共通事項 (配筋標準図) 4.1(b)による		
	示による()		
	示による()		
鉄筋のかぶり厚さ	最小かぶり厚さ (自地底から算出を行う)	[5.3.5] 【表5.3.6】	
	本造構造関係共通事項 (配筋標準図) 表5.1による		
	示による()		
	示による()		
各部配筋	柱及び梁の主筋にD29以上の使用の有無		
	無し		
	有り 適用箇所()		
	最小かぶり厚さ	・ 鉄筋径の1.5倍以上	
圧接完了後の試験	重量コンクリートで土に接する部分		
	無し		
	有り 適用箇所()		
	本造構造関係共通事項 (配筋標準図) 表4.11に定める厚さ () mm		
コンクリートの使用骨材による種類及び強度	耐久性上不利な部分 (塩害等を受けるおそれのある部分等)		
	無し		
	有り 適用箇所()		
	本造構造関係共通事項 (配筋標準図) 表4.11に定める厚さ () mm		
レイディーミストコンクリートの種類	鉄筋相互のあき (特殊な鉄筋を除く)	[5.3.5] 【図5.3.6】	
	本造構造関係共通事項 (配筋標準図) 5.1(d)による		
	示による()		
	示による()		
気乾単位容積重量	各部配筋	[5.3.7]	
	本造構造関係共通事項 (配筋標準図) による		
	示による()		
	示による()		
セメント	外観試験	[5.4.9]	
	※ 行う (全数)		
	採取試験		
	超音波探傷試験		
骨材	試験の箇所数等		
	「標仕」 5.4.9, 5.4.10による		
	引張り試験		
	試験片の標識数は、1ロットに対して(※3本)とする		
試験ロット: 1組の作業班が1日に行った圧接箇所とする。なお、200箇所を超えときは200箇所ごととする。			
試験片を採種した箇所の処置: ガス圧接			
コンクリート工事	普通コンクリートの設計基準強度	[6.2.2] 【表6.2.2】	
設計基準強度 (N/mm ²)	スラップ	適用箇所	
24	18 15	示	
21	18 15	示	
18	18 15	示	
軽量コンクリートの設計基準強度	[6.2.1] 【6.2.2】 【6.2.4】 【表6.2.2】		
設計基準強度 (N/mm ²)	スラップ	適用箇所	
種 別	[6.2.1] 【表6.2.1】		
※ 1類 (JIS A 5308「レイディーミストコンクリート」に適合) 2類			
普通コンクリート	※ 2.1t/m ³ 程度		
軽量コンクリート			
種 類	[6.3.1] 【6.13.2】 【表6.3.1】		
※ 普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種 使用部位(下記以外全て)			
普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R 5210 に示された規定の他、水和熱が7日目で352J/g以下、かつ28日目で402J/g以下のものとする。			
高炉セメントB種 [G] 使用部位(1FLより下部(立上り部含む))			
フライアッシュセメントB種 [G] 使用部位()			
アルカリシリカ反応性による区分	[6.3.1]		
※ A B (※コンクリート中のアルカリ総量 Rt=3.0kg/m ³ 以下)			

レディーミストコンクリート製造工場の選定	混和材料	[6.3.1] 【6.3.2】				
	混和剤					
	混和剤の種類	・ 「標仕」 6.3.1(d) (1)による				
	混和剤の種類	・ 「標仕」 6.3.1(d) (H)による				
無筋コンクリート	生コンクリート工場を選定する際には、JISマーク表示認定工場、かつ、コンクリート主任技師等の常駐と全国品質管理監査会員の策定した統一監査基準に基づく監査に合格した工場から選定すること。	[6.4.1]				
	適用箇所					
	「標仕」 6.14.1(e)による箇所					
	「標仕」 6.14.1(e)以外の箇所					
コンクリートの仕上り	設計基準強度	[6.14.1]				
	スラップ	15cm 18cm				
	目地寸法	※9, 7, 3による				
	間隔	※示による				
型枠	位置	※示による				
	ひび割れ誘発目地					
	打継目地					
	ひび割れ誘発目地、打継目地の深さ寸法は、打増し厚さ部で処理する					
防炎・防蟻処理	部材の位置及び断面寸法の許容差の標準値	[6.2.5] 【表6.2.3】				
	「標仕」 表6.2.3による					
	合板せき板を用いるコンクリートの打放し仕上げ	[6.2.5] 【6.6.6】 【6.8.3】 【表6.2.4】				
	種 別	適用箇所				
4 木造工事	合板	[6.8.3]				
	合板(12mm)					
	断熱材の使用					
	行わない 行う					
5 軸組構法・軸組構造系工事	MCR工法用シート					
	用いる					
	打増し厚さ	・ 20mm				
	打増し範囲	・ 示による()				
6 軸組構法・軸組構造系工事	用いない					
	スリーブの材質	[表6.8.1]				
	標準仕様書 6.9.3 (i) (2) 及び標準仕様書 表5.9.11による					
	防炎・防蟻処理					
木材	防炎・防蟻処理が必要な樹種による製材及び集成材	(4.2.1)				
	薬剤の加圧注入による防炎・防蟻処理					
	薬剤の塗布等による防炎・防蟻処理 (適用範囲は示による)					
	JIS K 15711に適合する表面処理用木材保存材					
7 軸組構法・軸組構造系工事	ボード原料接着剤への薬剤混入による防炎・防蟻処理					
	適用部位					
	防炎・防蟻処理が不要な樹種					
	加圧注入処理材					
8 軸組構法・軸組構造系工事	塗布等処理材					
	土台	・ ヒノキ				
	外周柱下部1m	・ K3				
	水廻り	・ K3				
9 軸組構法・軸組構造系工事	その他	・ K4				
	適用部位、配筋	※示による				
	適用部位: ()					
	薬剤及び使用量					
10 軸組構法・軸組構造系工事	本工事で使用する材料については、部位別材料表による					
	床下換気					
	ねこ土台	・ 換気孔				
	小屋裏換気					
11 軸組構法・軸組構造系工事	適用、大きさ	※示による				
	材料					
	厚さ					
	行う					
12 軸組構法・軸組構造系工事	製材	(5.2.2) (6.2.2)				
	目視等級区分構造用製材、機械等級区分構造用製材、広葉樹製材、特細型工法構造用製材					
	部 位	品 名	樹 種	等級	含水率	その他
	柱	構造用製材	スギ	乙	2級	SD20又はD20
垂木、筋かい	構造用製材	スギ	甲I		SD20又はD20	
梁、火打	構造用製材	スギ	甲II		SD20又はD20	
土台	構造用製材	ヒノキ			SD20又はD20	
13 軸組構法・軸組構造系工事	記入無き梁桁、母屋、垂木等の曲げ材のうち、見えがかり材の等級は甲種構造材2級、見え隠れ部分の等級は甲種構造材3級とする。そのた、乙種構造材は2級とする。					
	主要構造部には機械等級区分構造用製材の適用・適用しない					
	材の曲がりについては、上記に関わらず目視等級1級相当とする。					
	無等級材					
14 軸組構法・軸組構造系工事	寸法、樹種、含水率及び材面の品質	※示による				
	縦断ヤング係数測定の対象部材	※示による				
	国土交通大臣の指定を受けたもので基準強度の数値を指定された製材					
	含水率	※示による				
15 軸組構法・軸組構造系工事	下地用製材					
	樹種、等級、寸法及び含水率	※示による				
	集成材、構造用単板積層材					
	部 位	品 名	樹 種	曲げヤング係数区分・強度等級	材 質	接 着 性 能
柱、梁	構造用集成材			2種	環境 A	
16 軸組構法・軸組構造系工事	丸木材					
	樹種、寸法、含水率及び末口径	※示による				
	縦断ヤング係数測定の対象部材	※示による				
	木質接着成形軸材、木質複合軸材、木質断熱複合パネル、木質接着複合パネル					
17 軸組構法・軸組構造系工事	形状、寸法及び含水率	※示による				
	合板及びその他のボード類	(5.2.3) (6.2.3)				
	種 類	厚さ (mm) ・ 規格等	施工箇所 (構造材・仕上げ材の別)			
	構造用合板	厚さ (mm) ・ 5.5 ・ 9 ・ 12 ・ 24 接着の程度 ・ 特種 ・ 1類 等級	1級 ・ 2級			
18 軸組構法・軸組構造系工事	表面の品質	※C-D・ 難燃処理 ・ する ・ しない 防虫処理 ・ する ・ しない				
	パーティクルボード	厚さ (mm) ・ 曲げ強度区分 ・ 接着剤区分 ・ 難燃性区分 ・ 表裏面の状態区分 ・				
	構造用パネル	等級 ・ 1級 ・ 2級				
	硬質木片セメント板	厚さ (mm) ・				
19 軸組構法・軸組構造系工事	構造用せっこうボードA種	厚さ (mm) ・				
	構造用せっこうボードB種	厚さ (mm) ・				
	せっこうボード	厚さ (mm) ・				
	強化せっこうボード	厚さ (mm) ・				
20 軸組構法・軸組構造系工事	シーリングボード	厚さ (mm) ・				
	ラスシート	厚さ (mm) ・ 材質 ・				
	せっこうラスボード	厚さ (mm) ・				
	バルブセメント板	厚さ (mm) ・ 種類 ・				
21 軸組構法・軸組構造系工事	ハードファイバーボード	厚さ (mm) ・ 曲げ強度区分 ・ 接着剤区分 ・ 難燃性区分 ・ 表裏面の状態区分 ・				
	接合金物・接合具等	(5.2.4) (5.5.8~13) (6.2.4) (6.5.9~6.5.14)				
	種 別	材 質	表面処理	適用、形状、その他		
	Zマーク	-				
22 軸組構法・軸組構造系工事	Cマーク	-				
	引寄せ金物	-				
	その他の金物	-				
	鋼材	・ SS400		形状は接合詳細図による。		
23 軸組構法・軸組構造系工事	釘及び木ねじ					
	種 類	材 質	適用径	使用箇所 頭部/前部の形状		
	N釘	・ 鉄	N19 ~ N150	耐力壁、床板、屋根		
	C/N釘	・ 鉄	CN25 ~ CN150			
24 軸組構法・軸組構造系工事	B/N釘	・ ステンレス鋼	BN25 ~ BN125			
	Z/N釘		ZN45 ~ ZN90			
	G/N釘		GN25 ~ GN125	せっこうボード用		
	S/N釘		3.05mm	シーリングボード用		
25 軸組構法・軸組構造系工事	木ねじ	・ 軟鋼線材				
	特殊ねじ					
	コースレッド	・ 真ちゅう				
	ボルト、アンカーボルト、ナット					
種 類	材 質	適用径	表面処理、部品等級など			
呼び径六角ボルト	SS400	M3 ~ M36	電気めっき			
有効径六角ボルト	SS400	N19 ~ N150				
全ネジ六角ボルト	SS400	N19 ~ N150				
ステンレスボルト	SUS304					
アンカーボルト	SS400	N19 ~ N150				
26 軸組構法・軸組構造系工事	産金					
	適用	材 質	適用径	形状・表面処理 その他		
	産金 (JIS G 3131)	※M2 ~ M24	角産金 ・ 丸産金			
	産金 (JIS G 3141)		電気めっき			
27 軸組構法・軸組構造系工事	産金は用途ごと (引張、せん断) に下表により使い分け。					
	ボルト径に対する産金の大きさ					
	引張を受けるボルト					
	せん断を受けるボルト					
28 軸組構法・軸組構造系工事	ラグスクリーユ、ドリフトピン、木栓及びもくどぼ					
	種 類	材 質	適用径・長さ	表面処理、その他		
	ドリフトピン (守鋼)	SS400 SBRM8 ~ 12	φ9 ~ φ19	電気めっき		
	ドリフトピン (金ネジ)	SS400 SBRM8 ~ 12	φ16 ~ φ24	電気めっき		
29 軸組構法・軸組構造系工事	ラグスクリーユ	SBRCH10R	φ9 ~ φ19	電気めっき		
	(コーラスクリューボルト)	(JIS G 3507)				
	スプリットリング	SS400	φ64, φ102			
	シアプレート			電気めっき		
30 軸組構法・軸組構造系工事	木栓	・ 堅木	M12 ~ M14			
	木栓はナラ・ケヤキ・カシ等で乾気比0.6以上の広葉樹とし、節や目切れ等の欠点の無いものとする。					
	合板等					
	種 類	厚さ (mm) ・ 規格等	施工箇所 (構造材・仕上げ材の別)			
普通合板	厚さ (mm) ・ 5.5 ・ 9 ・ 12 ・ 15 接着の程度 ・ 1類 ・ 2類 表板の種類 ・ 広葉樹 ・ 針葉樹 表面性能 板面の品質 ※C-D・ 難燃処理 ・ する ・ しない 防虫処理 ・ する ・ しない ・ 生地透明塗料塗り (ラワン合板程度) ・ 不透明塗料塗り (しな合板程度)					
31 軸組構法・軸組構造系工事	天然木化粧合板	厚さ (mm) ・ 接着の程度 ・ 特種 ・ 1類 裏板の樹種 防虫処理 ・ する ・ しない 難燃処理 ・ する ・ しない 防虫処理 ・ する ・ しない				
	特殊加工化粧合板	厚さ (mm) ・ 接着の程度 ・ 特種 ・ 1類 表面性能 化粧加工の方法 ・ オーバーレイ ・ プリント ・ 塗装				
	天然木化粧複合フローリング	厚さ ・ 15 (12) 樹種 ※ なら ・ ひのき 工法 ※ 釘どめ工法 (C種) 仕上げ塗装等 ※ 塗装品 ・ 無塗装品 間伐材等の適用 ・ あり				
	単層フローリング	厚さ ・ 15 ・ 樹種 ※ なら ・ ひのき 工法 ※ 釘どめ工法 (C種) 仕上げ塗装等 ※ 塗装品 ・ 無塗装品 間伐材等の適用 ・ あり				
32 軸組構法・軸組構造系工事	合板等					
	合板等					
	表面仕上げ	見え掛り面の表面の仕上げ 機械加工 ・ A種 ※ B種 ・ C種 ・ D種				
	木材の含水率	内装及び外装の木下地、木造及び木仕上げの材料 A種 ・ B種				
33 軸組構法・軸組構造系工事	木材	木材のうち、杉及び松は、「鳥取県産材地産地消制度」の認証を受けたものを使用すること。				
	製材					
	下地用針葉樹製材、造作用針葉樹製材、広葉樹製材					
	部位	品 名	樹 種	等級	形状	含水率
	針葉樹製材	スギ	2級	押角	SD20又はD20	
34 軸組構法・軸組構造系工事	合板等					
	種 類	厚さ (mm) ・ 規格等	施工箇所 (構造材・仕上げ材の別)			
	普通合板	厚さ (mm) ・ 5.5 ・ 9 ・ 12 ・ 15 接着の程度 ・ 1類 ・ 2類 表板の種類 ・ 広葉樹 ・ 針葉樹 表面性能 板面の品質 ※C-D・ 難燃処理 ・ する ・ しない 防虫処理 ・ する ・ しない ・ 生地透明塗料塗り (ラワン合板程度) ・ 不透明塗料塗り (しな合板程度)				
	天然木化粧合板	厚さ (mm) ・ 接着の程度 ・ 特種 ・ 1類 裏板の樹種 防虫処理 ・ する ・ しない 難燃処理 ・ する ・ しない 防虫処理 ・ する ・ しない				
35 軸組構法・軸組構造系工事	特殊加工化粧合板	厚さ (mm) ・ 接着の程度 ・ 特種 ・ 1類 表面性能 化粧加工の方法 ・ オーバーレイ ・ プリント ・ 塗装				
	天然木化粧複合フローリング	厚さ ・ 15 (12) 樹種 ※ なら ・ ひのき 工法 ※ 釘どめ工法 (C種) 仕上げ塗装等 ※ 塗装品 ・ 無塗装品 間伐材等の適用 ・ あり				
	単層フローリング	厚さ ・ 15 ・ 樹種 ※ なら ・ ひのき 工法 ※ 釘どめ工法 (C種) 仕上げ塗装等 ※ 塗装品 ・ 無塗装品 間伐材等の適用 ・ あり				
	耐候性処理					
36 軸組構法・軸組構造系工事	防炎・防蟻処理					
	屋外に使用する仕上げ木材への木材保護塗料塗り 適用範囲: (示による)	(9.3.1)				
	薬剤の加圧注入による防炎・防蟻処理 適用範囲: (示による)	(9.3.2)				
	保存処理性能区分	・ K2 ※K3 ・ K4				



21 舗装工事

○ 街きよ、緑石、側溝

街きよ、緑石、側溝	種類	形状、寸法
○ 緑石	○ 図示	・
○ U形側溝	○ 図示	・
・ U形側溝ふた	・ 図示	・
・	・ 図示	・

地盤の材料 ※標準仕様書(4.6.2)(a)による・図示による
砂利地盤の厚さ ※100(mm)・図示
コンクリート基礎等に用いる材料 ※標準仕様書(6.14)
設計基準強度18N/mm²とする。ただし、コンクリートが簡易な場合の割合(容積比)セメント1:砂2:砂利4程度とする。
・図示による

○ 埋戻し土

※ B種

・ 路床

路床の材料	種類	材料	厚さ(mm)		
・ 盛土	・ A種	・ B種	・ C種	・ D種	・ 図示
・ 遮断層	・ 川砂、海砂又は良質な山砂(75μmふるい通過量10%以下)	・ 建設汚泥から再生した地理土	○ G	・ 図示	
・ 凍上抑制層	・ 再生クラッシュラン	○ G	・ クラッシュラン	・ 切込み砂利	・ 図示
・ フィルター層	・ 川砂、海砂又は良質な山砂(75μmふるい通過量6%以下)	・	・	・ 図示	

路床安定処理
・ 添加材料による安定処理
種類
・ 普通ポルトランドセメント
・ 高伊セメントB種
・ フライアッシュセメントB種
・ 生石灰()
・ 消石灰()
添加量 kg(目標QBR) 5以上
・ ジオテキスタイル
単位面積質量 60g/m²以上
厚さ(mm) 0.5~1.0
引張強さ 98N/5cm(10kgf/5cm)以上
透水係数 1.5kU+000710-1cm/sec以上

試験
砂の粒度試験 ・行う ・行わない
路床土の支持力(CBR)試験 ・行う ・行わない
路床締固めの試験 ・行う ・行わない

路盤の厚さ ○ 図示による
路盤材料
○ 緑石
○ 再生クラッシュラン ○ G
○ クラッシュラン鉄鋼スラグ ○ G
○ 図示による

試験
路盤締固めの試験 ※行う ・行わない

○ アスファルト舗装

アスファルト舗装の構成及び厚さ ※図示による

材料
アスファルト ・ 再生アスファルト ○ G ・ ストレートアスファルト
骨材 ・ 道路用砕石
・ アスファルトコンクリート再生骨材 ○ G

加熱アスファルト混合物の種類

区分	地域	種類
表層	一般地域	○ 密粒度アスファルト混合物(13) ○ 細粒度アスファルト混合物(13)
	寒冷地域	・ 密粒度アスファルト混合物(13F) ・ 細粒度アスファルト混合物(13F)
基層	一般及び寒冷地域	粗粒度アスファルト混合物(20)

シールコートの施工 ・行う ○行わない
試験
アスファルト混合物等の抽出試験 ・行う ○行わない
舗装の平坦性 ※通行の支障となる水たまりを生じない程度

・ コンクリート舗装

コンクリート舗装の厚さ

舗装の種類	部位	厚さ(mm)
コンクリート舗装	車道部	・ 図示 ・ 150
	歩道部	・ 図示 ・ 70
転圧コンクリート	車道部	・ 図示 ・ 150

縁部立り下り法等 ・図示による
材料
コンクリート ・ 「標仕」表22.5.2による
早強セメント ・ 使用する ・ 使用しない
注入目地材料 ※低弾性タイプ ・ 高弾性タイプ
転圧コンクリートの工法 ※図示による
目地
種類、間隔、構造 ※「標仕」表22.5.4及び図22.5.11による ・図示による
試験
コンクリート版厚さの試験 ・行う ・行わない

・ カラー舗装

種類	部位	車道部の厚さ	厚さ(mm)
・ 加熱系	・ アスファルト混合物	・ 車道部	・ 無し
・ 常温系	・ 石油樹脂系混合物	・ 歩道部	・ 有り

舗装厚さの許容差 ※「標仕」表22.4.2(g)による
材料
添加する材料 ・ 着色骨材() ・ 自然石()
配合
結合材に石油樹脂を使用する場合の顔料添加量
樹脂系混合物、ニート工法及び塗布工法の配合等

・ 透水性アスファルト舗装

○ G

適用範囲: 歩道

材料	厚さ(mm)
ストレートアスファルト	・ 図示

試験
透水性アスファルト混合物等の抽出試験 ・行う ・行わない
舗装の平坦性 ※著しい不陸がないもの

・ 排水性アスファルト舗装

○ G

区分	種類	材料	厚さ(mm)
表層	・ 排水性舗装用排水層用7.5mm混合物	・ R17-改良7.5mm型	・ 図示
基層	・ 加熱7.5mm混合物等(密粒7.5mm混合物)	・ 再生7.5mm ・ スレ-7.5mm	・ 図示

舗装の平坦性 ※著しい不陸がないもの
試験
アスファルト混合物等の抽出試験 ・行う ・行わない

・ ブロック舗装

○ G

・ コンクリート平板舗装

種類	寸法(mm)	厚さ(mm)	目地材	備考
※普通平板(N) ・ 透水平板(P)	※300角	・ 60	※砂 ・ 砂	表面加工 ・ 研ぎ出し ・ 洗い出し ・ たたき出し

歩道部に使用するコンクリート平板は ○ G再生材料を用いた舗装用ブロックとする。透水平板は ○ G(透水性コンクリート)とする。
仕上り面の平坦性 ※歩行に支障となる段差がないものとし、コンクリート平板間の段差は3mm以内

・ インターロッキングブロック舗装

種類	厚さ(mm)	曲げ強度(N/m ²)	備考
※普通ブロック(N) ・ 透水性ブロック(P)	歩道部 ※80	※5.0	色別、表面加工 ・ 標準品
	歩道部 ※60	※3.0	

歩道部に使用するブロックは ○ G再生材料を用いた舗装用ブロックとする。透水性ブロックは ○ G(透水性コンクリート)とする。
仕上り面の平坦性 ※歩行に支障となる段差がないものとし、ブロック間の段差は3mm以内

○ 砂利敷き

○ 路面表示塗料

種類
・ A種(施工範囲) ・ 図示による ・ 通路 ()
・ B種(施工範囲) ・ 図示による ・ 建物周囲 ()
○ 図示による

JIS K 5665(路面標示用塗料)による

種類	施工	適用	色	幅(mm)	塗布厚さ(mm)
・ 1種 ○ G	常温	液状	○ 白	○ 150	・ 1.0
・ 2種 ○ G	加熱			○ 100	・
○ 3種 1号	溶融	粉体状			

○ G 低揮発性有機溶剤型の路面標示用水性塗料

22 植栽工事

・ 植栽地の確認

土壌の水素イオン濃度(pH)試験 ・行う ・行わない
水溶性塩類(EC)の試験 ・行う ・行わない

・ 植栽基盤の整備

種類	工法	有効土層の厚さ(cm)	整備範囲	土壌改良材
・ 樹木	※A種	樹高12m以上	・ 葉張り部分 ・ 植栽部分 ・ 図示	・ 適用する ・ 適用しない
	・ B種	(※100 ~ 120 ~ 150)		
	・ C種	樹高7m以上~12m未満		
	・ D種	(※80 ~ 100)		
※芝、地被類	※B種	樹高3m以上~7m未満	・ 植栽部分 ・ 図示	・ 適用する ・ 適用しない
	・	(※60 ~ 80)		
	・	樹高3m未満		
	・	(※50 ~ 60)		

植栽基盤の排水設備 ・設ける(※図示) ・ 設けない

・ 植込み用土

※ 現場発生土の良質土 ・ 客土

・ 土壌改良材

・ バーク堆肥 ○ G
施工箇所 ※植栽範囲 ・ 図示による
使用量 植栽基盤面積1㎡あたり (・ 50L)

・ 汚泥発酵肥料(下水汚泥コンポスト) ○ G
施工箇所 ※植栽範囲 ・ 図示による
使用量 植栽基盤面積1㎡あたり (・ 10L)

材料
「金属等を含む産業廃棄物に係る判定基準を定める省令」の別表第1の基準に適合する原料を使用したもので、植栽試験の結果、音が認められないものとする

・ 樹木

樹種、寸法、株立数等 ※図示による

・ 支柱

支柱材 ※ 丸太(間伐材) ○ G ・ 真竹
防腐処理方法 ※加圧式防腐処理丸太材
形式 ・ 図示による

・ 幹巻き用材料

材料
※ 幹巻き用テープ ・ わら及びこも

・ 芝

種類 ※ コウライシバ ・ ノシバ
芝張りの工法
平地 ※目地張り ・ べた張り
法面 ・ 目地張り ※べた張り

・ 新植、移植樹木、芝等の保証

新植樹木(芝張り、吹付けは種及び地被類を含む)の植栽後の期間 [23.3.4] [23.3.6] [23.4.7]
※引渡しの日から1年 ・ 無し
移植樹木の植栽期間を行う期間
※引渡しの日から1年 ・ 無し

木工事・軸組構法工事 補足特記仕様書（その1）

1. 一般事項

- 適用範囲

本仕様書は、建築物及び工作物の構造上主要な部分における木質構造工事に適用する。
- 製作要領書及び施工計画書の作成・提出

工事に先立ち、製作要領書や施工計画書を作成し、監督職員の承認を受ける。
- 施工図等の提出

工事に先立ち各種の施工図等を作成し、監督職員の承認を受ける。また、必要に応じて接合部のモックアップの作成を行う。プレカット工場を使用する場合には、プレカット工場を施工図と位置づける。
- 製作工場の選定、承認

設計図書に基づき、工場の規模、加工内容に応じた技術と設備を備え、かつ自主管理能力を有する工場を選定し、監督職員の承認を受ける。
- 各種試験・検査報告書の提出

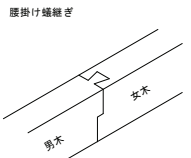
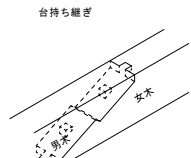
施工者は、各種工事の試験、検査結果ならびに施工記録を提出する。
- 構法の変更

図示以外の構法が適当と判断される場合は、監督職員の承認を受けて、構法の変更を行うこと。

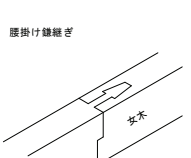
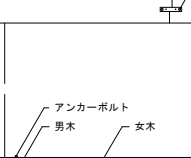
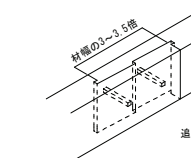
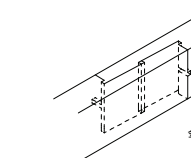
2. 軸組構法接合部の標準仕様

- 横架材同士の継手
 - 曲げ応力や引張り力を負担しない継手：腰掛け蟻継ぎ

せん断力が大きい場合は台持ち蟻継ぎとする。
長期荷重時のせん断力の向きを考慮し女木と男木を決める。
逆せん断力と引張の補強として短冊金物等を併用すること。
柱からの持ち出し位置は、連続梁の長期荷重の反曲点付近とする。



 - 曲げ応力や引張り力を負担する継手

追掛け大粒・金輪・尻込み蟻継ぎ、鋼板挿入ドリフトピン継ぎ
伝達できるMやTは母材全断面の2割以下と考えること。





- 柱の継手

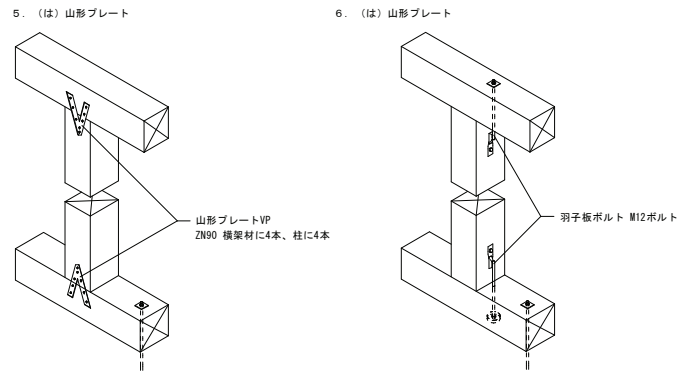
伝達できるMやTは母材全断面2割以下と考えること。
やむを得ず柱の継手を設ける場合は、曲げと軸力による複合応力の検定を行い安全性を確認する。
- 横架材同士の仕口
 - せん断力が母材全断面の3割以下の仕口：（大入れ）蟻継ぎ
長期荷重時のせん断力の向きを考慮し女木と男木を決める。
逆せん断力と引張の補強として羽子板ボルト等を併用する。
男木の梁せいが女木の2/3以下の場合は、仕口直下に柱がある場合には、大入れとしてもよいが、そうでない場合は、男木のせいの2/3程度の弱をかける。
 - せん断力が母材全断面の3割を超える仕口：梁受け金物
既製品の場合は金物メーカーの許容せん断力の値を用い、特注品の場合は構造計算で許容せん断力を算出して安全性を確認すること。

- 一方を片持ち梁とする場合：レベル差を設け渡り蟻掛け
逆せん断の補強として羽子板ボルト等を併用すること。
- 柱と横架材の仕口
 - 柱の上下端部：短ほぞ差し、長ほぞ差し込み止め
短期引張力に対しては、平12建告1460号、N値計算または応力度計算により、必要耐力を有するマーク金物等を併用すること。
 - 土台の出隅入差部
土台同士は大入れ小ほぞ差し割りくさび締め、大入れ蟻掛け又は片蟻掛け
柱脚部は短ほぞ差し又は寄せほぞ差し（ただし、柱勝ちの場合、落とし蟻または土台を寄せほぞ差しとする。）
短期引張力に対しては、平12建告1460号、N値計算または応力度計算により、必要耐力を有するマーク金物等を併用すること。
落とし蟻の場合は、HD金物を用いる。
 - 通し柱と脚差し：小開付きほぞ差し、傾ぎ大入れほぞ差し、梁受け金物
梁受け金物以外の仕口には、引張りの補強として短冊金物やかね折り金物等を併用すること。
- 筋かい部
平12建告1460号の例示仕様または同等品とする。
- 火打ち、方杖
角材を用いる場合は筋かいは、傾ぎ大入れ+ボルト締めとする。
Zマーク鋼製火打ち又は同等品としてもよい。
- 小屋梁の上下端部
短ほぞ差し又は長ほぞ差し込み止めとする。
風圧力による引張力の補強として、山形プレート金物同等以上で固定する。

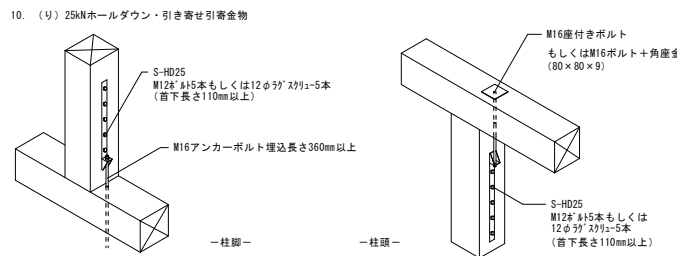
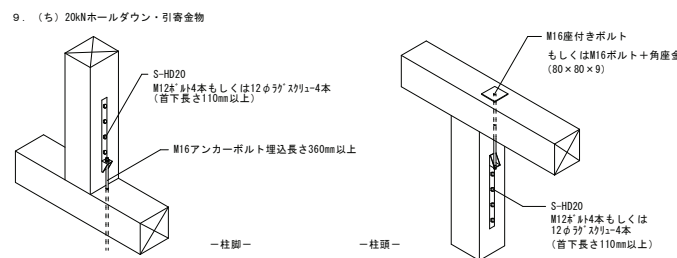
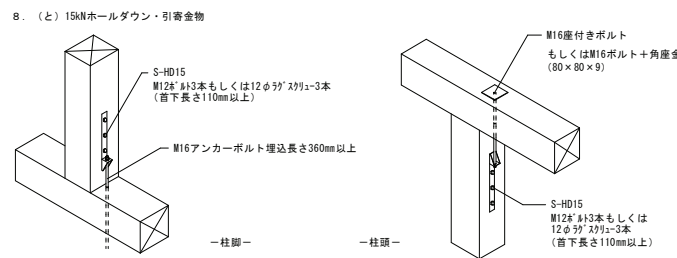
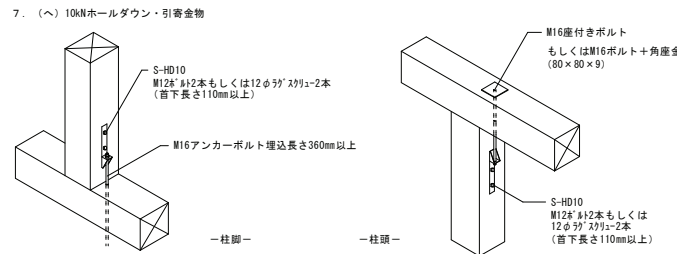
- 根太、重木と横架材
落とし込み根太：横架材に大入れ又は根太掛け+斜め釘
半突き根太：横架材に大入れ腰掛け+斜め釘
転ばし根太：根太が直角断面の場合、横架材に転ばし止め
根太が縦長角断面の場合、斜め釘2本止め
重木：横架材に重木道を覆り、転ばし根太と同様に止める。
風の負圧の補強：許容応力度計算により必要耐力を有するひねり金物等を取り付ける。
- 間柱と横架材
上下横架材に深さ3mm程度大入れ+釘N75斜め釘上部短ほぞ差し、下部突き付け+釘N75斜め釘
- ボルトの最小間隔及び最小端あき距離
- 面材耐力壁
 - 構造用合板・大壁造の場合
 - 構造用合板・真壁造の場合

- 水平横面
 - 2F床水平横面 構造用合板24mm仕様
 - 屋根水平横面 屋根仕様
- 柱頭・柱脚
 - 土台用アンカーボルト
M12アンカーボルトはφ2,000以内に配置、基礎への埋込長さは250mm以上とする。
耐力壁の部分は、その両隣の柱の下部にそれぞれ200mm以内の位置に配置すること。
（ただし、ホールダウン用アンカーボルトを取り付けた場合は上記の配置を省略可とする）
 - アンカーボルトの保持、埋込み方法 A種 B種
M12アンカーボルトはφ2,000以内に配置、基礎への埋込長さは250mm以上とする。
 - （い）かすがい
 - （ろ）L字型かど金物

木工事・軸組構法工事 補足特記仕様書（その2）



※（ほ）羽子板ボルト＋スクリュー釘の場合は長さ50mm径4.5mmのスクリュー釘を1本追加すること



- (1.4) 筋かい端部の仕口
- 筋かいの種類に応じた接合方法
 - 厚さ30mm以上、幅90mm以上の木材による筋かい
筋かいプレートOPを、筋かいに対して角根平頭ボルトM12締め及び太め釘3-ZN65平打ち、柱に対して太め釘3-ZN65平打ち、横架材に対して太め釘4-ZN65平打ち
 - 厚さ45mm以上、幅90mm以上の木材による筋かい
筋かいプレートOP-2を、筋交いに対して角根平頭ボルトM12締め及びビスクリュー釘7-ZS50平打ち、柱及び横架材に対してそれぞれビスクリュー釘5-ZS50平打ち
 - 厚さ90mm以上、幅90mm以上の木材による筋かいは図示による

(5.4.2) 耐力壁となる軸組の柱と横架材の仕口

軸組の種類及び柱の位置に応じた仕口の工法は下表による

軸組の種類	柱の位置	平屋部又は最上階の柱		その他の柱		
		出隅の柱	その他の軸組端部の柱	上階及び当該階の柱が共に出隅の柱の場合	上階の柱が当該階の柱が出隅の柱でない場合	上階及び当該階の柱が共に出隅の柱でない場合
厚さ30mm以上幅90mm以上の木材の筋かいを入れた軸組	筋かいの下部が取り付く柱	(ろ)	(い)	(に)	(ろ)	(い)
	その他の柱	(に)	(ろ)			
厚さ45mm以上幅90mm以上の木材の筋かいを入れた軸組	筋かいの下部が取り付く柱	(ろ)	(ろ)	(と)	(は)	(ろ)
	その他の柱	(ほ)				
石に据ける面材を大壁造の面材耐力壁又は真壁造の面材耐力壁による方法で打ち付けた壁を設けた軸組	構造用合板種類、厚さ7.5mm以上					
	パーティクルボード(曲げ強さの区分が8タイプ以外)厚さ12mm以上	(ほ)	(ろ)	(ち)	(へ)	(は)
厚さ30mm以上幅90mm以上の木材の筋かいをたすき掛けに入れた軸組		(と)	(は)	(り)	(と)	(に)
	厚さ45mm以上幅90mm以上の木材の筋かいをたすき掛けに入れた軸組	(と)	(に)	(ぬ)	(ち)	(と)

表中の記号は工法を示し、下表による

記号	仕口の工法
(い)	短ほぞ差し、かすがいC120若しくはC150打ち又はこれらと同等以上の接合方法としたもの
(ろ)	長ほぞ差し込み栓打ち若しくはかど金物OP-Lを、柱及び横架材に対してそれぞれ太め釘5-ZN65を平打ちしたもの又はこれらと同等以上の接合方法としたもの
(は)	かど金物OP-Tを用い、柱及び横架材にそれぞれ太め釘5-ZN65を平打ちしたもの若しくは山形プレートVPを用い、柱及び横架材にそれぞれ太め釘4-ZN90を平打ちしたもの又はこれらと同等以上の接合方法としたもの
(に)	羽子板ボルトSB-F又はSB-Eを用い、柱に対して六角ボルトM12締め、横架材に対して角座金W4.5×40を介してナット締めしたもの若しくは短ざく金物Sを用い、上下階の連続する柱に対してそれぞれ六角ボルトM12締めとしたもの又はこれらと同等以上の接合方法としたもの
(ほ)	羽子板ボルトSB-F又はSB-Eを用い、柱に対して六角ボルトM12締め及びビスクリュー釘ZS50打ち、横架材に対して角座金W4.5×40を介してナット締めしたもの又は短ざく金物Sを用い、上下階の連続する柱に対してそれぞれ六角ボルトM12締め及びビスクリュー釘ZS50打ちとしたもの又はこれらと同等以上の接合方法としたもの
(へ)	引き寄せ金物HD-B10又はS-HD10を用い、柱に対して六角ボルト2-M12、横架材（土台を除く）は上下階が連続する柱に対して当該引き寄せ金物に留め付けた座金付きボルトM16（布基礎に対してはアンカーボルトM16）を介して緊結したもの又はこれらと同等以上の接合方法としたもの
(と)	引き寄せ金物HD-B15又はS-HD15を用い、柱に対して六角ボルト3-M12、横架材（土台を除く）、布基礎若しくは上下階が連続する柱に対して当該引き寄せ金物に留め付けた六角ボルトM16（布基礎に対してはアンカーボルトM16）を介して緊結したもの又はこれらと同等以上の接合方法としたもの
(ち)	引き寄せ金物HD-B20又はS-HD20を用い、柱に対して六角ボルト4-M12、横架材（土台を除く）、布基礎若しくは上下階が連続する柱に対して当該引き寄せ金物に留め付けた六角ボルトM16（布基礎に対してはアンカーボルトM16）を介して緊結したもの又はこれらと同等以上の接合方法としたもの
(り)	引き寄せ金物HD-B25又はS-HD25を用い、柱に対して六角ボルト5-M12、横架材（土台を除く）、布基礎若しくは上下階が連続する柱に対して当該引き寄せ金物に留め付けた六角ボルトM16（布基礎に対してはアンカーボルトM16）を介して緊結したもの又はこれらと同等以上の接合方法としたもの
(ぬ)	(と)に据ける仕口を2層用いたもの

- 耐力壁でない軸組柱と横架材の仕口
- 図示
 - 柱の上下端とも短ほぞ差しとし、山形プレートVPを当て太め釘8-ZN90を打ち
 - 柱の上下端とも短ほぞ差しとし、かど金物OP-L又はOP-Tを当て太め釘10-ZN65打ち
 - 柱の上下端とも短ほぞ差しとし、込み栓打ち
 - 柱の上下端とも短ほぞ差しとし、込み栓打ち
 - 柱の上下端とも短ほぞ差しとし、ひら金物SM-12を当て太め釘4-ZN65打ち
 - 柱の上下端とも短ほぞ差しとし、かすがいC120又はC150打ち
- 隅柱と土台の仕口
- 図示
 - 短ほぞ差し又は短ほぞ差しとし、かど金物OP-Lを当て太め釘10-ZN65打ち
 - 長ほぞ差しとし、込み栓打ち
 - 柱の上下端とも短ほぞ差しとし、込み栓打ち
 - 短ほぞ差し又は短ほぞ差しとし、かすがいC120又はC150打ち
 - 短ほぞ差し又は短ほぞ差しとし、引き寄せ金物HD-B10又はS-HD10を用いて緊結
 - 土台小口と隅柱との取り合いを落としありとする場合は、かど金物OP-L又はOP-Tを両面に当て太め釘20-ZN65打ち



付近見取図

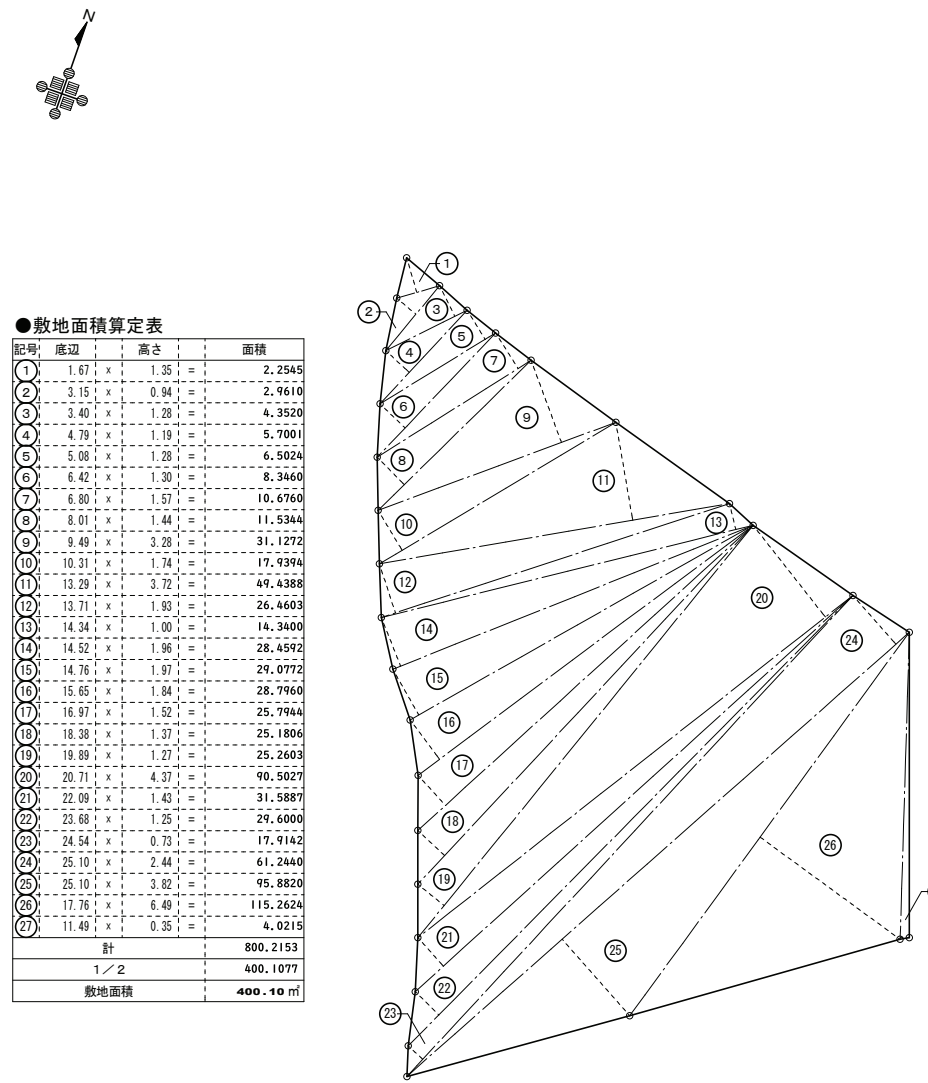


概略工程表	1月					2月					3月					4月					5月					6月										
	5	10	15	20	25	5	10	15	20	25	5	10	15	20	25	5	10	15	20	25	5	10	15	20	25	5	10	15	20	25						
仮設	準備																														撤去					
新築工事	建物	基礎															躯体															仕上				
	外構	造成土工・擁壁・側溝															基礎															舗装・仕上				
	電気設備	準備															随時															随時				
機械設備	準備															随時															随時					

※この工程は概略であり、監督員と十分に協議の上、実施工程表を作成し、承認を得て行う事。

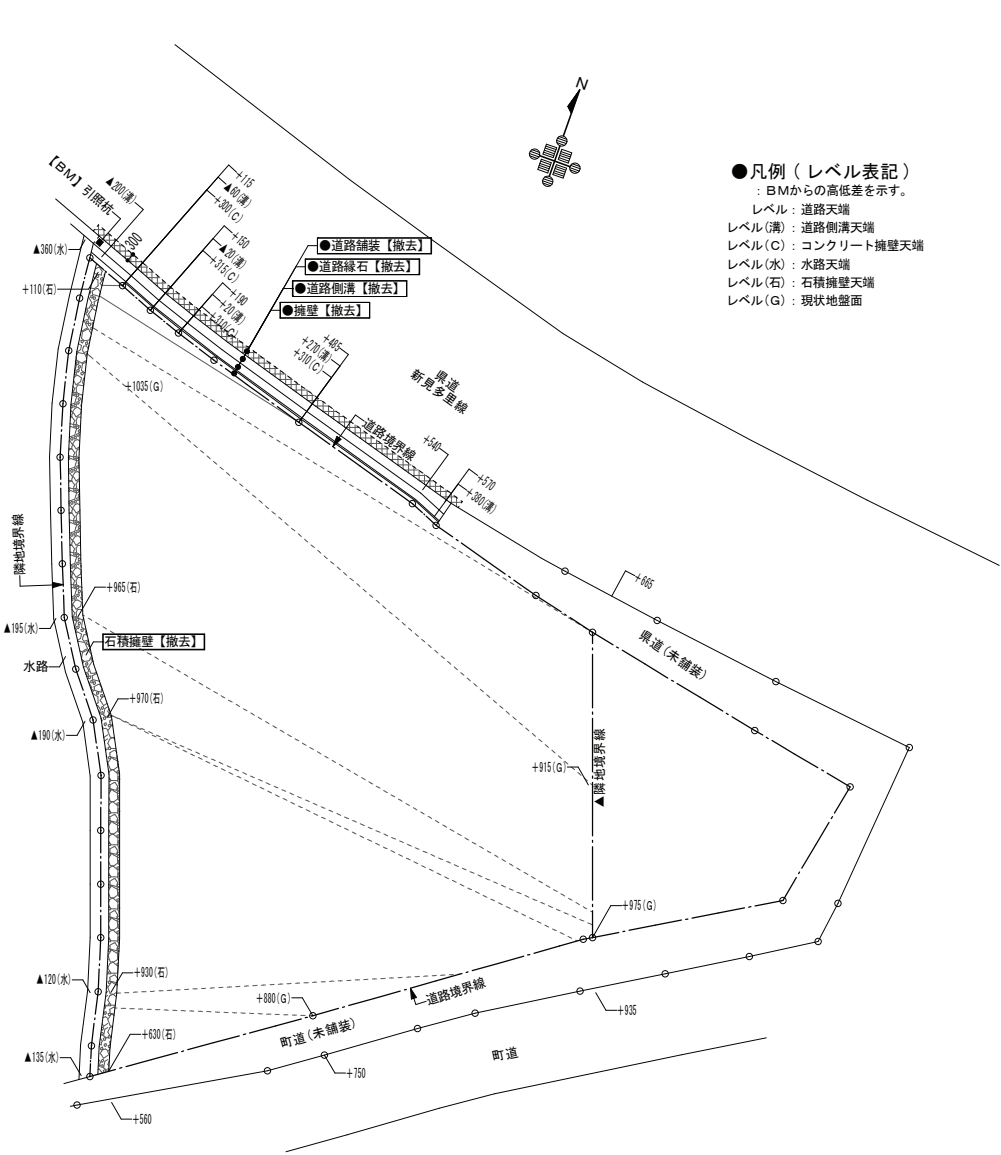
敷地求積図

Scale 1:200



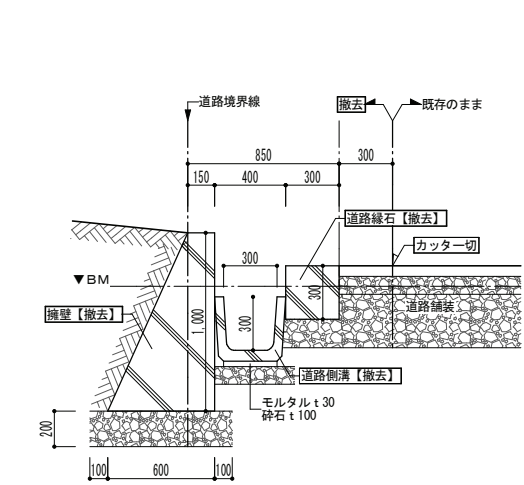
現況敷地図

Scale 1:200



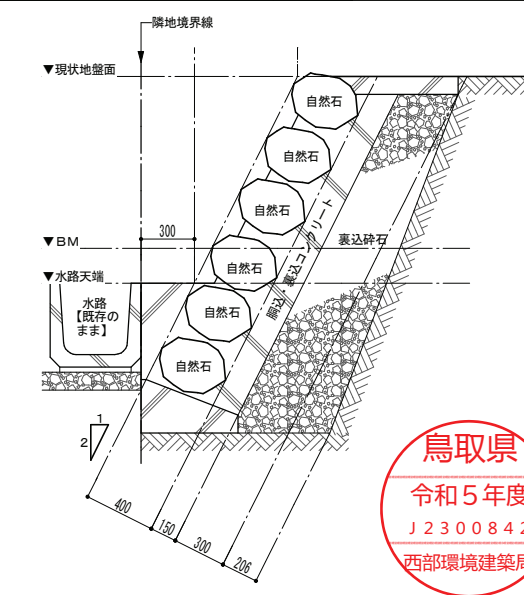
【既存】道路側溝断面詳細図(想定図)

Scale 1:30



【既存】石積擁壁断面詳細図(想定図)

Scale 1:30



鳥取県
令和5年度
J2300842
西部環境建築局

一級建築士事務所 登録番号 鳥取県第03-1035号

その建築設計時事務所

米子市河崎1746-17 TEL(0859)30-0100 FAX(0859)30-0101

監理責任者一級建築士登録番号236776 山本 博樹

検印

担当

作図

作図

R6年3月 日

SCALE

-

工事名

黒坂警察署多里駐在所新築工事

図面名

付近見取図・概略工程表・敷地求積図・現況敷地図

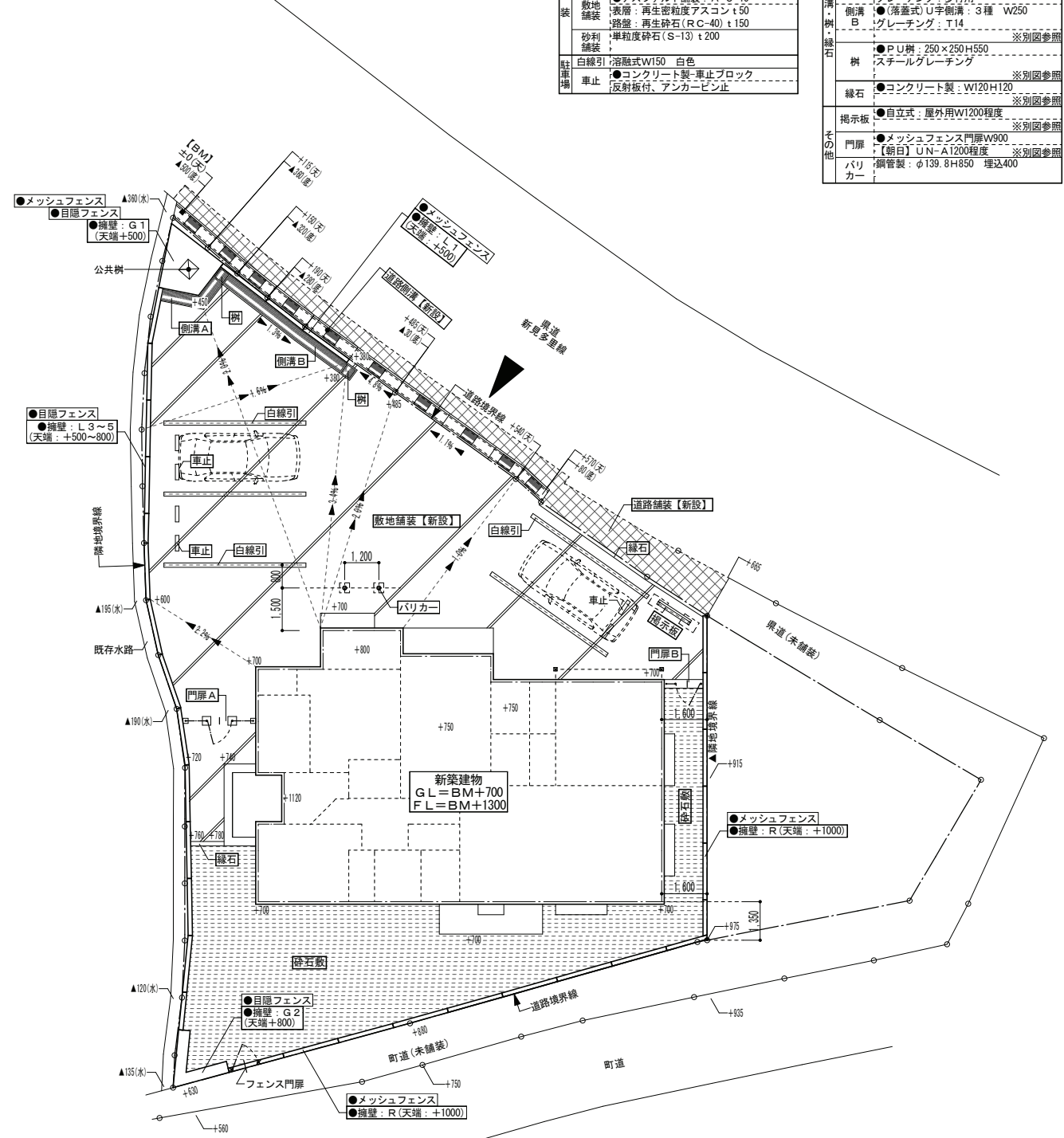
A-08

23

- 凡例 (レベル表記)
 : BMからの高低差を示す。
 レベル(天): 道路側溝(天端)
 レベル(底): 道路側溝(底)
 レベル(水): 水路天端

●凡例

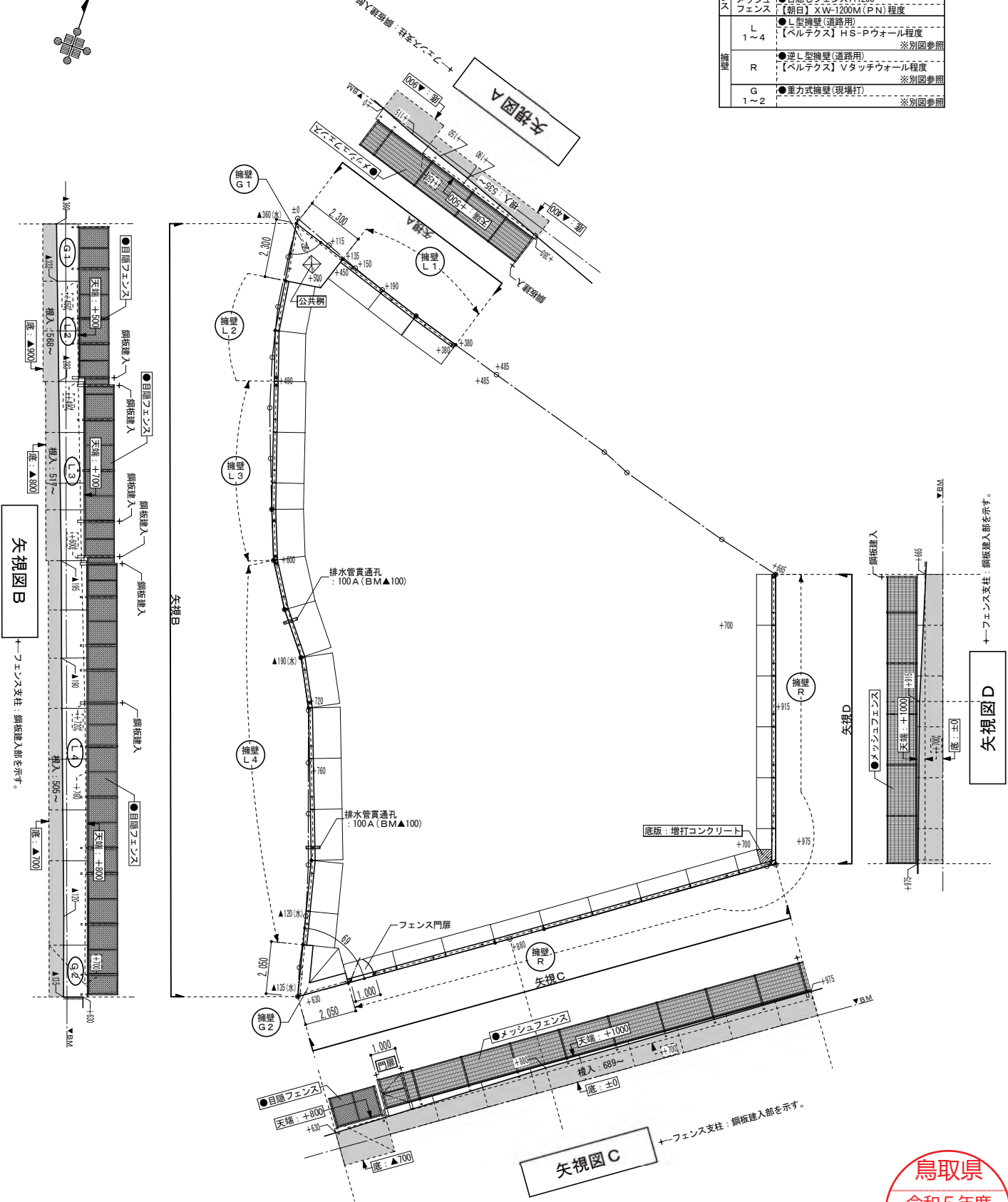
表記	仕様
道路舗装	●アスファルト舗装: A-6-40 表層: 密粒度アスコン t60 下層路盤: 粒砕砕石 t100
敷地舗装	●アスファルト舗装: A-5-15 表層: 再生密粒度アスコン t50 路盤: 再生砕石 (RC-40) t150 ●砂利舗装: 単粒度砕石 (S-13) t200
白線引	●溶融式W150 白色
車止	●コンクリート製-車止ブロック ●反射板付、アンカーピン止
樹	●(横断用)可変側溝: T-25 300×500 グレーチング(幅目): T25 ※別図参照
側溝A	●(落蓋式)U字側溝: 1種 W250 グレーチング: 歩行用
側溝B	●(落蓋式)U字側溝: 3種 W250 グレーチング: T14 ※別図参照
樹	●P.U樹: 250×250 H550 ●スチールグレーチング ※別図参照
緑石	●コンクリート製: W120 H120 ※別図参照
掲示板	●自立式: 屋外用W1200程度 ※別図参照
門扉	●メッシュフェンス門扉W900 〔幅目〕UN-A1200程度 ※別図参照
バリカー	●鋼管製: φ139.8 H850 埋込400



- 凡例 (レベル表記)
 : BMからの参考上レベルを示す。

●凡例

表記	仕様
メッシュフェンス	●メッシュフェンスH1200 〔幅目〕UN-A1200程度
目隠しフェンス	●目隠しフェンスH1200 〔幅目〕XW-1200M(P,N)程度
L 1~4	●L型擁壁(道路用) 〔ベルテクス〕HS-Pウォール程度 ※別図参照
R	●逆L型擁壁(道路用) 〔ベルテクス〕Vタッチウォール程度 ※別図参照
G 1~2	●重力式擁壁(現場打) ※別図参照

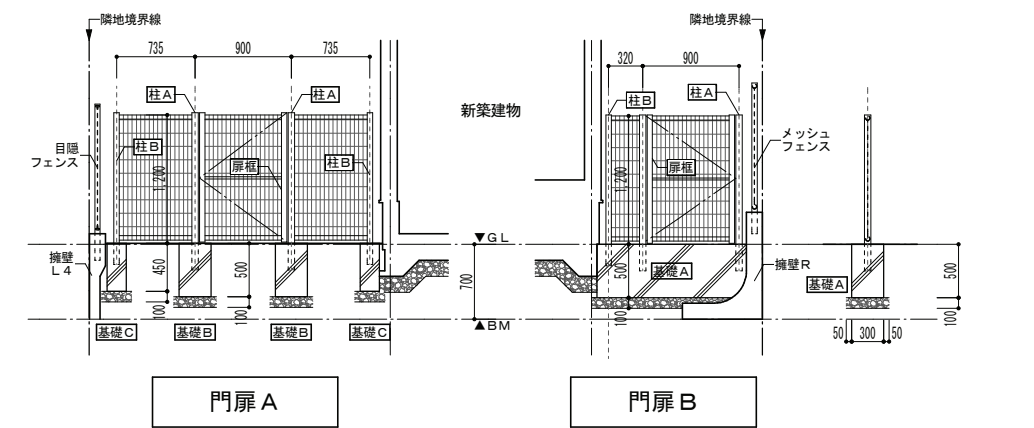


一級建築士事務所 登録番号 鳥取県第03-1035号
その建築設計時事務所
 米子市河崎1746-17 TEL(0859)30-0100 FAX(0859)30-0101
 監理責任者一級建築士登録番号236776 山本 博樹

検印	担当	作図	作図	R6年3月 日	工事名	黒坂警察署多里駐在所新築工事	A-09
				SCALE	図面名	配置・外構図、擁壁・フェンス配置図	23

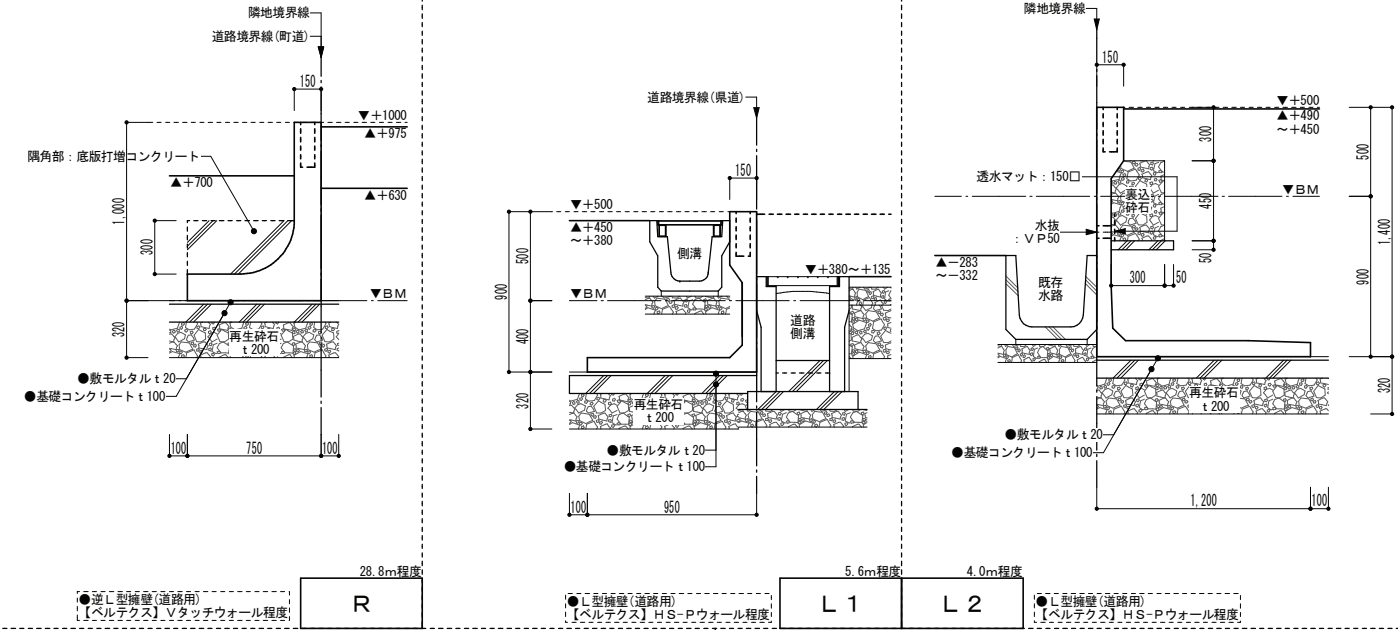
門扉 詳細図

Scale 1:50



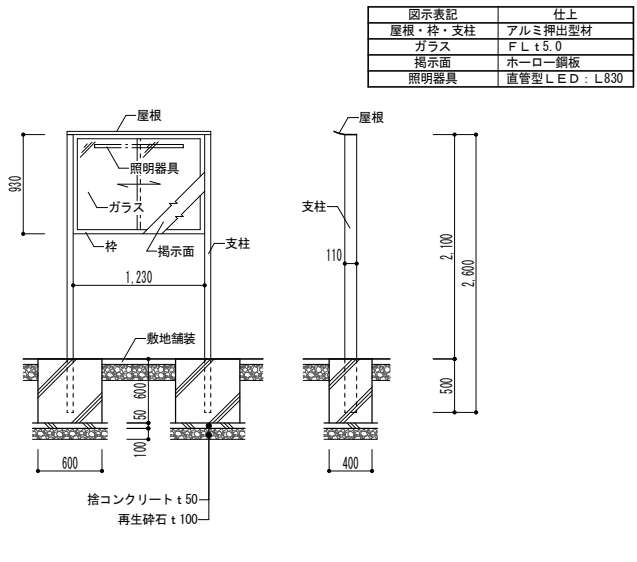
擁壁 詳細図

Scale 1:30



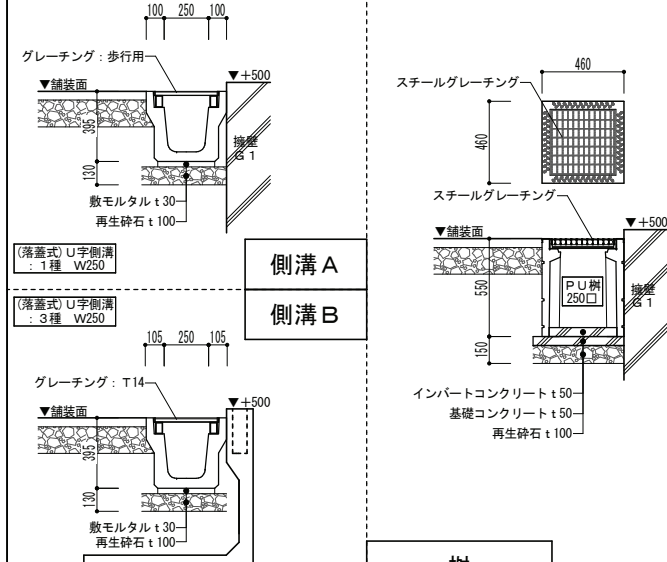
掲示板 詳細図

Scale 1:50

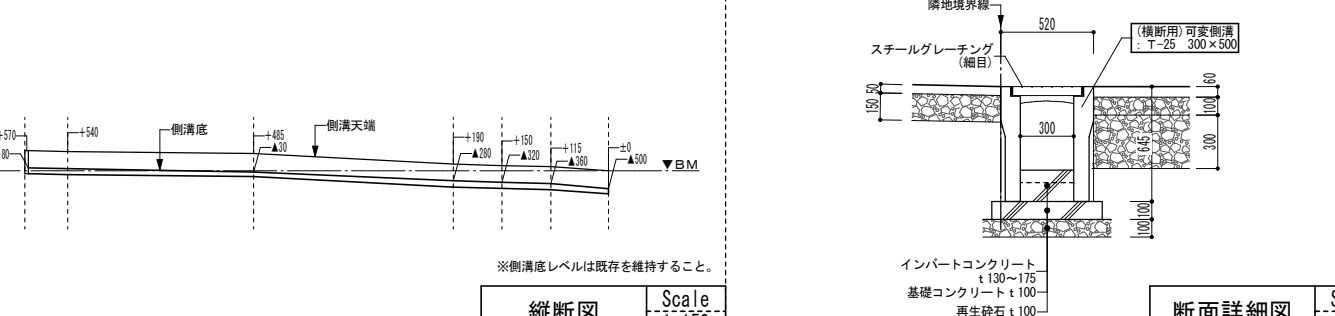


側溝・樹 詳細図

Scale 1:30

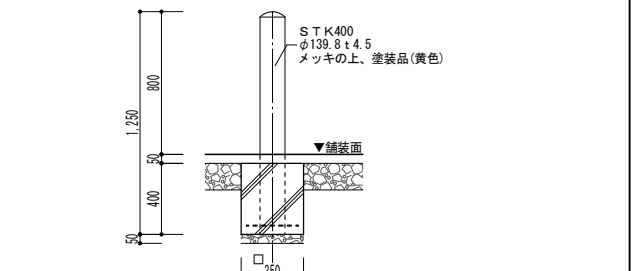


道路側溝 詳細図



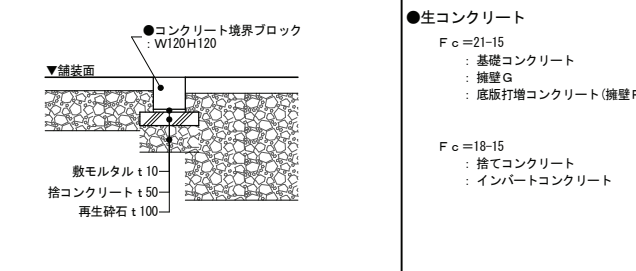
バリカー詳細図

Scale 1:30



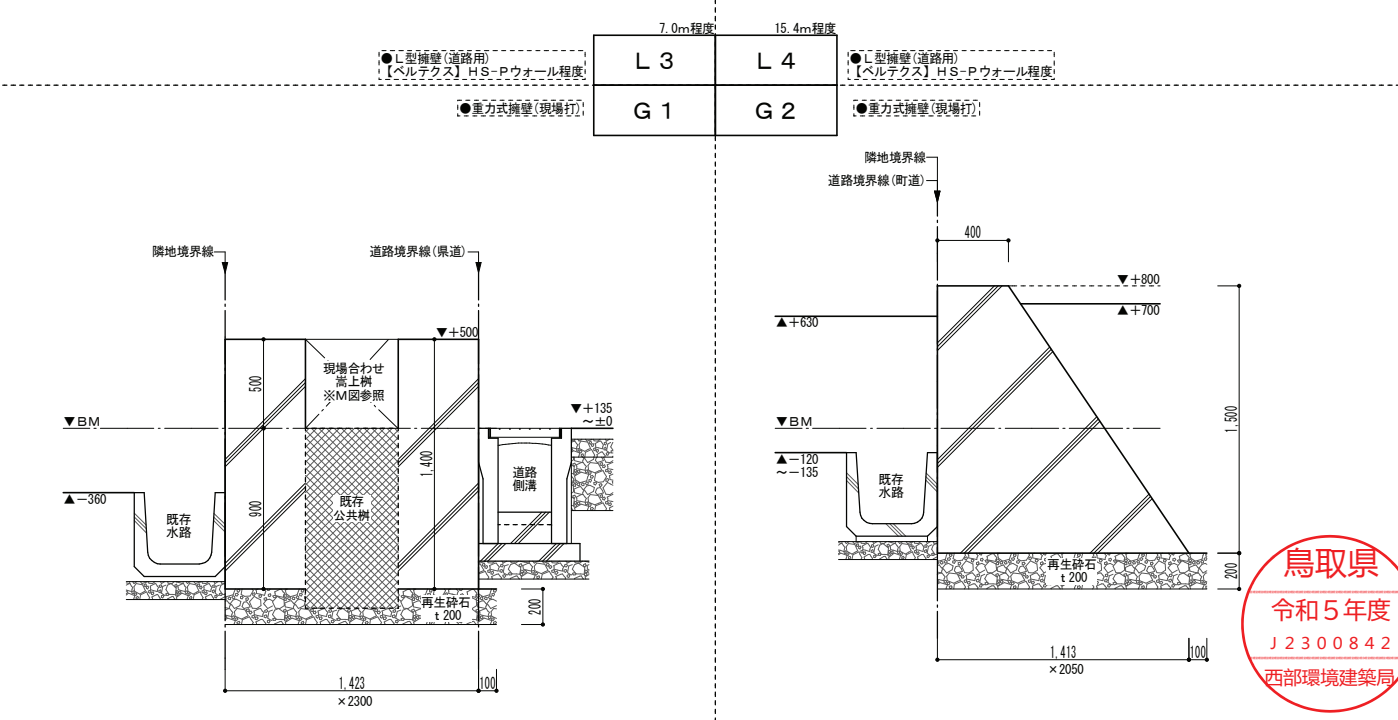
縁石 詳細図

Scale 1:20



外構共通仕様

●生コンクリート
 Fc=21-15
 : 基礎コンクリート
 : 擁壁G
 : 底版打増コンクリート(擁壁R)
 Fc=18-15
 : 捨てコンクリート
 : インパットコンクリート



一級建築士事務所 登録番号 鳥取県第03-1035号

その建築設計時事務所

米子市河崎1746-17 TEL(0859)30-0100 FAX(0859)30-0101
 監理責任者一級建築士登録番号236776 山本 博樹

検印	担当	作図	作図	R6年3月日	工事名	黒坂警察署多里駐在所新築工事
				SCALE	図面名	外構詳細図



外部仕上表

屋根	平板瓦葺 (石州瓦同等品 3.5寸勾配 雪持瓦2段付) ゴムアスシート t=1.0下地7/8合板t=2.0 野地板:杉板t=12 破風板、広小舞、登梁 WP塗 軒先水切り GL鋼板t=0.35 三角棟瓦 紐付き	軒裏	木下地組 ケイカル板t=6 一部有孔板 EP塗	外部開口部	アルミサッシ住宅用カラー (網戸付) 軽量シャッター (天井収納型) スラット カラー鋼板 t=0.4 シャッター三方枠:化粧枠t=1.6	その他	表札 桧板 (文字記共) 300×1,500×25 CL塗 墨書入れ共 住宅表札取付用金物 物干 壁付用物干金物:AL製既製品 川口技研 HC-65型同等品 郵便受 ステンレス製 (前入前出) 380×280×145 屋外仕様 9タイプ旋 警察紋章 2号 (φ250) 国旗用受金物 ステンレス製 既製品 事務所サッシ カットングシート500×200 (文字共) 2ヶ所
外壁	縦網線 21×45@455下地 透湿防水シート 窯業サイディング無塗装品t=14 縦張 (外気通気工法) 同質コー役物使用 可とう形外装薄塗材E (砂壁状) 吹付 下り壁見切:カラーGL鋼板t=0.4 ラスモルタル下地 珪藻土 木コテ仕上 腰見切:カラーGL鋼板t=0.4 腰壁:杉板t=12 相決り 丸くぎ留め WP塗	樋	軒樋:軒樋:カラー塩ビ製 角型105 受金物:SUS製@455 壁樋:カラー塩ビ製60φ 掴金物:SUS製@1200 養生管:SGP-W80A DP塗 SUS掴金物 (2ヶ所)	庇	アルミ製庇:D=450 L=1800 (3台) 9'イ/R/S'イ'イ' RS-M型 同等品		キャビネット:880×380×1790 (既設移設再使用) パンフレット置き:265×350×1400 (既設移設再使用) 旧式の電話置き:435×295×725 (既設移設再使用) キャビネット:880×400×880 (既設移設再使用) デスク:1060×730×740 (既設移設再使用) キャビネット:880×400×1120 (既設移設再使用)
巾木	モルタル刷毛引t=20 水切 カラーGL鋼板t=0.4 (防風付) 公用部分:基礎立上り天端 気密パッキン t=20×455 住居部分:基礎立上り天端 土台パッキン t=20×100×200	土間 (ポーチ)	磁器質タイル 100×100 段鼻タイル:磁器質 無釉 150×60 (住宅玄関)				

内部仕上表

室名	床	巾木	巾木高さ	腰壁	壁	天井高さ	天井	廻縁	備考
公共部分	事務室	モルタル金ゴテ押工 ビニル床シート t=2.5 (防滑仕様)	モルタル金ゴテ仕上 EP塗 見切:杉 CL塗 25	310		石膏ボード (GB-R) t=12.5下地 ビニールクロス貼	2,700	石膏ボード (GB-R) t=9.5下地 ビニールクロス貼	室名札 (2ヶ所) トイレ表示板 (1ヶ所)
	地域交流室	同上	モルタル金ゴテ仕上 EP塗 見切:杉 CL塗 25	310	杉板張 (上小・本実) t=9 幅90 CL塗	同上	2,700	同上	ブラインド
	便所	同上	モルタル金ゴテ仕上 EP塗 見切:杉 CL塗 25	310		耐水石膏ボード (GB-S) t=12.5下地 ビニールクロス貼	2,500	同上	ペーパー棚
	控室	同上	モルタル金ゴテ仕上 EP塗 見切:杉 CL塗 25	310		石膏ボード (GB-R) t=12.5下地 ビニールクロス貼	2,700	同上	
	公用車庫	コンクリート直力仕上	モルタル金ゴテ仕上	310~410		ケイ酸カルシウム板突付 t=6.0 AEP塗	2,300 ~ 2,400	ケイ酸カルシウム板突付 t=6.0 AEP塗	
	風除室	モルタル金ゴテ押工 ビニル床シート t=2.5 (防滑仕様)	モルタル金ゴテ仕上 EP塗 見切:杉 CL塗	310		石膏ボード (GB-R) t=12.5下地 ビニールクロス貼	2,500	石膏ボード (GB-R) t=9.5下地 ビニールクロス貼	
住居部分	玄関	モルタル塗下地 100角 磁器質タイル	タイル立上 杉 CL塗	180 60		石膏ボード (GB-R) t=12.5下地 ビニールクロス貼	2,580	石膏ボード (GB-R) t=9.5下地 ビニールクロス貼	上り框:集成材 (ムク) 90×150 下足入:既製品
	廊下	構造用合板 t=12下地 複合フローリング t=12	杉 CL塗	880 60		同上	2,400	同上	
	便所	耐水合板 t=12下地 ビニル床シート t=2.0	ソフト巾木	60		耐水石膏ボード (GB-S) t=12.5下地 ビニールクロス貼	2,500	化粧石膏ボード (GB-D) t=9.5	ペーパー棚
	洗面脱衣	同上	ソフト巾木	60	耐水石膏ボード (GB-S) t=12.5下地 化粧ケイカル板t=6	同上	2,500	同上	床下点検口
	浴室	UB1216							
	洋間①	同上	杉 CL塗	60		石膏ボード (GB-R) t=12.5下地 ビニールクロス貼	2,500	石膏ボード (GB-R) t=9.5下地 ビニールクロス貼	カーテンレール
	洋間②	同上	杉 CL塗	60		同上	2,500	同上	カーテンレール
	LDK	同上	杉 CL塗	60	システムキッチン横 キッチンパネル貼 t3	石膏ボード (GB-R) t=12.5下地 ビニールクロス貼	2,500	同上	カーテンレール システムキッチン 床下点検口
	収納	同上	雑巾摺り			ラワン合板 (T-1) t=4	2,500	ラワン合板 (T-1) t=2.5	木製棚
	外倉庫	コンクリート金ゴテ押工	モルタル金ゴテ仕上	270		石膏ボード (GB-R) t=12.5	2,600	石膏ボード (GB-R) t=9.5	木製棚
	収納①②③	同上	雑巾摺り			ラワン合板 (T-1) t=4	2,500	ラワン合板 (T-1) t=2.5	マクラ棚 ハンガーパイプ 木製棚

備考
 室名札 平付型 7/8 80×300 金具:7/8 (文字シート貼共)
 トイレ表示板 ビックサイン 平付型 7/8 150×150 (男女マーク共)
 ブラインド アルミ横型ブラインド スラット巾25
 カーテンレール アルミダブル
 ハンガーパイプ:ステンレス φ25 バイブブラケット共
 床下点検口 アルミ600×600
 シーリング:変成シリコン系 (外部) ※ただし、9/17 イング 部は、メーカー指定仕様とする

断熱材
 天井面断熱材 グラスウール24K t=200
 外部に接する壁面 硬質ウレタンフォーム現場発泡吹付 t=100
 床下 (板下) フェノールフォーム保温板 (1種2号) t=60
 土間下 フェノールフォーム保温板 (1種2号) t=20
 断熱材は、外倉庫・公用車庫を除く

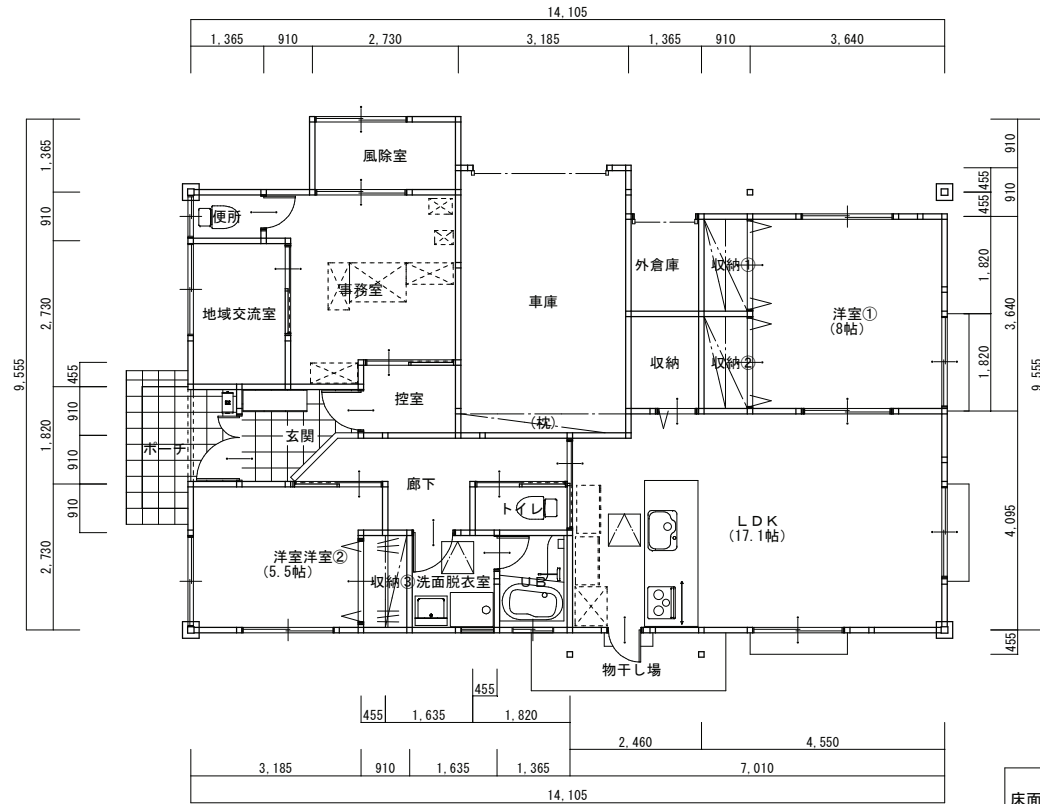
防火材料
 石膏ボード厚12.5mm 不燃 NM-8619
 石膏ボード厚 9.5mm 準不燃 QM-9828
 耐水石膏ボード厚 12.5mm 準不燃 QM-9826
 化粧ケイカル板厚 6mm 不燃 NM-4227
 ケイ酸カルシウム板 不燃 NM-8578
 ビニールクロス (台所兼食事室) 準不燃品

防湿措置
 屋内全面ポリエチレンフィルム<0.15>敷キ (公用車庫部分を除く)

※使用材料については、ホルムアルデヒド発散等級F☆☆☆☆とする
 (但し規制対象外材料を除く)
 ※建築材料は全てJIS A 製品とする
 ※化学物質の室内濃度測定:工事完成時 2ヶ所
 測定箇所については、監督員と協議すること



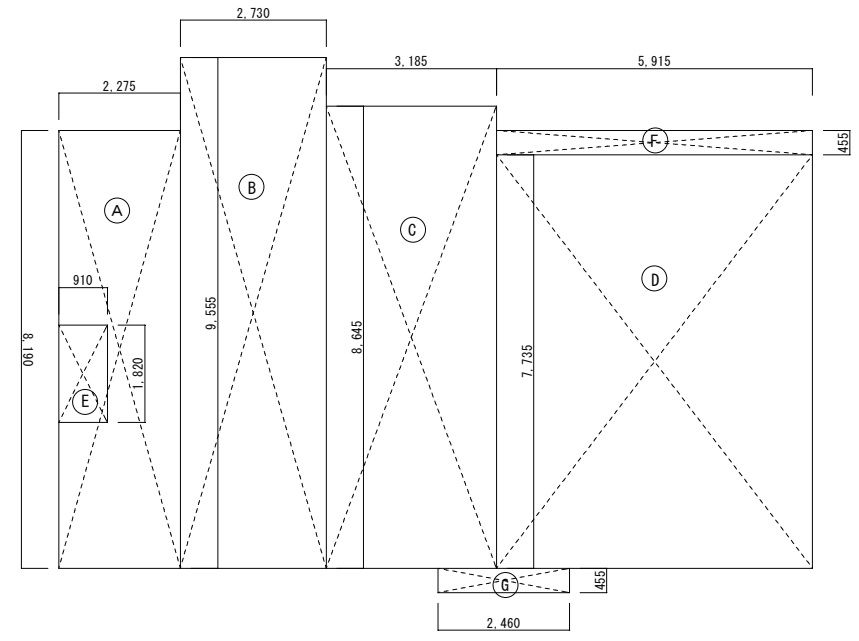
一級建築士事務所 登録番号 鳥取県第03-1035号 その建築設計事務所 米子市河崎1746-17 TEL(0859)30-0100 FAX(0859)30-0101 監理責任者一級建築士登録番号236776 山本 博樹	検印 担当 作図 作図 	R 6 年 3 月 日 SCALE	工事名 黒坂警察署多里駐在所新築工事	図面名 仕上表	A-11 23
--	-----------------	----------------------	------------------------------	-------------------	------------



平面図 1/100

台所兼食卓
 壁：石膏ボードt=12.5mm 不燃 NM-8619
 ビニールクロス 準不燃品
 天井：石膏ボードt= 9.5mm 準不燃QM-9828
 ビニールクロス 準不燃品

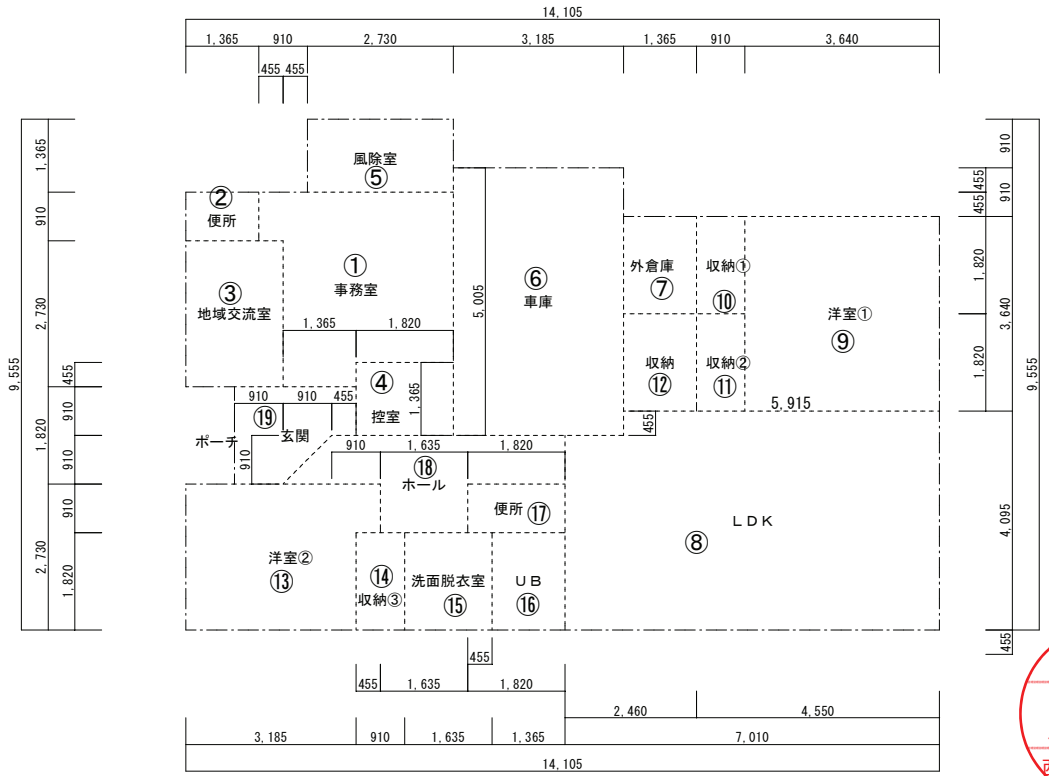
床面積 (㎡)	多里駐在所
住居部分	74.34㎡
公共部分	23.60㎡
車庫部分	15.94㎡
屋外倉庫	2.49㎡
合計	116.37㎡



番号	計算	面積
(A)	$2.275 \times 8.19 = 18.632$	18.632
(B)	$2.73 \times 9.555 = 26.0851$	26.085
(C)	$3.185 \times 8.645 = 27.5343$	27.534
(D)	$5.915 \times 7.735 = 45.7525$	45.753
(E)	$0.91 \times 1.89 = 1.719$	-1.656
合計		116.37㎡

番号	計算	面積
(A)	$2.275 \times 8.19 = 18.632$	18.632
(B)	$2.73 \times 9.555 = 26.0851$	26.085
(C)	$3.185 \times 8.645 = 27.5343$	27.534
(D)	$5.915 \times 7.735 = 45.7525$	45.753
(F)	$5.915 \times 0.455 = 2.691$	2.691
(G)	$2.46 \times 0.455 = 1.119$	1.345
合計		121.81㎡

建物求積図 1/100



各部屋求積図 1/100

公共部分			
番号	室名	計算	面積
①	事務室	$3.185 \times 3.640 = 11.5934$ $0.455 \times 0.91 = 0.41405$ $-1.82 \times 0.455 = -0.8281$	11.18
②	便所	$1.365 \times 0.91 = 1.24215$	1.24
③	地域交流室	$1.82 \times 2.73 = 4.9686$	4.97
④	控室	$1.82 \times 1.365 = 2.4843$	2.49
⑤	風除室	$2.73 \times 1.365 = 3.72645$	3.72
合計			23.60㎡

車庫部分			
番号	室名	計算	面積
⑥	公用車庫	$3.185 \times 5.005 = 15.94$	15.94
合計			15.94㎡

屋外倉庫部分			
番号	室名	計算	面積
⑦	外倉庫	$1.365 \times 1.82 = 2.4893$	2.49
合計			2.49㎡

住居部分			
番号	室名	計算	面積
⑧	台所兼食卓	$7.010 \times 3.64 = 25.5146$ $5.915 \times 0.455 = 2.6913$	28.20
⑨	洋室①	$3.64 \times 3.64 = 13.2496$	13.25
⑩	収納①	$0.91 \times 1.82 = 1.6562$	1.66
⑪	収納②	$0.91 \times 1.82 = 1.6562$	1.66
⑫	収納	$1.365 \times 1.82 = 2.4845$	2.48
⑬	洋室②	$1.82 \times 1.40 = 2.55$	2.55
⑭	収納③	$0.91 \times 1.82 = 1.6562$	1.66
⑮	洗面脱衣	$1.635 \times 1.82 = 2.9757$	2.98
⑯	浴室	$1.365 \times 1.82 = 2.4843$	2.48
⑰	便所	$1.82 \times 0.91 = 1.6562$	1.66
⑱	廊下	$4.38 \times 0.91 = 3.9858$ $1.635 \times 0.91 = 1.48785$ $0.91 \times 0.91 \times 0.5 = 0.414$	5.89
⑳	玄関	$2.275 \times 0.91 = 2.070$ $0.91 \times 0.91 = 0.8281$ $0.91 \times 0.91 \times 0.5 = 0.414$	3.31
合計			74.34㎡

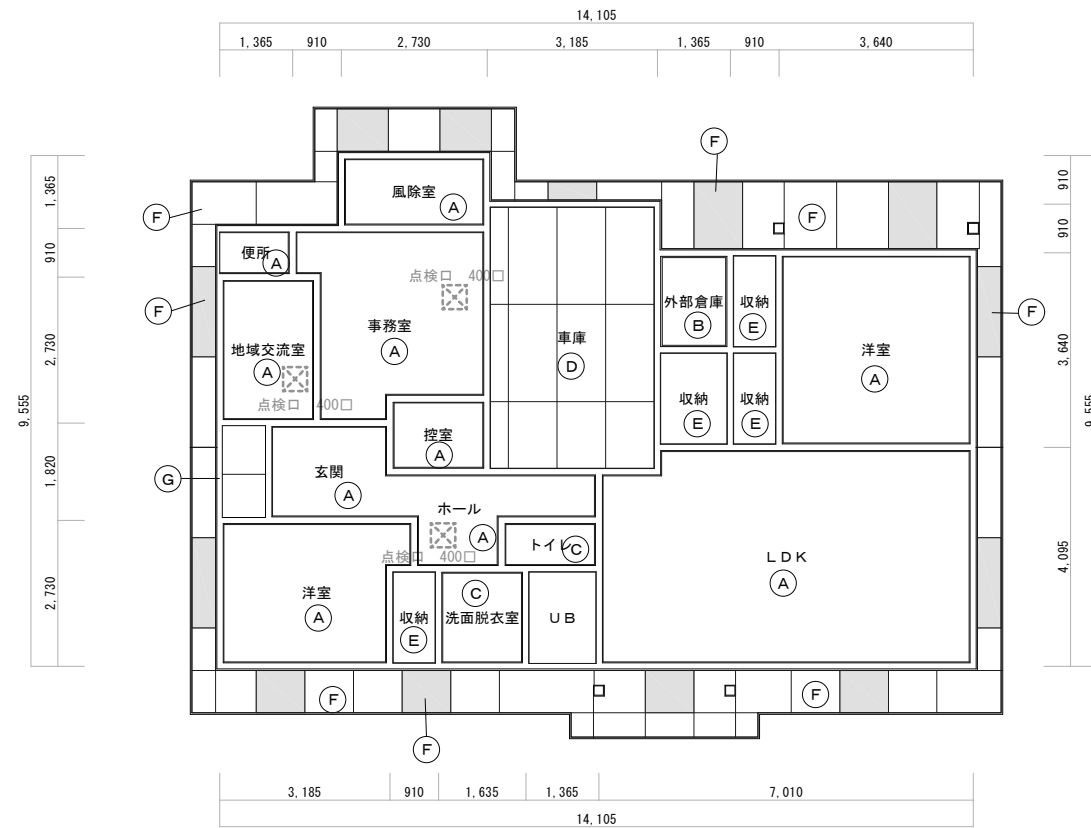


天井伏図 記号

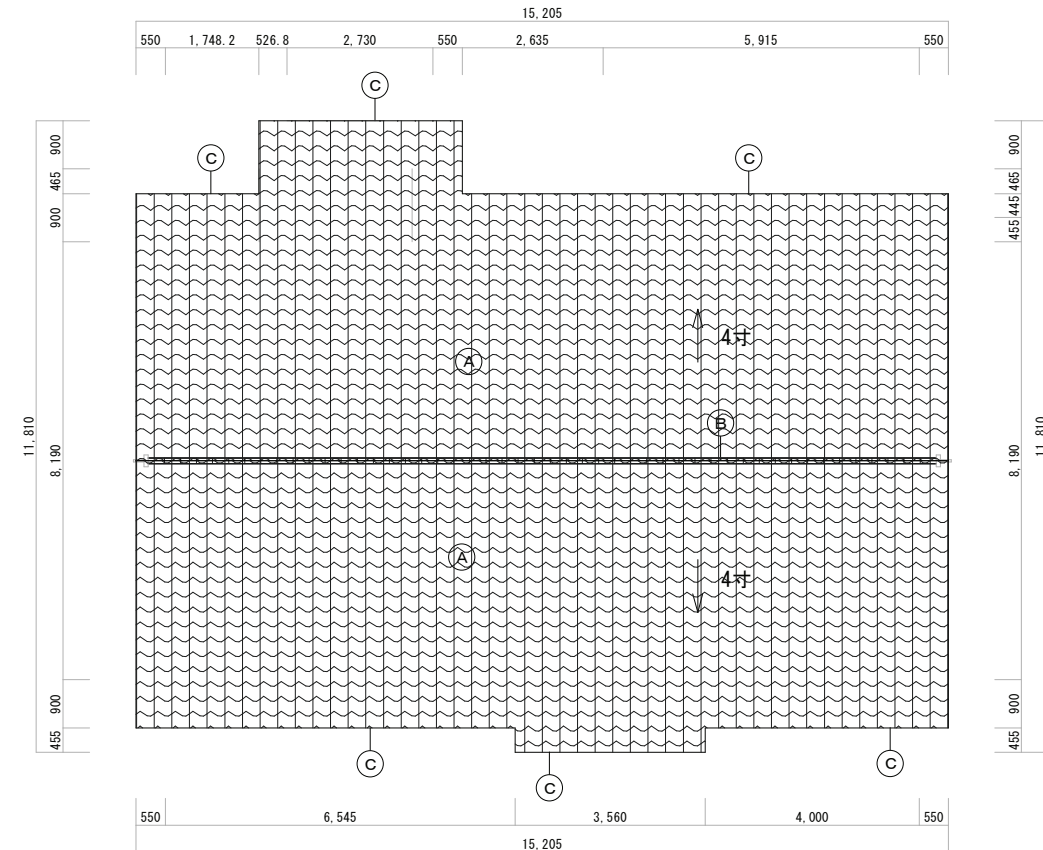
(A)	石膏ボード (GB-R) t=9.5 下地ビニールクロス貼	廻り縁: 塩ビ製廻縁
(B)	石膏ボード (GB-R) t=9.5	廻り縁: 塩ビ製廻縁
(C)	化粧石膏ボード (GB-D) t=9.5	廻り縁: 塩ビ製廻縁
(D)	ケイ酸カルシウム板目スカーン t=6.0	廻り縁: 塩ビ製廻縁
(E)	ラワン合板 (T-1) t=2.5	廻り縁: 塩ビ製廻縁
(F)	軒裏: 木下地組 ケイカル板t=6 E.P.塗	一部有孔板 E.P.塗
(G)	下り壁見切: カラーG.L.鋼板t=0.4	

屋根伏図 記号

(A)	屋根: 石州平板瓦葺 (3.5寸勾配) 雪持瓦2段
(B)	三角棟瓦 紐付き
(C)	軒樋: カラー塩ビ製 角型105 SUS受金物@455



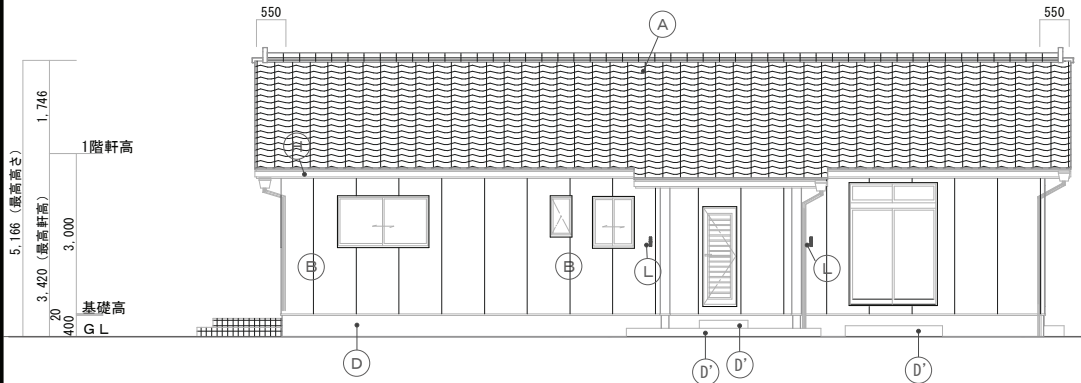
天井伏図 1/100



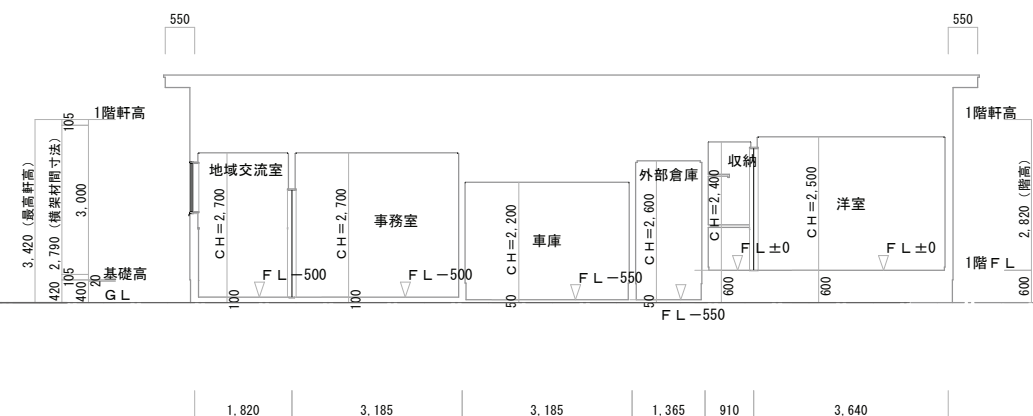
屋根伏図 1/100



一級建築士事務所 登録番号 鳥取県第03-1035号 その建築設計事務所 米子市河崎1746-17 TEL(0859)30-0100 FAX(0859)30-0101 監理責任者一級建築士登録番号236776 山本 博樹	検印 	担当 	作図 	作図 	R6年3月 日 SCALE 1/100	工事名 黒坂警察署多里駐在所新築工事	図面名 天井伏図・屋根伏図	A-13 23

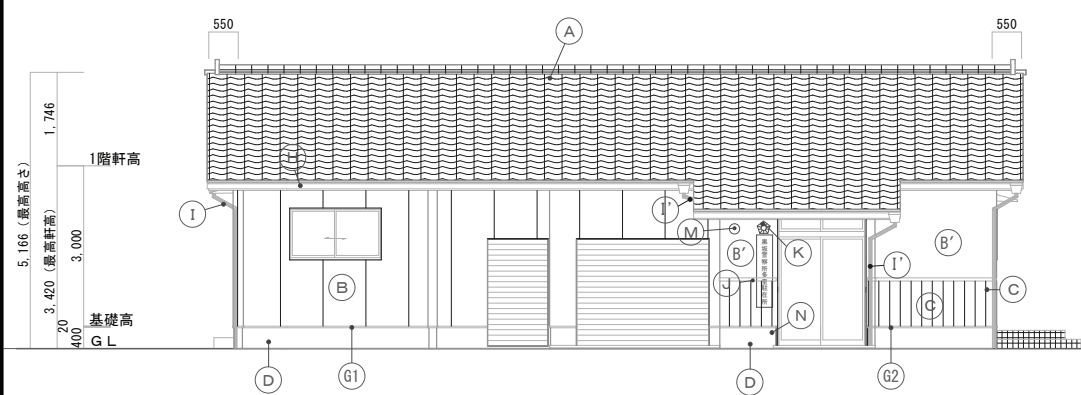


南立面図 1/100

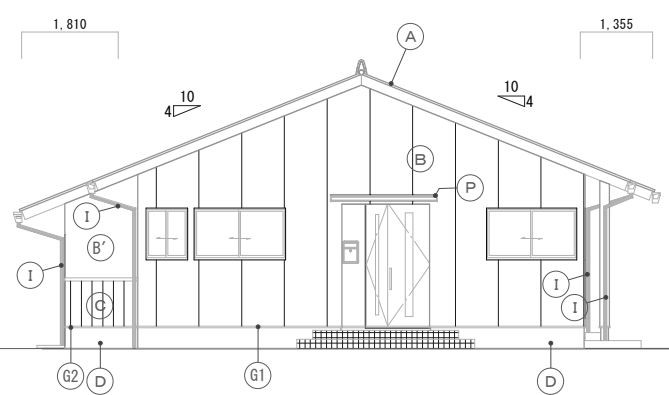


断面図 1/100

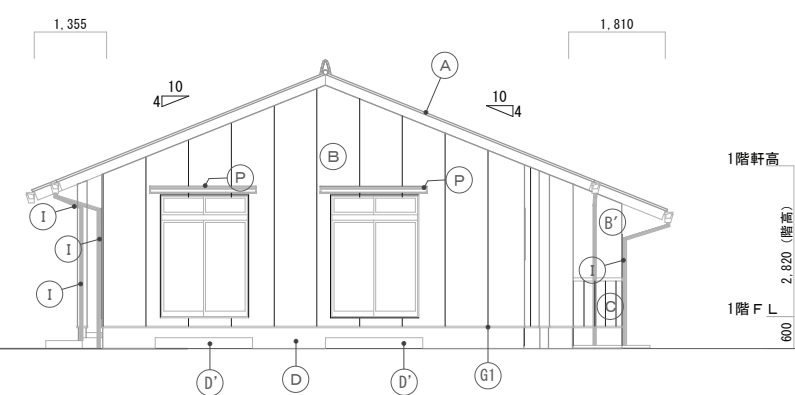
外部 仕上符号	
(A)	屋根：石州平板瓦葺（3.5寸勾配）雪持瓦2段
(B)	外壁：窯業珪酸塩繊維製品14t 縦張（外気通気工法） 窯業珪酸塩繊維製品14t 縦張（外気通気工法） 可とう形外装薄塗材E（砂壁状）吹付
(B')	外壁：ラスモルタル下地 珪藻土塗
(C)	腰壁：杉板 t=12.0 相決り WP塗
(D)	巾木：モルタル刷毛引<20> (D') モルタル金銀押<30>
(E)	鼻隠シ 破風板：杉 上小 WP塗
(F)	軒裏：木下地組 ケイカル板<6>一部有孔板 EP塗
(G1)	水切：杉-GL鋼板製<0.4>（防鼠付）
(G2)	水切：杉-GL鋼板製<0.4>
(H)	軒樋：カラー塩ビ製 角型105 SUS受金物@455
(I)	壁樋：カラー塩ビ製φ60 SUS挿金物@1,200 (I') 養生管：SGP-W80A DP塗 SUS挿金物
(J)	表札：桧板 300×1,500×<25> 墨書入れ共
(K)	警察紋章：警察紋章2号（φ250）
(L)	壁付用干金物：AL製既製品 川口技研 HC-65型同等品
(M)	赤色燈：（設備工事）
(N)	国旗用受け金具：ステン製 市販品
(P)	アルミ製庇：D=450 L=1800 杉/FRSs'イ'- RS-M型 同等品



北立面図 1/100



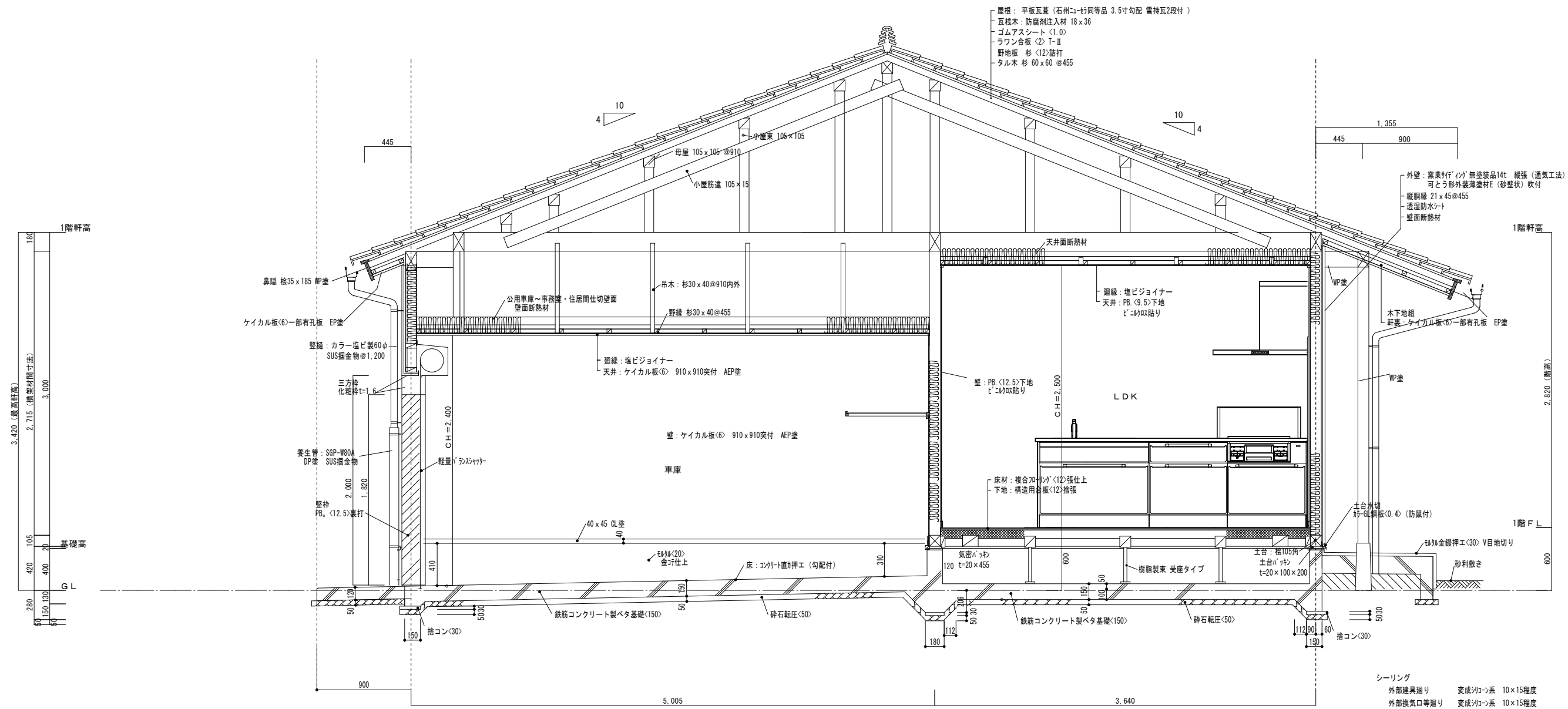
西立面図 1/100



東立面図 1/100



一級建築士事務所 登録番号 鳥取県第03-1035号 その建築設計事務所 米子市河崎1746-17 TEL(0859)30-0100 FAX(0859)30-0101 監理責任者一級建築士登録番号236776 山本 博樹	検印 担当 作図 作図 	R6年3月 日 SCALE 1/100	工事名 黒坂警察署多里駐在所新築工事	A-14 23
	図面名 立面図 断面図	図面名 立面図 断面図		



屋根：平板瓦葺（石州工巧同等品 3.5寸勾配 雪持瓦2段付）
 瓦棟木：防腐剤注入材 18×36
 ゴムアスシート <1.0>
 ラワン合板 <2> T-II
 野地板 杉 <12> 釘打
 タル木 杉 60×60 @455

外壁：窯業材「イソ」無塗装品14t 縦張（通気工法）
 可とう外装薄塗材E（砂壁状）吹付
 縦網線 21×45@455
 透湿防水シート
 壁面断熱材

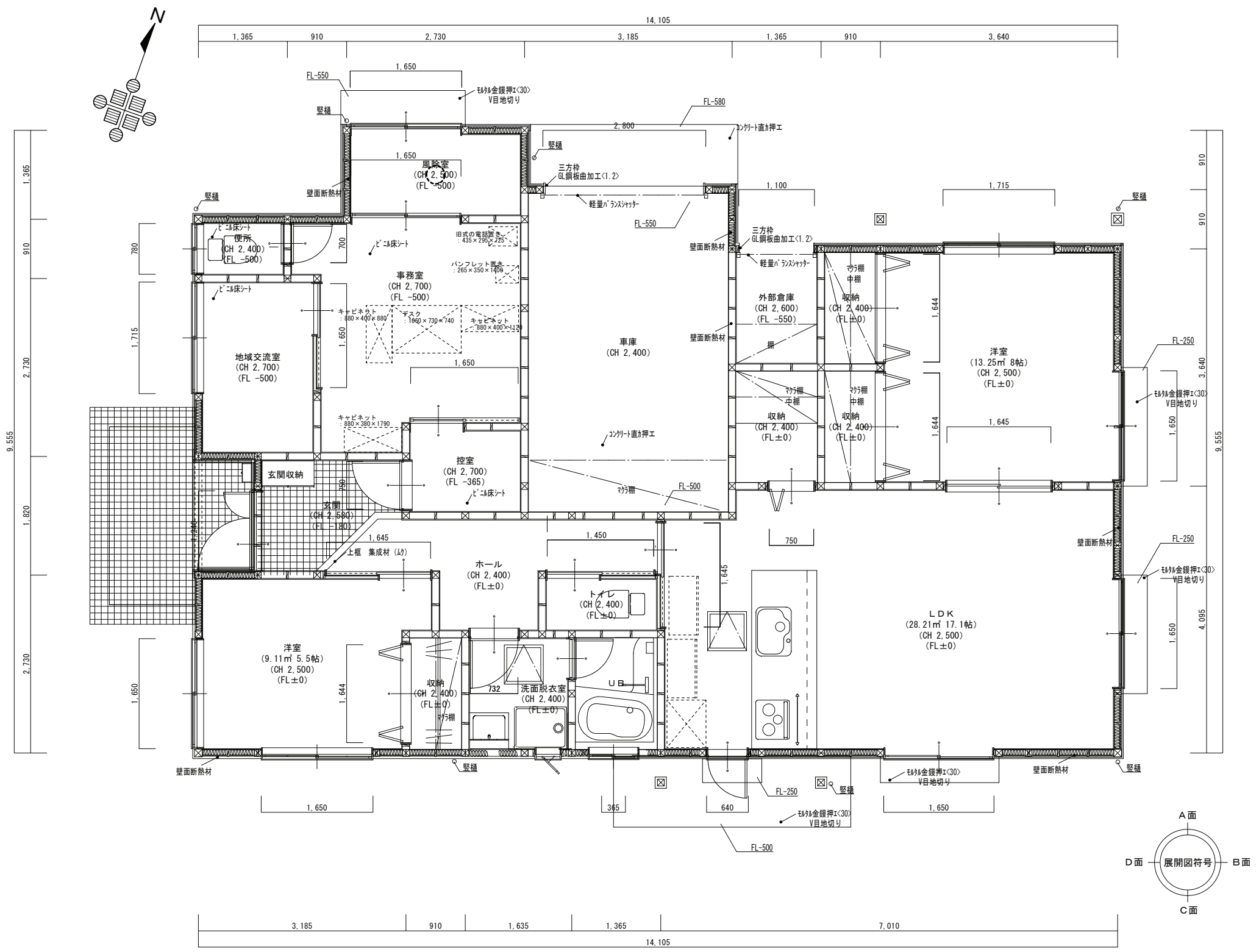
シーリング
 外部建具廻り 変成シリコン系 10×15程度
 外部換気口等廻り 変成シリコン系 10×15程度
 サイディング目地等 変成シリコン系 10×15程度
 サイディング取合等 変成シリコン系 10×15程度

断熱材
 天井面断熱材 グラスウール24K t=200
 壁面断熱材 硬質ウレタンフォーム現場発泡吹付 t=100
 床下断熱材 A種フェノールフォーム保温板（1種2号）t=50
 断熱材は、外倉庫・公用車庫を除く

矩計図 1/30



一級建築士事務所 登録番号 鳥取県第03-1035号 その建築設計事務所 米子市河崎1746-17 TEL(0859)30-0100 FAX(0859)30-0101 監理責任者一級建築士登録番号236776 山本 博樹	検印	担当	作図	作図	R 6 年 3 月 日 SCALE 1/30	工事名 黒坂警察署多里駐在所新築工事	A-15 23
						図面名 矩計図	



平面 詳細図 1/50

断熱材
壁面断熱材 硬質ウレタンフォーム現場発泡吹付 t=100



一級建築士事務所 登録番号 鳥取県第03-1035号 その建築設計事務所 米子市河崎1746-17 TEL(0859)30-0100 FAX(0859)30-0101 監理責任者一級建築士登録番号236776 山本 博樹		検印 	担当 	作図 	作図 	R 6 年 3 月 日 SCALE 1/ 50	工事名 黒坂警察署多里駐在所新築工事	図面名 平面詳細図	A-16 23
--	--	--------	--------	--------	--------	-------------------------------	-----------------------	--------------	------------

名称	仕上	事務室				
事務室						
床	ビニル床シート t=2.5 (防滑仕様)					
幅木	モルタル金ゴテ仕上 EP塗					
	見切: 杉 CL塗 見付25					
壁	石膏ボード (GB-R) t=12.5下地 ビニールクロス貼					
天井	化粧石膏ボード (GB-D) t=9.5					
廻縁	塩ビ製廻縁					
額縁	金属製建具枠: 既製品 窓枠見付24					
	木製建具枠: 既製品 枠見付25					
	スチール枠: 溶融亜鉛メッキ鋼板t=1.6 (控室・踏込)					
備考	室名札 (2ヶ所) トイレ表示板 (1ヶ所)					
		[A 面]	[B 面]	[C 面]	[D 面]	便所

名称	仕上	事務室 便所				
事務室 便所						
床	ビニル床シート t=2.5 (防滑仕様)					
幅木	モルタル金ゴテ仕上 EP塗					
	見切: 杉 CL塗 見付25					
壁	耐水石膏ボード (GB-S) t=12.5下地 ビニールクロス貼					
天井	化粧石膏ボード (GB-D) t=9.5					
廻縁	塩ビ製廻縁					
額縁	金属製建具枠: 既製品 窓枠見付24					
	木製建具枠: 既製品 枠見付25					
備考	ペーパー棚					
		[A 面]	[B 面]	[C 面]	[D 面]	

名称	仕上	地域交流室				
地域交流室						
床	ビニル床シート t=2.5 (防滑仕様)					
幅木	モルタル金ゴテ仕上 EP塗					
	見切: 杉 CL塗 見付25					
腰壁	杉板張 (上小・本実) t=9 幅90 CL塗					
	見切: 杉 CL塗 見付25					
壁	石膏ボード (GB-R) t=12.5下地 ビニールクロス貼					
天井	化粧石膏ボード (GB-D) t=9.5					
廻縁	塩ビ製廻縁					
額縁	金属製建具枠: 既製品 窓枠見付24					
	木製建具枠: 既製品 枠見付25					
備考	ブラインド					
		[A 面]	[B 面]	[C 面]	[D 面]	

名称	仕上	控室 (倉庫)				
控室						
床	ビニル床シート t=2.5 (防滑仕様)					
幅木	モルタル金ゴテ仕上 EP塗					
	見切: 杉 CL塗 見付25					
壁	石膏ボード (GB-R) t=12.5下地 ビニールクロス貼					
天井	化粧石膏ボード (GB-D) t=9.5					
廻縁	塩ビ製廻縁					
額縁	スチール枠: 溶融亜鉛メッキ鋼板t=1.6					
備考						
		[A 面]	[B 面]	[C 面]	[D 面]	



名称	仕上	車庫			
床	コンクリート直力押エ				
幅木	モルタル金ゴテ仕上				
見切	杉 C.L.塗 見付40				
壁	ケイ酸カルシウム板目スカーンt=6.0				
天井	ケイ酸カルシウム板目スカーンt=6.0				
廻縁	塩ビ製廻縁				
三方枠	化粧枠t=1.6				
備考	マクラ棚				

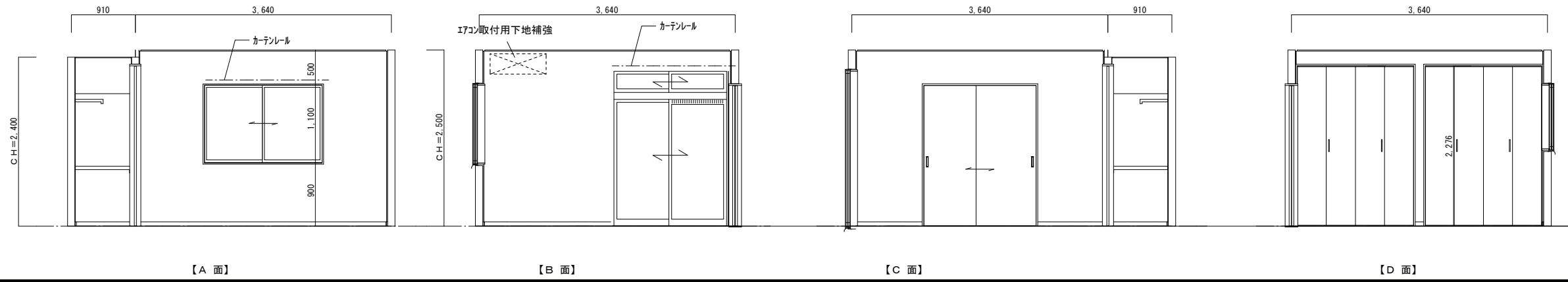
名称	仕上	玄関・廊下			
床	磁器タイル100角(立上り共)				
幅木	杉 C.L.塗 H=60				
壁	石膏ボード(GB-R) t=12.5下地 ビニールクロス貼				
天井	石膏ボード(GB-R) t=9.5下地 ビニールクロス貼				
廻縁	塩ビ製廻縁				
廊下					
床	合板t=12下地 複合フローリングt=12				
幅木	杉 C.L.塗 H=60				
壁	石膏ボード(GB-R) t=12.5下地 ビニールクロス貼				
天井	石膏ボード(GB-R) t=9.5下地 ビニールクロス貼				
廻縁	塩ビ製廻縁				
備考	玄関: 上り框 集成材(ムク) 90×150 玄関: 下足入: 既製品				

名称	仕上	LDK		
床	合板t=12下地 複合フローリングt=12			
幅木	杉 C.L.塗 H=60			
	【A・B・C面】石膏ボード(GB-R) t=12.5下地			
壁	【D面】耐水石膏ボード(GB-S) t=12.5下地			
天井	ビニールクロス貼 一部: キッチンパネル			
廻縁	石膏ボード(GB-R) t=9.5下地 ビニールクロス貼			
額縁	塩ビ製廻縁			
	金属製建具枠: 既製品 窓枠見付24			
	木製建具枠: 既製品 枠見付25			
備考	カーテンレール: アルミ(W) システムキッチン 床下点検口			

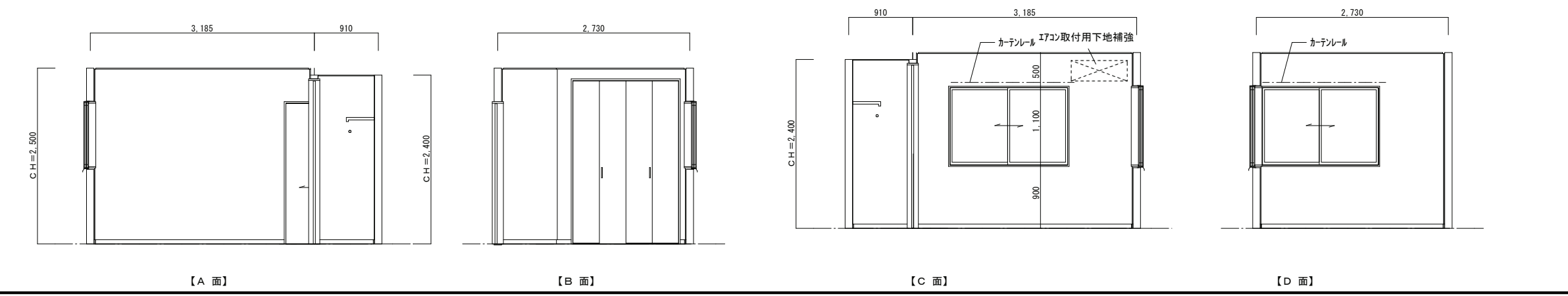
名称	仕上	LDK		
床	合板t=12下地 複合フローリングt=12			
幅木	杉 C.L.塗 H=60			
壁	石膏ボード(GB-R) t=12.5下地 ビニールクロス貼			
天井	石膏ボード(GB-R) t=9.5下地 ビニールクロス貼			
廻縁	塩ビ製廻縁			
床	合板t=12下地 複合フローリングt=12			
幅木	杉 C.L.塗 H=60			
壁	石膏ボード(GB-R) t=12.5下地 ビニールクロス貼			
天井	石膏ボード(GB-R) t=9.5下地 ビニールクロス貼			
廻縁	塩ビ製廻縁			
備考				



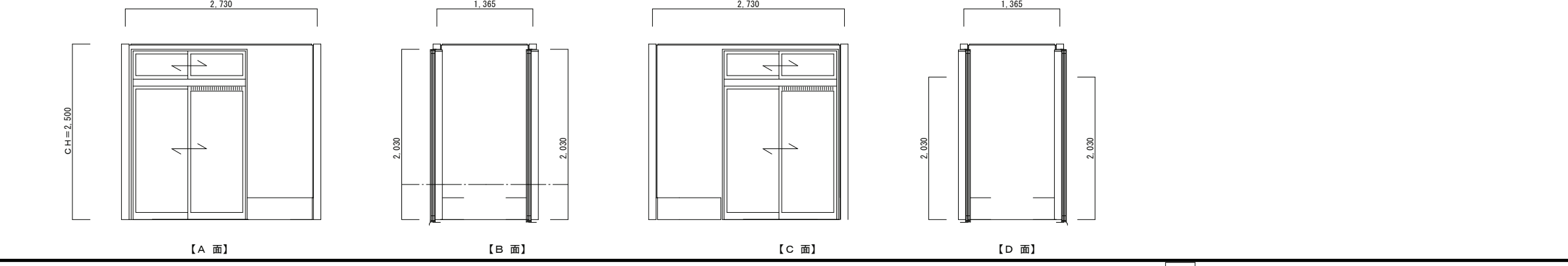
名称	仕上	洋間				
床	合板t=12下地 複合フローリングt=12					
幅木	杉 CL塗 H=60					
壁	石膏ボード (GB-R) t=12.5下地 ビニールクロス貼 石膏ボード (GB-R) t=9.5下地 ビニールクロス貼					
天井	金属製建具枠: 既製品 窓枠見付24					
廻縁	木製建具枠: 既製品 枠見付25					
額縁						
備考	カーテンレール: アルミ (W) 収納: マクラ棚 中棚					



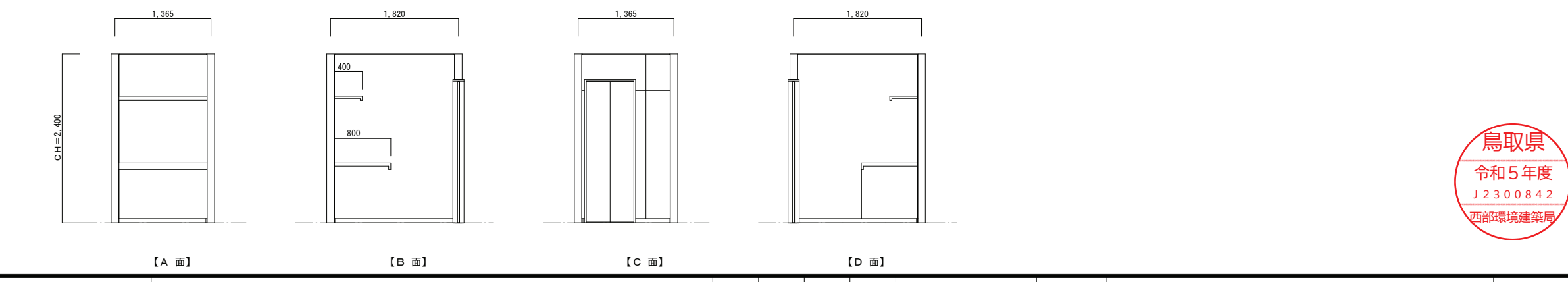
名称	仕上	洋間				
床	合板t=12下地 複合フローリングt=12					
幅木	杉 CL塗 H=60					
壁	石膏ボード (GB-R) t=12.5下地 ビニールクロス貼					
天井	石膏ボード (GB-R) t=9.5下地 ビニールクロス貼					
廻縁	塩ビ製廻縁					
額縁	金属製建具枠: 既製品 窓枠見付24 木製建具枠: 既製品 枠見付25					
備考	カーテンレール: アルミ (W) マクラ棚 ハンガーパイプ 可動棚					



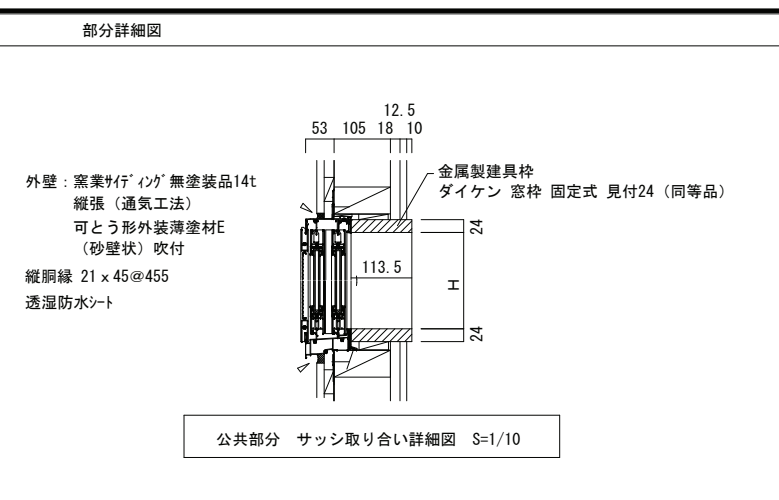
名称	仕上	風除室				
床	ビニル床シート t=2.5 (防滑仕様)					
幅木	モルタル金ゴテ仕上 EP塗					
壁	見切: 杉 CL塗 見付25					
天井	石膏ボード (GB-R) t=12.5下地 ビニールクロス貼					
廻縁	化粧石膏ボード (GB-D) t=9.5					
額縁	塩ビ製廻縁					
備考	金属製建具枠: 既製品 窓枠見付24 木製建具枠: 既製品 枠見付25					



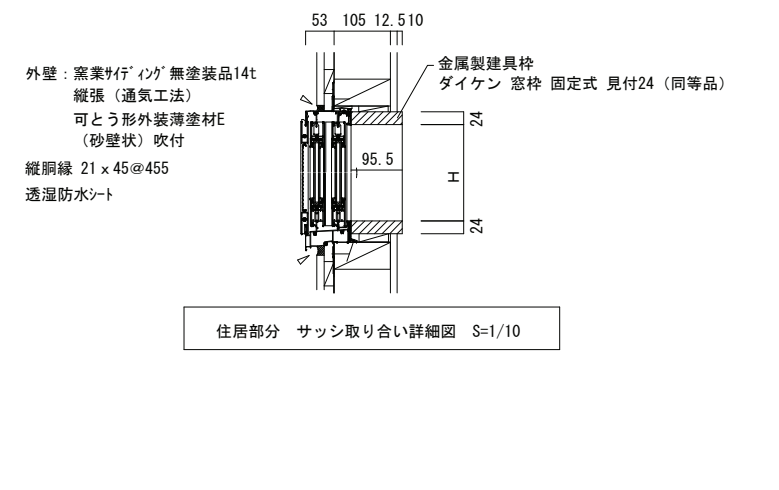
名称	仕上	収納				4面
床	合板t=12下地 複合フローリングt=12					
幅木	雑巾摺					
壁	合板 (T-1) t=4					
天井	合板 (T-1) t=2.5					
廻縁	塩ビ製廻縁					
額縁	木製建具枠: 既製品 枠見付25					
備考	収納: マクラ棚 中棚					



名称	仕上	便所			
便所					
床	耐水合板t=12下地 ビニル床シートt=2.0				
幅木	ソフト巾木 H=60				
壁	耐水石膏ボード (GB-S) t=12.5下地 ビニルクロス貼				
天井	化粧石膏ボード (GB-D) t=9.5				
廻縁	塩ビ製廻縁				
額縁	木製建具枠：既製品 枠見付25				
備考	ペーパー棚				



名称	仕上	洗面・脱衣室			
洗面・脱衣室					
床	耐水合板t=12下地 ビニル床シートt=2.0				
幅木	ソフト巾木 H=60				
腰壁	耐水石膏ボード (GB-S) t=12.5下地 化粧ケイカル板t=6				
壁	耐水石膏ボード (GB-S) t=12.5下地 ビニルクロス貼				
天井	化粧石膏ボード (GB-D) t=9.5				
廻縁	塩ビ製廻縁				
額縁	金属製建具枠：既製品 窓枠見付24 木製建具枠：既製品 枠見付25				
備考	床下点検口				



名称	仕上	外倉庫			
外倉庫					
床	コンクリート金コテ押工				
幅木	モルタル金ゴテ仕上				
壁	石膏ボード (GB-R) t=12.5				
天井	石膏ボード (GB-R) t=9.5				
廻縁	塩ビ製廻縁				
額縁	化粧枠t=1.6				
備考	木製棚				

共通事項

可動棚
棚板：ポリ合板フラッシュt=20 木口珪藻土貼
棚柱：段間隔20

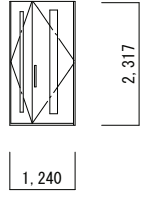
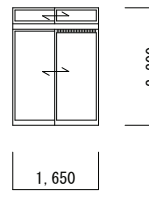
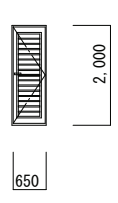
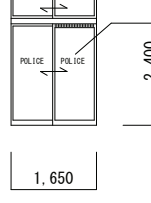
ハンガーパイプ
ハンガーパイプ：ステンレス φ25
パイプブラケット共

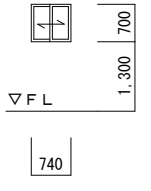
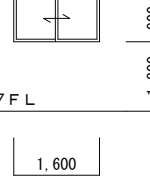
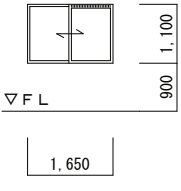
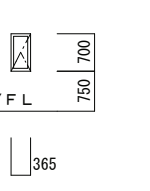
ペーパー棚
ダイケン 集成材飾り棚 (同等品)
壁付けレール共

金属製建具枠
ダイケン 窓枠 固定式 見付24 (同等品)
(和室：和風造作部材)

棚板：合板 t5.5 (T1)
根太：スギ-45×45@303
前框・背框：スギ-45×60

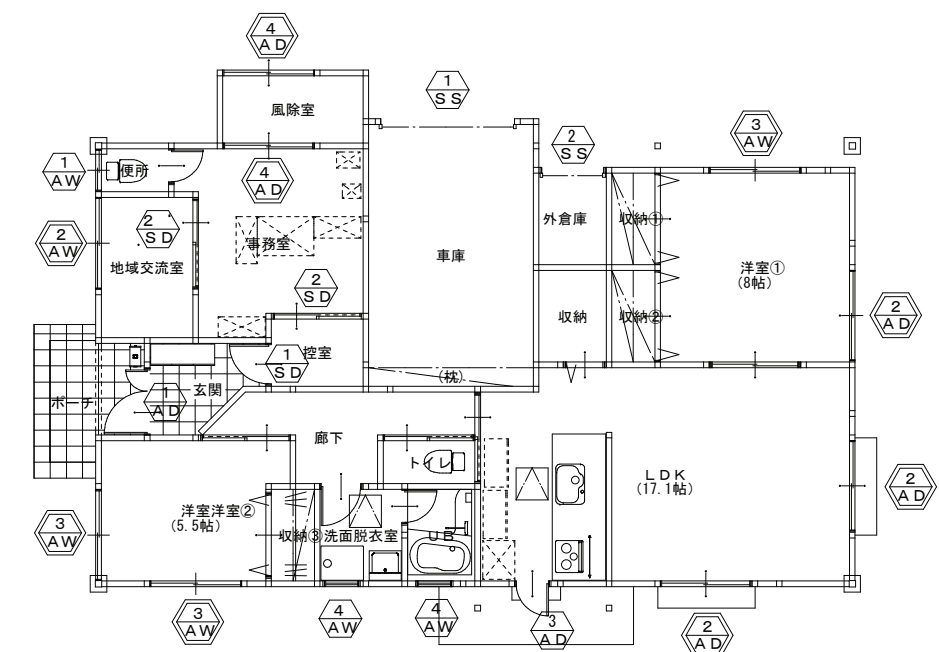


記号 種類	1 AD アルミ玄関親子ドア	2 AD アルミ引違い戸	3 AD アルミ勝手口ドア	4 AD アルミ土間引違い戸	
形状	玄関  ※枠寸法	洋間・LDK  ※内法寸法	勝手口  ※内法寸法	事務室・風除室  ※内法寸法	
仕上 ガラス	カラーアルミ 複層ガラス 透明t=3mm+型板t=4mm	カラーアルミ 複層ガラス 透明t=5mm+透明t=3mm ランマ：複層ガラス 透明t=3mm+透明t=3mm	カラーアルミ 複層ガラス 透明t=3mm+型板t=4mm	カラーアルミ 複層ガラス 透明t=5mm+強化ガラスt=4mm ランマ：複層ガラス 透明t=3mm+強化ガラスt=4mm	
金物 他	シリンダー・サムターン錠、プッシュハンドル、下枠ステンレス、他標準金物一式	クレセント、換気框、他標準金物一式、網戸	シリンダー・サムターン錠、プッシュハンドル、下枠ステンレス、他標準金物一式	シリンダー錠、換気框、他標準金物一式、網戸	
見込 数	84mm 1箇所	70mm 3箇所	70mm 1箇所	70mm 2箇所	
備考 他	住宅用既製品 半外付	住宅用既製品 半外付	住宅用既製品 半外付	住宅用既製品 半外付	

記号 種類	1 AW アルミ引違い窓	2 AW アルミ引違い窓	3 AW アルミ引違い窓	4 AW アルミ縦すべり出し窓	
形状	便所 浴室  ※内法寸法	地域交流室  ※内法寸法	洋間  ※内法寸法	洗面脱衣  ※内法寸法	
仕上 ガラス	カラーアルミ 複層ガラス 型板t=4mm+型板t=4mm	カラーアルミ 複層ガラス 型板t=4mm+型板t=4mm	カラーアルミ 複層ガラス 透明t=3mm+透明t=3mm	カラーアルミ 複層ガラス 型板t=4mm+型板t=4mm	
金物 他	クレセント、他標準金物一式、網戸	クレセント、換気框、他標準金物一式、網戸	クレセント、換気框、他標準金物一式、網戸	カムラッチ、他標準金物一式、網戸	
見込 数	70mm 2箇所	70mm 1箇所	70mm 3箇所	70mm 1箇所	
備考 他	住宅用既製品 半外付	住宅用既製品 半外付	住宅用既製品 半外付	住宅用既製品 半外付	

記号 種類	2 SD 軽量スチール片開き戸	1 SS 軽量バランスシャッター（手動）	
形状	地域交流室  ※内法寸法	公用車庫  ※内法寸法	
仕上 ガラス	化粧鋼板0.6mm	カー鋼板 スラットt=0.4mm	
金物 他	シリンダー錠、引手、サムターン、埋込レール、戸車 ドアスコop、安全錠、他標準金物一式	シャッターボックス、ガイドレール、座板、上げ落とし（錠付） 化粧枠t=1.6 他標準金物一式	
見込 数	扉：36mm 1箇所	下枠：ステンレス L-30×30 1箇所	
備考 他	三方枠：溶融亜鉛めっき鋼板t=1.6 下枠：ステンレス t=1.5	下枠：ステンレス L-30×30	

記号 種類	1 SD 軽量スチール片開き戸	2 SD 軽量スチール片開き戸	2 SS 軽量バランスシャッター（手動）	
形状	ドアスコop（居宅玄関から控室が見える方向） 控室  ※内法寸法	ドアスコop（控室から事務室が見える方向） 控室  ※内法寸法	外倉庫  ※内法寸法	
仕上 ガラス	化粧鋼板0.6mm	化粧鋼板0.6mm	カー鋼板 スラットt=0.4mm	
金物 他	シリンダー錠、レバーハンドル、丁番、DC、ドアスコop 他標準金物一式	シリンダー錠、引手、サムターン、埋込レール、戸車 ドアスコop、安全錠、他標準金物一式	シャッターボックス、ガイドレール、座板、上げ落とし（錠付） 化粧枠t=1.6 他標準金物一式	
見込 数	扉：36mm 1箇所	扉：36mm 1箇所	下枠：ステンレス L-30×30 1箇所	
備考 他	三方枠：溶融亜鉛めっき鋼板t=1.6 下枠：ステンレス t=1.5	三方枠：溶融亜鉛めっき鋼板t=1.6 下枠：ステンレス t=1.5	下枠：ステンレス L-30×30	



建具配置図 S=1:100

鳥取県
令和5年度
J230842
鳥取県環境建築局

金属製建具番号を示す

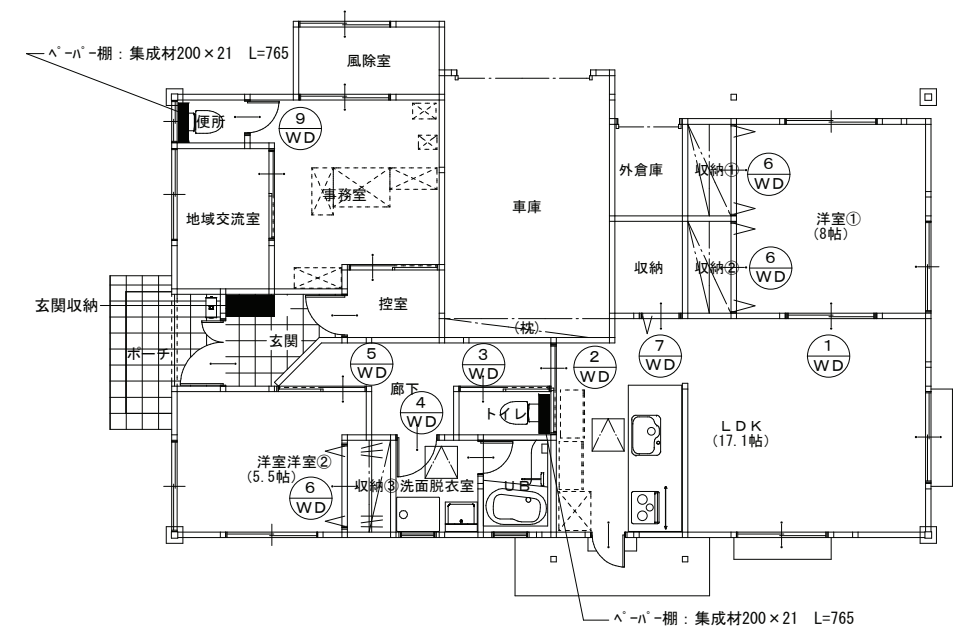
金属製建具番号を示す（換気框仕様）

検印	担当	作図	作図	R6年3月日	工事名	黒坂警察署多里駐在所新築工事
				SCALE	図面名	金属製建具表
				1/100		

一級建築士事務所 登録番号 鳥取県第03-1035号
その建築設計事務所
 米子市河崎1746-17 TEL(0859)30-0100 FAX(0859)30-0101
 監理責任者一級建築士登録番号236776 山本 博樹

記号 種類	① WD 既製品 両引き戸	② WD 既製品 片引き戸	③ WD 既製品 片引き戸	④ WD 既製品 片引き戸	⑤ WD 既製品 片引き戸	⑥ WD 既製品 収納折戸
形状	洋室① 	LDK 	便所 (住宅) 	洗面脱衣室 	洋間 	収納
仕上 ガラス	化粧シート張	化粧シート張 型板ガラスt=4mm	化粧シート張	化粧シート張	化粧シート張	化粧シート張
金物 他	引手、三方枠、埋込レール、戸車、他標準金物一式	引手、三方枠、埋込レール、戸車、他標準金物一式	引手、三方枠、埋込レール、戸車、表示カマ錠 他標準金物一式	ハンドル、丁番、三方枠、他標準金物一式 山型アンダーカット	引手、三方枠、埋込レール、戸車、他標準金物一式	ハンドル、下レール付三方枠、フリーピボット兼用、他標準金物一式
見込 数	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	3箇所
備考 他	住宅用既製品(枠共 壁厚130)	住宅用既製品(枠共 壁厚130)	住宅用既製品(枠共 壁厚130)	住宅用既製品(枠共 壁厚130)	住宅用既製品(枠共 壁厚130)	住宅用既製品(枠共 壁厚130)
記号 種類	⑦ WD 既製品 収納両開き戸				⑨ WD 既製品 片開き戸	
形状	収納 				便所 (事務室) 	
仕上 ガラス	化粧シート張				化粧シート張 型板ガラスt=4mm	
金物 他	ハンドル、スライド丁番、三方枠、下部ドアストッパー 他標準金物一式				ハンドル、表示錠、丁番、三方枠、他標準金物一式	
見込 数	1箇所				1箇所	
備考 他	住宅用既製品(枠共 壁厚130)				住宅用既製品(枠共 壁厚166)	

記号 種類		玄関収納
形状		玄関
仕上 ガラス		化粧シート張
金物 他		トランクユニット ウッドタイプ、ハンドル 棚板セット、補強金具、フロート施工、他標準金物一式
見込 数		1箇所
備考 他		※既製品 ダイケン 玄関収納フラット縦木目タイプ (同等品)



A'-B'-欄: ダイケン 集成材飾り棚 (同等品) 壁付けレール共
建具配置図 S=1:100

※既製品 ダイケン リビングドア (同等品)
 ※既製品 ダイケン クローク収納折戸 (同等品)
 ※既製品 ダイケン 収納開き戸 (同等品)
 ※化粧シート: ポリサンドシート
 ※三方枠: 固定枠 見付25

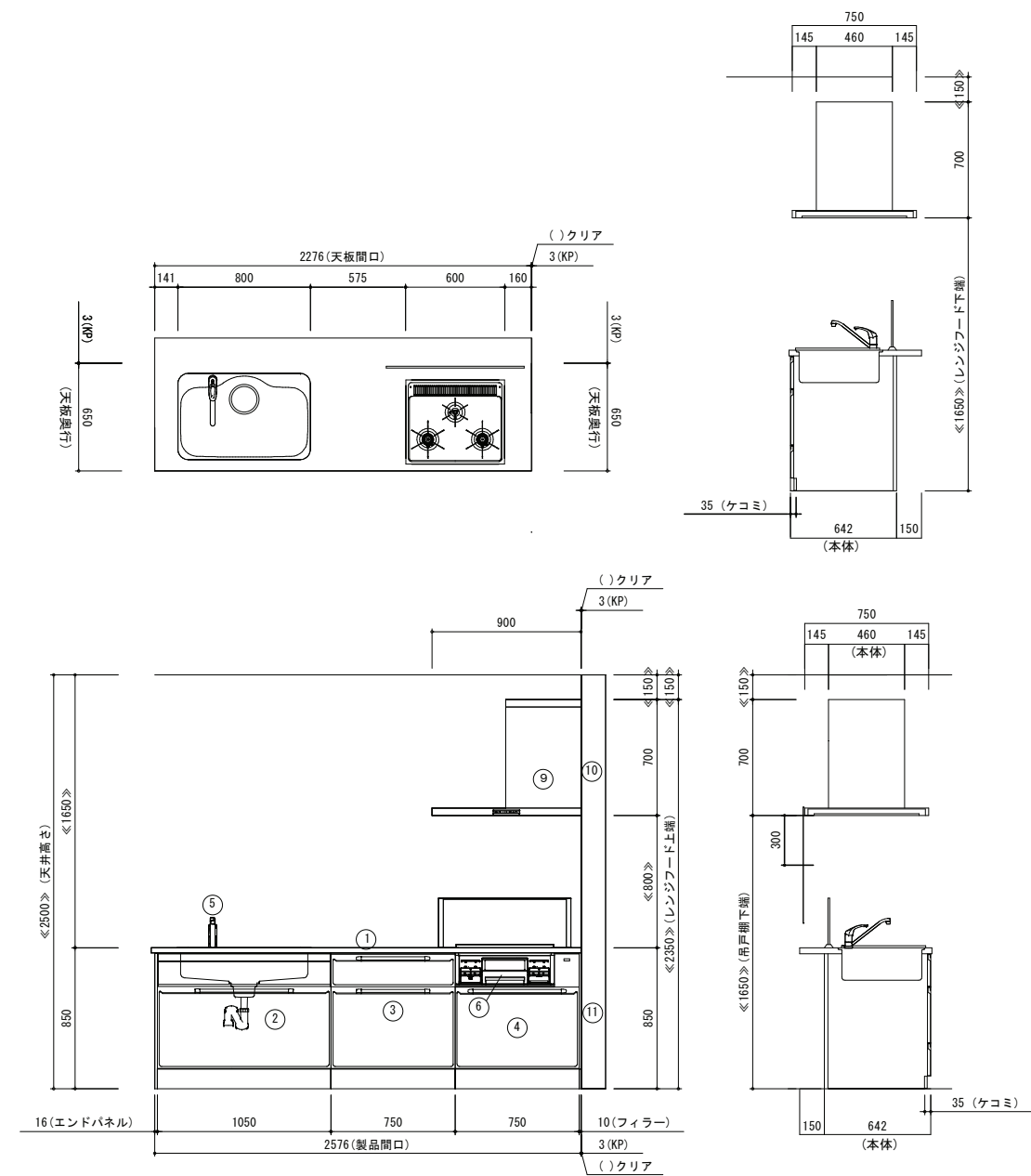


システムキッチン S=1/30

参考 タカラ：ホーローシステムキッチン Edel エーデル
 参考 LIXIL：システムキッチン シエラ17

- | | |
|---------------------------|--------------------------|
| ①ステンレスワークトップ
排水トラップセット | Zシンク (小物置き) |
| ②シンクキャビネット | スライド |
| ③調理台キャビネット | スライド (2段引出し) |
| ④コンロ用キャビネット | スライド |
| ⑤水栓 | エコタイプシングルレバー水栓 (レバー混合水栓) |
| ⑥ガス加熱機器 (ホーロートップ) | 片面焼き |

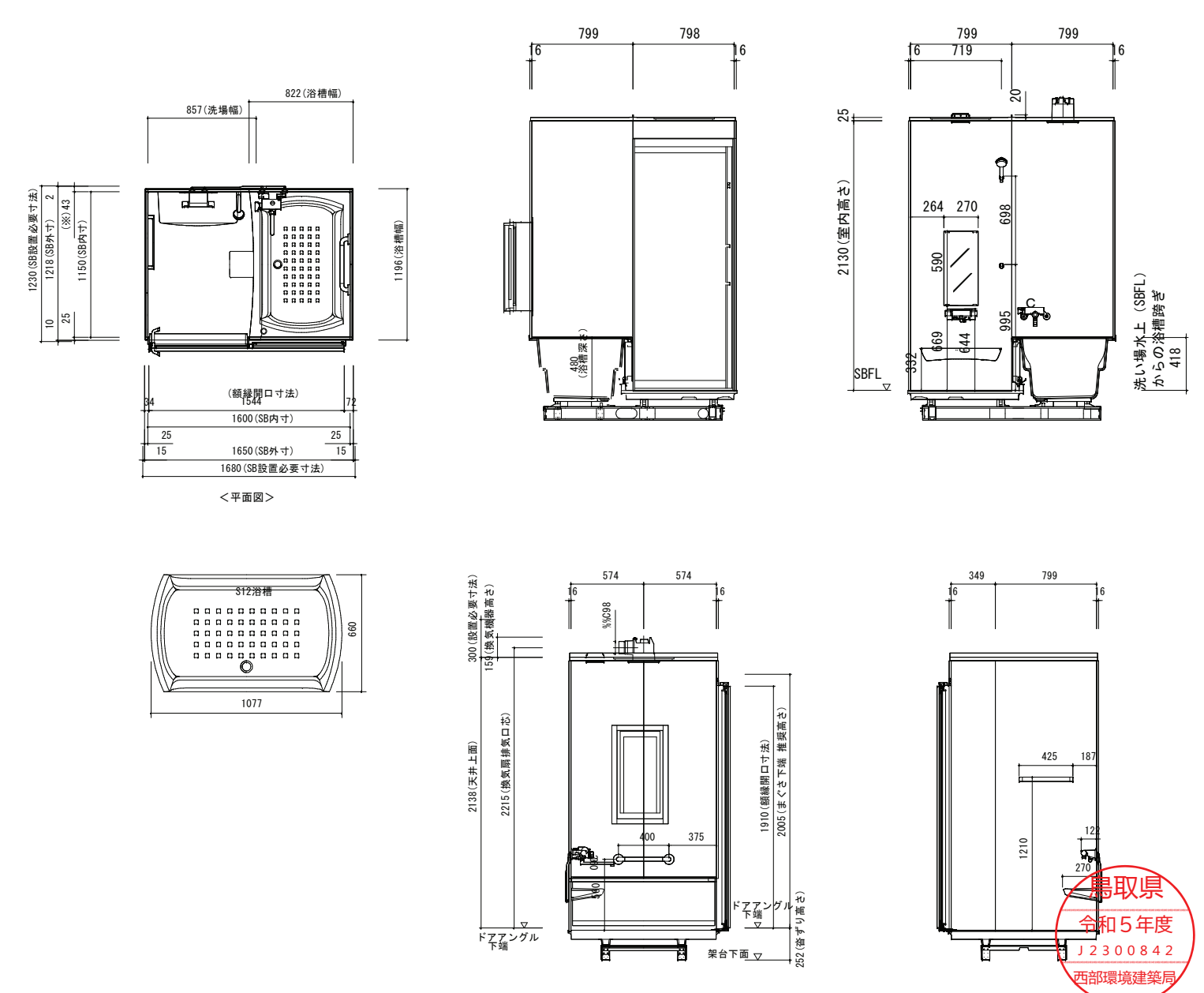
- | | |
|----------------|----------------------|
| ⑨レンジフード
前幕板 | シロッコファン
高さ70cmタイプ |
| ⑩見切りフィルター | レンジフード用 |
| ⑪見切りフィルター | 下台用 |



ユニットバス S=1/30

参考 タカラ：ミーナ S1216サイズ
 参考 TOTO：サザナHS (Nタイプ)

- | | |
|-------|--|
| ドア | キープクリーンドア：19高さ片引戸 (7mm框/樹脂が5mm) |
| 洗場パン | ガラス強化繊維樹脂 (FRP) 保温材付 (発泡ウレタン) |
| 浴槽材質 | ガラス強化繊維樹脂 (FRP) 裏面保温材・高断熱仕様 (発泡ウレタン) |
| 浴槽形状 | セミスクエア浴槽 (S12浴槽・250リットル) 追い焚き穴：なし |
| 洗場側水栓 | サモワール付 (樹脂ホース仕様・SB18520S) 標準シャワーヘッド |
| 浴槽側水栓 | 自動計量止水式サモ付 (KM159GCR24) |
| カウンター | スリムカウンター：ABS樹脂 |
| 浴室パネル | パネル高さKタイプ：鋼板硬質ホーロー 裏面保温材 タオル掛け穴：なし |
| 窓枠 | ABS樹脂 |
| 天井 | フラット天井：化粧サドイフハネ (内部発泡樹脂) 換気機器開口：あり 天井照明開口：あり |
| 換気機器 | 天井換気扇 (設備工事) |
| 照明 | 天井付ミニ照明 (LED 6.9W電球色) |
| ミラー | ショートミラー (フック固定) |
| 風呂フタ | 組合せ式 (アルミ複合板：2枚) |
| タオル掛け | スクエアタイプ (ホワイト)：ABS樹脂製 |
| ハンドバー | 樹脂製 I型400タイプ |



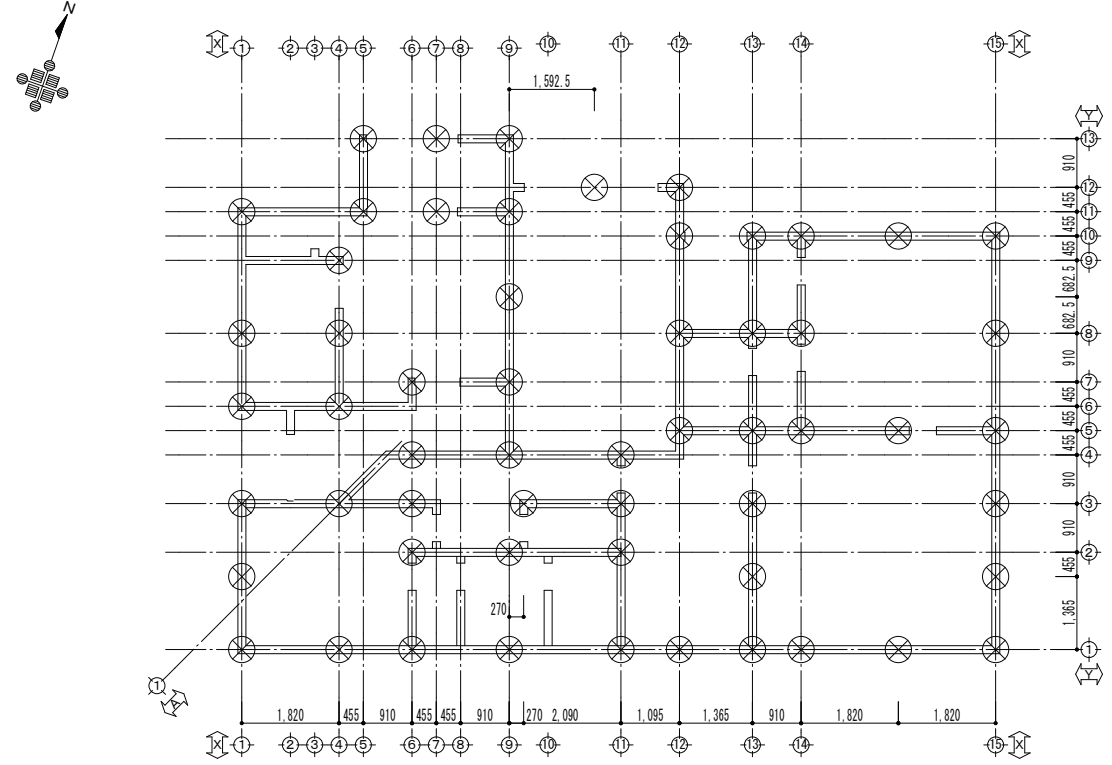
一級建築士事務所 登録番号 鳥取県第03-1035号
その建築設計事務所
 米子市河崎1746-17 TEL(0859)30-0100 FAX(0859)30-0101
 監理責任者一級建築士登録番号236776 山本 博樹

検印	担当	作図	作図	R 6 年 3 月 日	工事名	黒坂警察署多里駐在所新築工事	A-23
				SCALE	図面名	システムキッチン・ユニットバス詳細図	23
				1/30			



地盤改良伏図

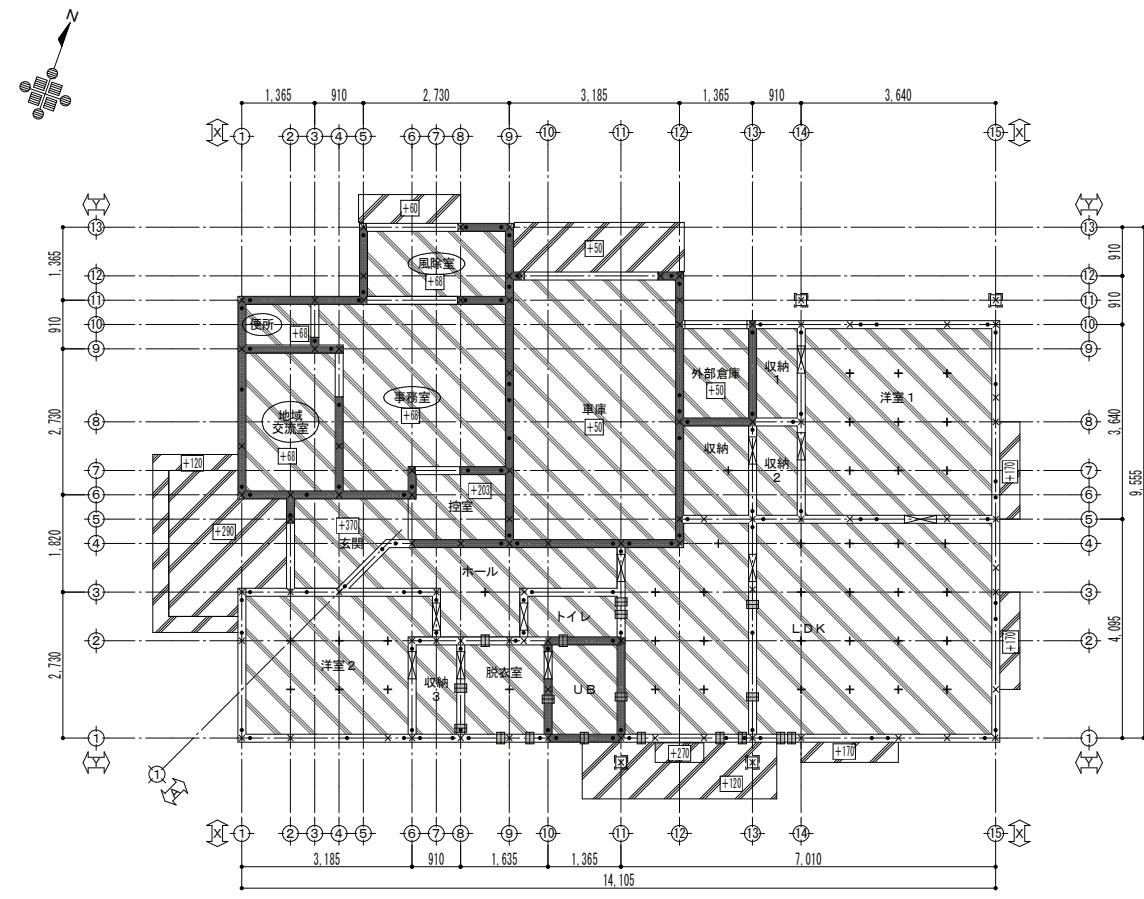
Scale 1:100



⊗ 改良位置を示す
スリーエスG-cube工法
改良径 φ500
改良深度 SGL-1.30m~2.30m
本数 57本
設計基準強度 Fc700kN/m2

基礎伏図

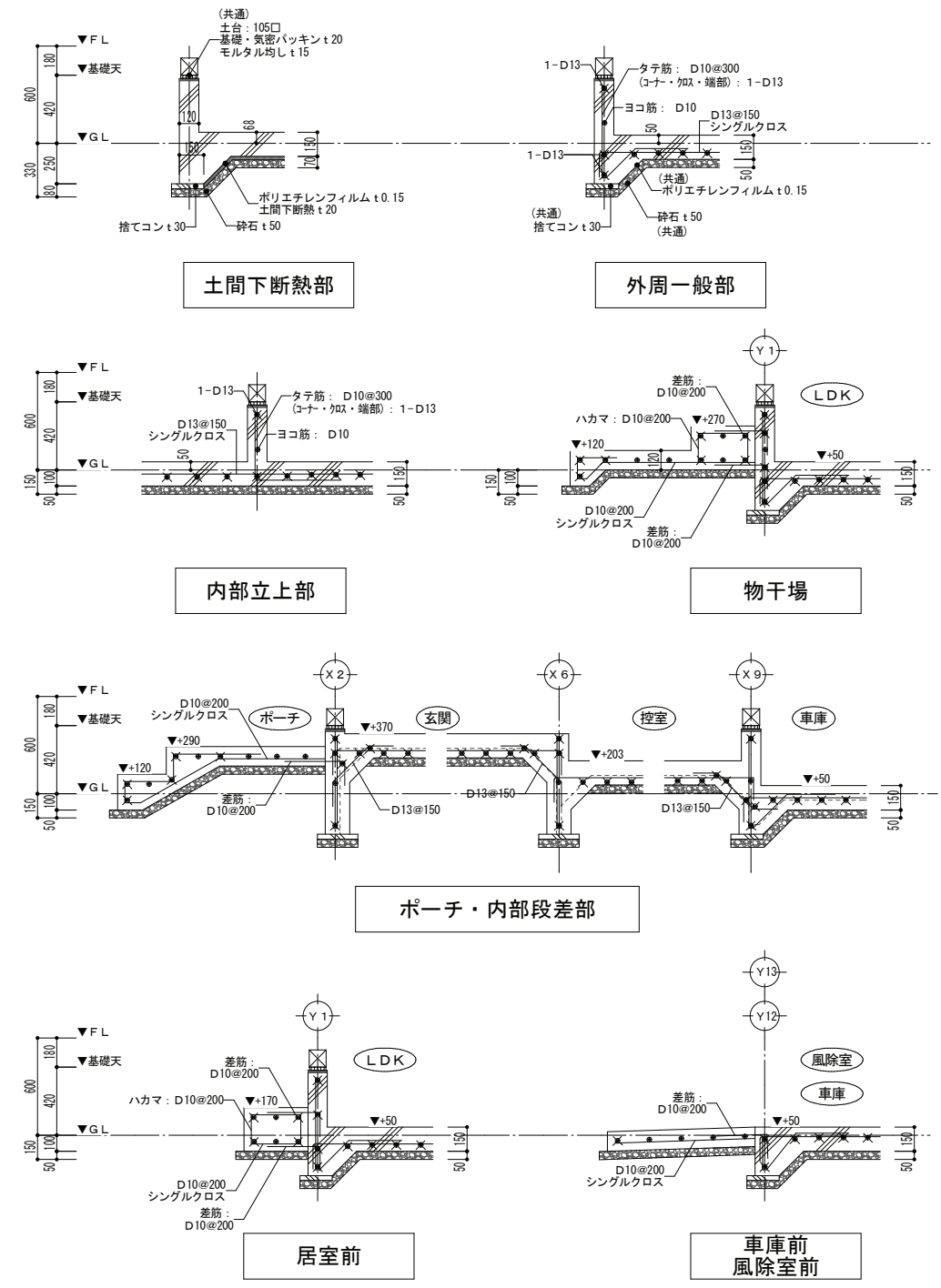
Scale 1:100



- 凡例
- × 上部柱位置
 - 基石: コンクリート製120~250口H450
 - + プラ東 受座タイプ
 - ≡ 床下通気孔 W600
 - ≡ A Bolt: M12-400L (溶融亜鉛メッキ品)
 - ≡ 基礎立上り天端 鉄金銀押工 基礎パッキン: W102 t20
 - ≡ 基礎立上り天端 鉄金銀押工 気密パッキン: W105 t20
 - ≡ ベタ基礎 コンクリート<150> ベース筋 D13 @150 シングルクロス ポリエチレンフィルム t0.15t 砕石地業<50>
 - ≡ 犬走り コンクリート<120> D10-φ200 (シングルクロス) 砕石地業<50> ベタ基礎への差筋 D10-φ200
 - ≡ 立上りスリーブ: 150φ x 18ヶ所
 - Ⓧ(室名) 土間下断熱材: フェノールフォーム保温板 t20

基礎リスト

Scale 1:30



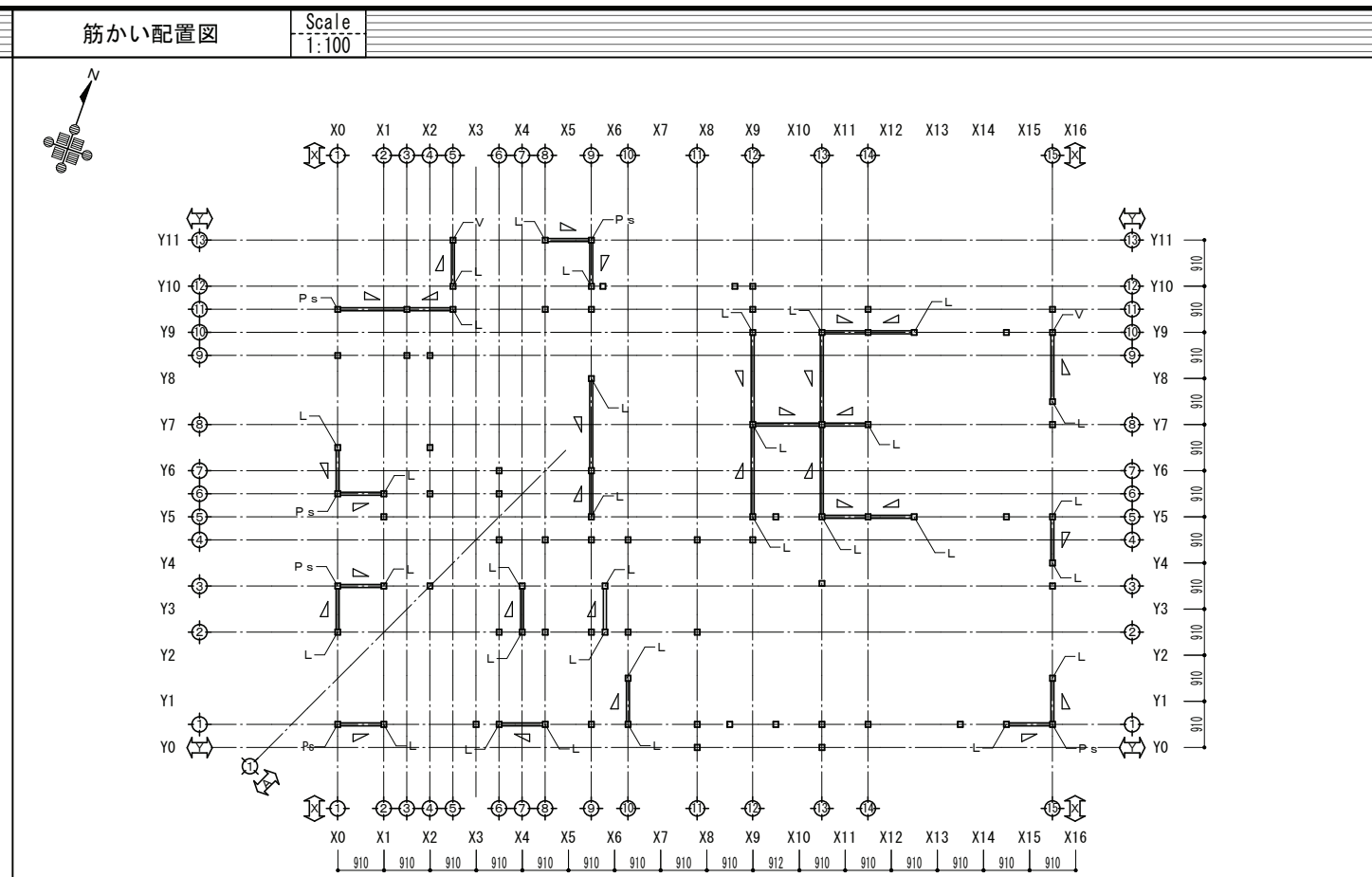
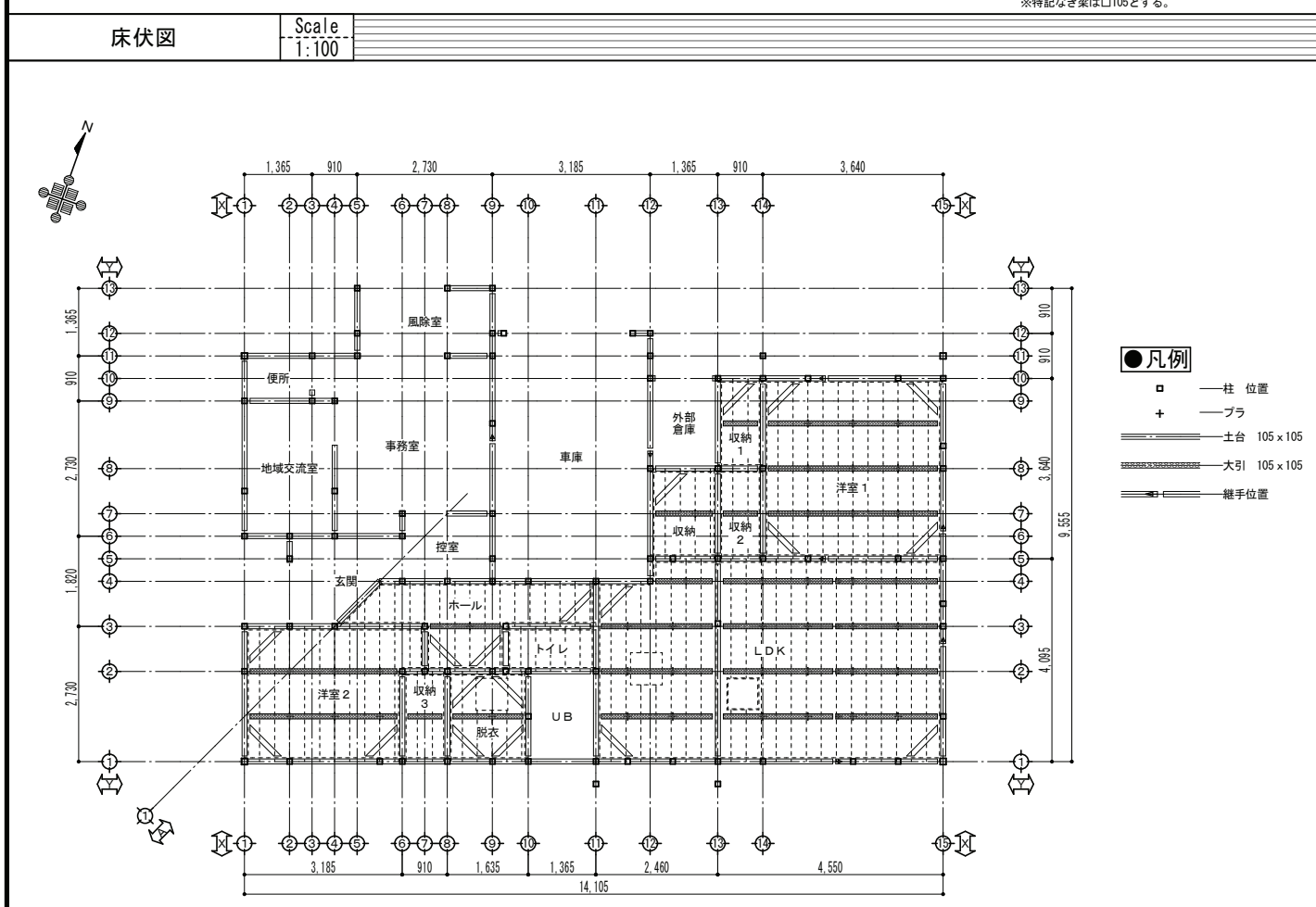
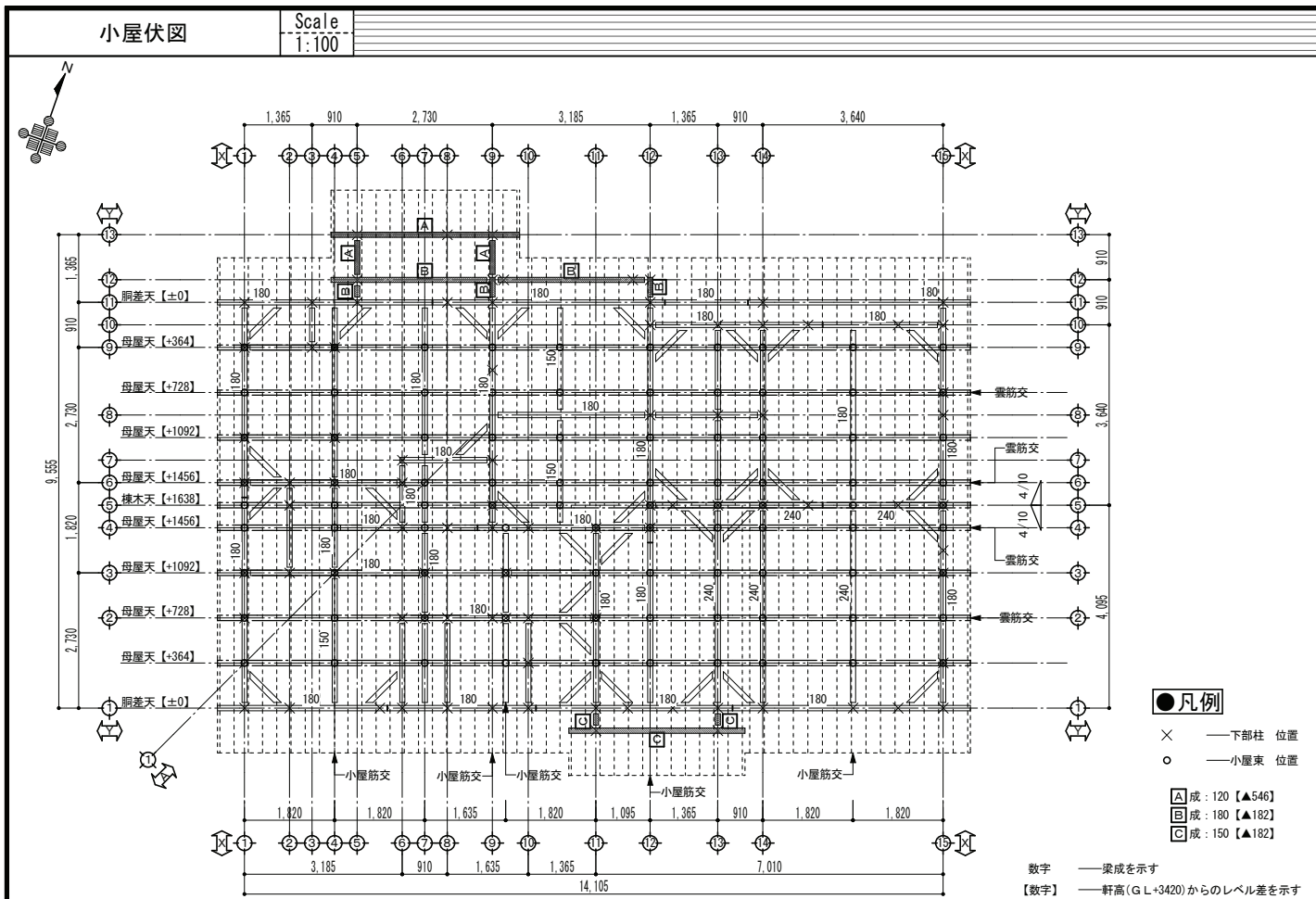
< 基礎 特記事項 >

生コンクリート	・基礎: Fc-24N (21+3) / m2-18-20 ・捨コン: Fc-18N / m2-15-20
地業	・防湿層: ポリエチレンフィルム 0.15t (内部はすべて) ・砕石: 砕石 (Rc40) 庇庄
鉄筋	・異形鉄筋: SD295A 重ね継手 ・D10 × D13
型枠	・普通合板型枠: B種



一級建築士事務所 登録番号 鳥取県第03-1035号
その建築設計時事務所
米子市河崎1746-17 TEL(0859)30-0100 FAX(0859)30-0101
監理責任者一級建築士登録番号236776 山本 博樹

検印	担当	作図	作図	R6年3月 日	工事名	黒坂警察署多里駐在所新築工事
				SCALE	図面名	伏図(地盤改良・基礎)、基礎リスト
						S-01 / 3



筋かいの種類に応じた筋かいの端部の接合部の仕様		
記号	筋かいの種類	接合部の仕様 (構造方法)
▽	木材: 45×90以上 シングル	鋼板添え板 t=2.3mm を筋かいに対してボルトφ12 及びスクリュー釘φ4.5L50, 7本平打ち、柱及び横架材に 対してスクリュー釘φ4.5L50, 5本平打ち。
	壁倍率 2.00	筋かいプレートBP-2同等品

接合部凡例				
記号	N値	仕様	必要耐力	
(い)	0.00	短ほぞ差し、かすがい打ち		0.00
(ろ)	N	長ほぞ差し込み栓打ち	【タナカ】	3.4
(る)	L	L字型金物	スモールコーナーⅡ程度	KN
(は)	V	V字型金物	【タナカ】	5.1
(は)	T	T字型金物	コンパクトコーナー程度	KN
(ほ)	P.s	羽子板+L+スクリュー釘50	【タナカ】	8.5
(ほ)	Is	短冊金物+スクリュー釘50	W羽根U程度	KN

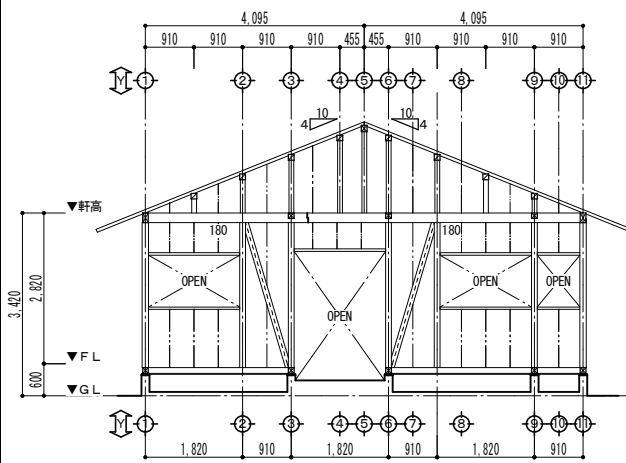
木材仕様

名称	樹種	等級	断面寸法
一般柱	杉	特一等	105×105
筋かい	杉	特一等	45×105
間柱	杉	特一等	30×105
窓台・マガサ	杉	特一等	45×105
土台	桧	特一等	105×105
大引	桧	特一等	105×105
根太	杉	特一等	45×60 @303
火打土台	杉	特一等	105×105
桁・梁	桧	特一等	105×120~240
火打梁	杉	特一等	105×105
母屋	杉	特一等	105×105
小屋束	杉	特一等	105×105
棟木	桧	特一等	105×120
垂木	桧	特一等	45×60 @303
小屋筋かい	杉	特一等	15×105
震筋かい	杉	特一等	15×105

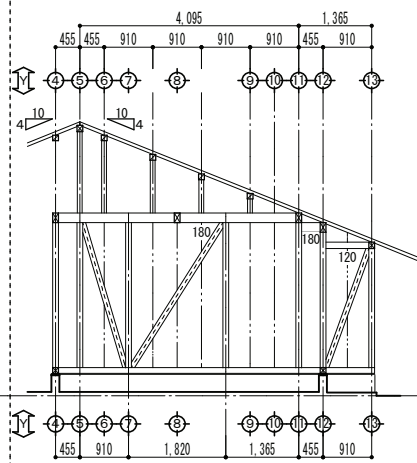
名称	樹種	等級	断面寸法
野地板	杉	特一等	t 12
外部胴縁	杉	特一等	21×45 @455
内部胴縁	杉	特一等	18×90 @455
天井野縁	杉	特一等	40×30
天井野縁受け	杉	特一等	40×30
吊木	杉	特一等	40×40
吊木受け	杉	特一等	90φ以上
枠材、額縁材	ワリワリ貼製材		見付 24 程度
登梁・広小舞	桧	特一等	105×45
鼻隠し・破風板	杉	上小節	35×185
外壁板張	杉	上小節	t 12
内壁板張	杉	上小節	t 9
木巾木	杉	上小節	15×60
見切(内部)	杉	上小節	40×25
見切(車庫)	杉	特一等	40×40
根太・框(木欄)	杉	特一等	45×45・60
上框	集成材	-	90×150

防蟻・防蟻剤塗布: 設計G.L.+1000以下の木部構造材 日本しるあり対策協会 又は日本木材保存協会認定品
 杉・ヒノキ材は県産材とする。

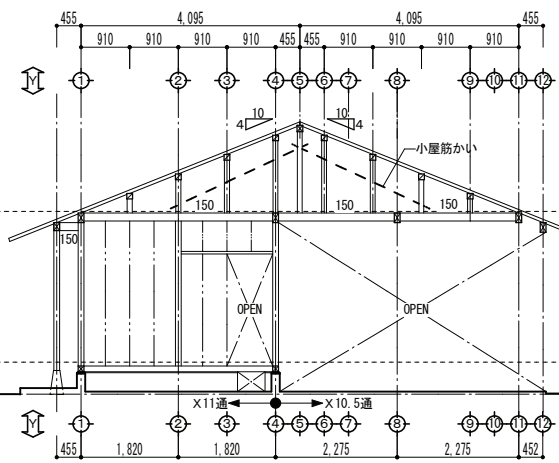




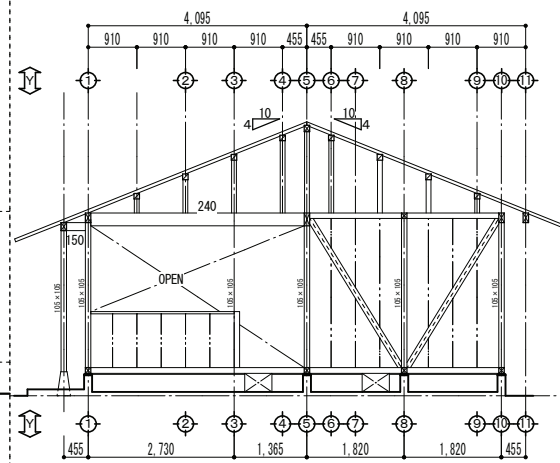
X 1 通 X 9 通



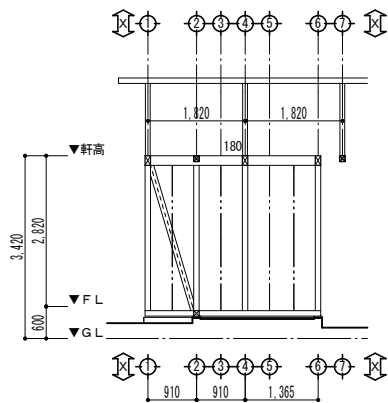
X11通 X10.5通



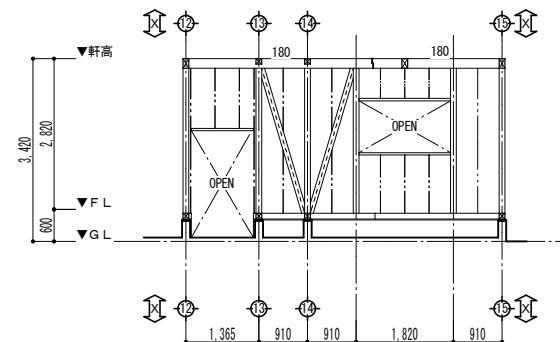
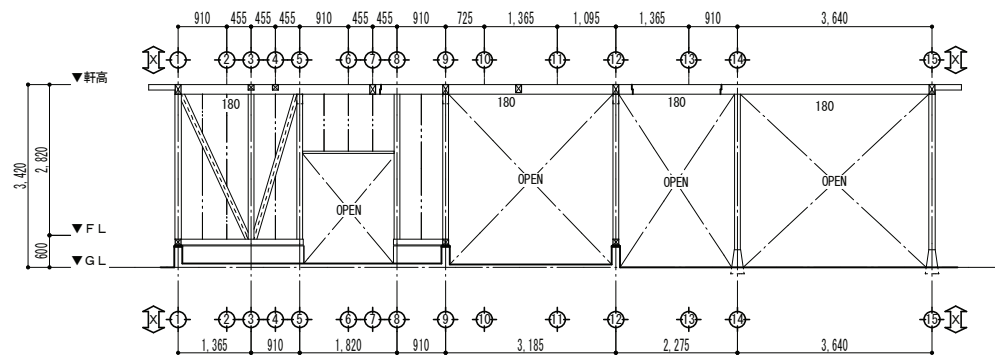
X 13 通 X 15 通



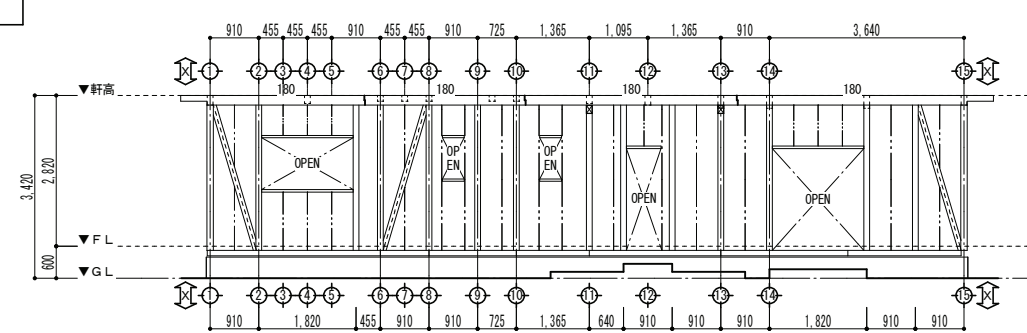
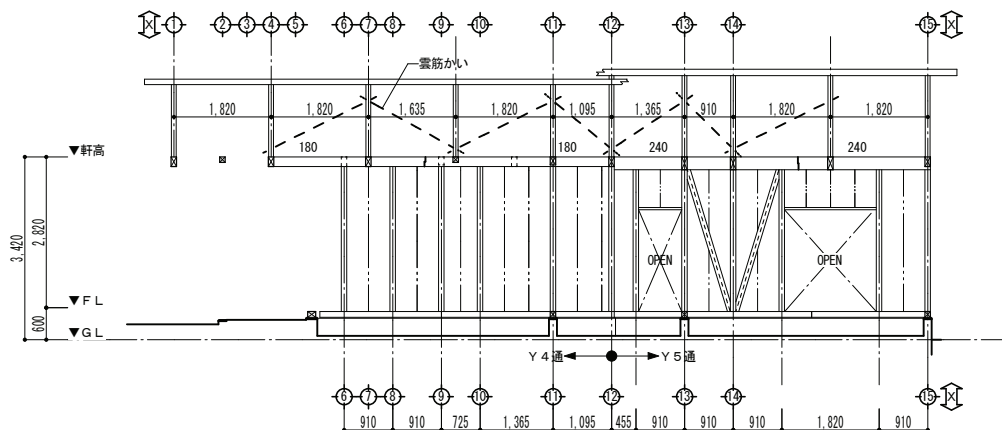
Y11通
Y10通



Y 6 通
Y 4 通 Y 5 通



Y 1 通



一級建築士事務所 登録番号 鳥取県第03-1035号

その建築設計時事務所

米子市河崎1746-17 TEL(0859)30-0100 FAX(0859)30-0101

監理責任者一級建築士登録番号236776 山本 博樹

検印	担当	作図	作図	R6年3月 日
				SCALE
				-

工事名	黒坂警察署多里駐在所新築工事
図面名	軸組図
	S-03
	3

一般共通事項

- 15 工事用仮設物
- 16 土工事
- 17 電線類
- 18 電線本数・管路等
- 19 屋外露出配管の仕上げ
- 20 露出配管の塗装（付属品含む）
- 21 波付硬質合成樹脂管 (FEP)
- 22 フラッシュプレートの材質
- 23 カバープレートの表示
- 24 プルボックスの塗装
- 25 耐震施工

構内につくることが ※ できる ● できない

埋め戻し土 ※ 根切土の中の良質土 ● 山砂の類 () ● 真砂土 ()

建設発生土の処理 ● 構外に搬出し適切に処理 ※ 構内敷きならし ● 構内の指示する場所に堆積

本工事で環境配慮の観点から、原則としてEMケーブルを使用するものとする。

EM電線類で規格等の定めのないものはハロゲン及び鉛を含まない材料で構成されたものとする。

通信ケーブルでJCS規格にない対数のケーブルはJCS規格に準じたものとする。

盤内配線はEM電線を使用する。ただし、製造者標準品と特記したものは除く。

ハネスジョイントボックス用OAタップのケーブルはハロゲン及び鉛を含まない材料とする。

分電盤、制御盤、端子盤などの2次側以降の配線経路、電線太さ、電線本数、管径などは監督職員の承諾を受けて変更してもさしつかえない。

屋外露出配管（厚鋼電線管）で塗装を行わない場合は、溶融亜鉛めっき仕上げ [めっき付着量 300g/m²以上] とする。

塗装する部分 ● 屋上 ● 屋側 ● 屋外 ● 廊下 ● 機械室 ● 居室 () ●

波付硬質合成樹脂管 (FEP) を使用する場合は不燃又は難燃性とする。

● 金属製 (ステンレス、新金属も含む) ● 樹脂製

シール等を貼付し、用途を表示する。

ステンレス製プルボックスの塗装 ※ 無 (素地仕上) ● 有 (指定色仕上)

設備機器の固定は、次に示す設計用地震力に耐える方法とする。ただし、重量1kN以下の一般機器について、製造者の指定する固定方法を採用する場合は、この限りではない。

1) 機器の据付け及び取付け

設計用水平地震力は、機器重量 [kN] に、地域係数と次に示す設計用標準水平地震度を乗じたものとする。

設計用標準水平地震度		● 特定の施設		● 一般の施設	
設置場所	機器種別	重要機器	一般機器	重要機器	一般機器
上層階 屋上及び塔屋	機 器	2.0	1.5	1.0	1.0
	防振支持の機器		2.0	1.5	1.5
中間階	機 器	1.5	1.0	0.6	0.6
	防振支持の機器		1.5	1.0	0.6
地下及び1階	機 器	1.0	0.6	0.4	0.4
	防振支持の機器		1.0	0.6	0.6

水槽類には燃料小出槽を含む

重要機器 (● 配電盤 ● 非常用発電装置 ● 交換装置 ● 直流電源装置 ● UPS装置 ● 火災報知受信機 ● 中央監視制御装置 ● 通信総合盤 ●)

上層階の定義 2～6階建：最上階、7～9階建：上層2階、10～12階建：上層3階、13階以上：上層4階

中間階の定義 地階、1階を除く各階で上層階に該当しないもの

水槽類には燃料小出槽を含む

重要機器 (● 配電盤 ● 非常用発電装置 ● 交換装置 ● 直流電源装置 ● UPS装置 ● 火災報知受信機 ● 中央監視制御装置 ● 通信総合盤 ●)

2) 設計用鉛直地震力は設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。

3) 設備機器の耐震支持及びアンカーボルトの許容耐力と選定については、「建築設備耐震設計・施工指針2014年版」(一財)日本建築センターを参考にする。

接地極の材料は次による。

接地の種類	記号	接地抵抗値	接 地 極
● 共同接地	E A E D	10Ω以下	E B × 3 連 - 2 組
● 共同接地	E A E C E D	10Ω以下	E B × 3 連 - 2 組
● A種	E A	10Ω以下	E B × 3 連 - 2 組
● B種	E B	Ω以下	E B × 2 連 - 2 組
● C種	E C	10Ω以下	E B × 3 連 - 2 組
○ D種	E D	100Ω以下	E B × 1
● 高圧避雷器	E L H	10Ω以下	E B × 3 連 - 2 組
● 交換機用	E t	Ω以下	E B × 3 連 - 1 組
● 通信用	E A t	10Ω以下	E B × 3 連 - 2 組
● 通信用	E D t 及び E D a	100Ω以下	E B × 1
● 電話引込口の保安器用	E L t	100Ω以下	E B × 1
● 測定用	E o	-	E B × 1

(連絡の場合、EBはD=14 L=1500 または W=40 L=1200とする)

(ED、ED t、ED a、EL t、E oの場合、EBはD=10 L=1000 または W=30 L=900 以上とする)

(その他単独の場合、EBはD=14 L=1500 または W=40 L=1200とする)

ステンレス製または鋼材に溶融亜鉛メッキを施したのとする。

外気に面する壁、スラブ等で打ちこみとなる位置ボックスは保温、結露防止処理を行う。

公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編) 9章 環境配慮改修工事 1節 石綿含有建材の除去工事による。処理を行うアスベスト含有建材の仕様等

建材の内容・箇所	仕様等	処理を行う範囲

※ 県有施設の石綿除去等に係る施工業者の登録制度による登録業者を活用するものとする。

※ 官公署その他への手続きは、同仕様書によるほか、労働安全衛生法、大気汚染防止法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、石綿障害予防規則、鳥取県石綿健康被害防止条例等の関係法令に基づいて行う。

● 施工調査 (分析によるアスベスト含有建材の調査) を行う。

分析方法はJISA 1481「建材製品中のアスベスト含有率測定方法」による。

● アスベスト粉じん濃度測定を行う。

(測定時期: 測定場所: 測定点:)

● 洗浄設備 (洗眼、うがいの設備) 及び更衣設備等を設ける。

● 作業場の養生として、処理場所をプラスチックシート等で囲い、外部への粉じん飛散を防止する。

対象箇所 ()

1 マルチサイン装置

2 出退表示装置

3 時刻表示装置

4 情報表示設備

5 映像音響設備

6 プロジェクタ

7 補修など

8 はつり

9 はつり工事における非破壊検査

10 あと施工アンカー

11 室内空気中の化学物質の濃度測定

12 火災保険等

13 鳥取県公共事業環境配慮指針

14 建築物省エネ法

15 LEDの光源色は別図面に指定がある場合を除き下記による。

LEDの光源色 (※ 昼白色 ● 温白色 ● 電球色)

測定結果を監督職員に提出する。(測定箇所等は、監督職員の指示による。)

※ 設置した各部屋2箇所以上 ●

明るさセンサーによる照明制御を行う部屋は照度測定を行い測定表を監督職員に提出する。なお、測定箇所は監督職員の指示による。

照度測定時期 100%点灯時 (※ 夜間 ● 昼間)

調光制御点灯時 (※ 夜間 ※ 昼間)

※ 電動機などへの接続は本工事とする。 ● 別途工事

● 工事着手前に大地抵抗率を測定し、測定表及び接地極省略判定記録書を監督職員に提出する。

● 構造体利用接地極 ● A型接地極 ● B型接地極

75kVA以上に取付。

● 本工事 ● 別途工事

前・後に設置する。

停電補償時間 (分)

方式 (● 常時インバータ給電方式 ● ラインインタラクティブ方式 ● 常時商用給電方式)

運転時間 (h) 系統連系 (● 高圧連系 ● 高圧受電低圧みなし連系 ● 低圧連系 ● 無)

出力 (kW) 配電盤外箱 (● 有 ● 無)

保安装置 (重故障項目特記 ● 有 ● 無) 外部用端子 (● 要 ● 不要)

減圧水槽及び初期注水水槽の材質 (● 鋼板製 ● ステンレス鋼板製)

オイルタンク (● 地下 ● 屋内)

据付: 機械設備工事標準図 (● 施工30、32 (タンク室無し) ● 施工31、33 (タンク室有り))

燃料小出槽 (注): 返油ポンプのあるシステムでフロートスイッチの上限フロートは通過形接点とする。

材質 (● 鋼板製 ● ステンレス製)

燃料油等 (● 灯油 ● 軽油 ● 重油 ● 燃料ガス ())

排気系統配管断熱材の厚さ (mm) ばい煙測定口 (● 設ける ● 設けない)

排気ガスに含まれる窒素酸化物 (以下) 運転音 (dB以下)

系統連系 (● 高圧連系 ● 高圧受電低圧みなし連系 ● 低圧連系 ● 無)

公称最大出力 (kW) 耐風速 (m/s)

パワーコンディショナ (相 線式 V) 定格容量 (kW)

自立運転機能 (● 有 ● 無)

表示装置 (● 有 ● 無) 方式 (※ 液晶 ●)

系統連系 (● 高圧連系 ● 高圧受電低圧みなし連系 ● 低圧連系 ● 無) 定格出力 (kW)

局線応答方式 (● 局線中継台方式 ● 分散中継台方式 ● ダイアルイン方式 ● ダイレクトインダイヤル方式 ● ダイレクトインライン方式)

停電補償時間 (分)

※ 本工事 ● 別途工事

※ モジュラージャック ● 電話用プレート

内線 / / 回線 局線 / / 回線 (現用/実装/容量)

● 一般電話機 台 ● 多機能電話機 台 ● ファクシミリ 台

● デジタルコードレス電話機 台 ● IP電話機 台

卓上電話機1台につき次のものを見込む。

● ボタン電話機 (● EM-BTIEE 0.4-2P ●) (※ 15m ●)

● 内線電話機 (● EM-TIEF 0.65-2C ● TIVF 0.65-2C) (※ 15m ●)

● 多機能電話機 (● EM-BTIEE 0.4-2P ●) (※ 15m ●)

● IP電話機 (● EM-UTP 0.5-4P ●) (※ 15m ●)

イメージスキャナ (● 設ける ● 設けない)

制御装置 (● 壁掛形 ● 埋込形 ● 据置形)

呼出機能 (● 有 ● 無) 方式 (● 発光ダイオード ● 液晶 ●)

親時計 (● 壁掛形 回線 ● ラック形 回線)

太陽電池式屋外時計 (点灯時間 h 点灯保証日数 日)

光出力 (● I形 ● II形 ● III形) 解像度 (● A形 ● B形 ● C形)

コントラスト比 (● X形 ● Y形)

10 拡声設備

11 誘導支援

12 火災報知設備

13 構内配電線路

14 構内通信線路

15 テレビ電波受信障害調査

16 その他

17 機器取付高

名 称	測 点	取付高 (mm)
取引用計器	地上～窓中心	1,800~2,000
引込開閉器	地上～中心	1,800~2,200
分電盤・OA盤・実験盤	床上～中心	1,500 (上端1,900以下)
スイッチ	"	1,300
" (多機能トイレ)	"	1,100
コンセント (一般)	"	300
" (和室)	"	150
" (台上)	台上～中心	150
" (土間)	床上～中心	800~1,300
" (車椅子用)	"	900
ブラケット (一般)	"	2,100~2,300
" (踊場)	"	2,000~2,500
" (鏡上)	鏡上端～中心	150
壁掛形制御盤	床上～中心	1,500 (上端1,900以下)
手元開閉器	"	1,500
操作スイッチ	"	1,300
端子盤	床上～下端	300
保安器箱	天井下～上端	200
壁付アウトレット	床上～中心	300
" (和室)	"	150
壁掛形親時計	床上～中心	1,500 (上限1,900以下)
子時計	"	天井高×0.9
壁掛形スピーカ	床上～中心	天井高×0.9
壁付アッチネータ	"	1,300

2) 工事のため送電線及び配電線の近くで作業するときは、事前に中国電力に連絡し、事故防止に努めるものとする。

Ⅲ. 機 材

工事に使用する機器及び材料は、図面に仕様等が明記してあるものを除き、原則として標準仕様書に規定するもの及び(一社)公共建築材料の標準仕様書による。

築材料・設備機材等品質性能評価事業 設備機材等評価名簿による。

ただし、盤類は上記によるほか以下の製造業者とする。

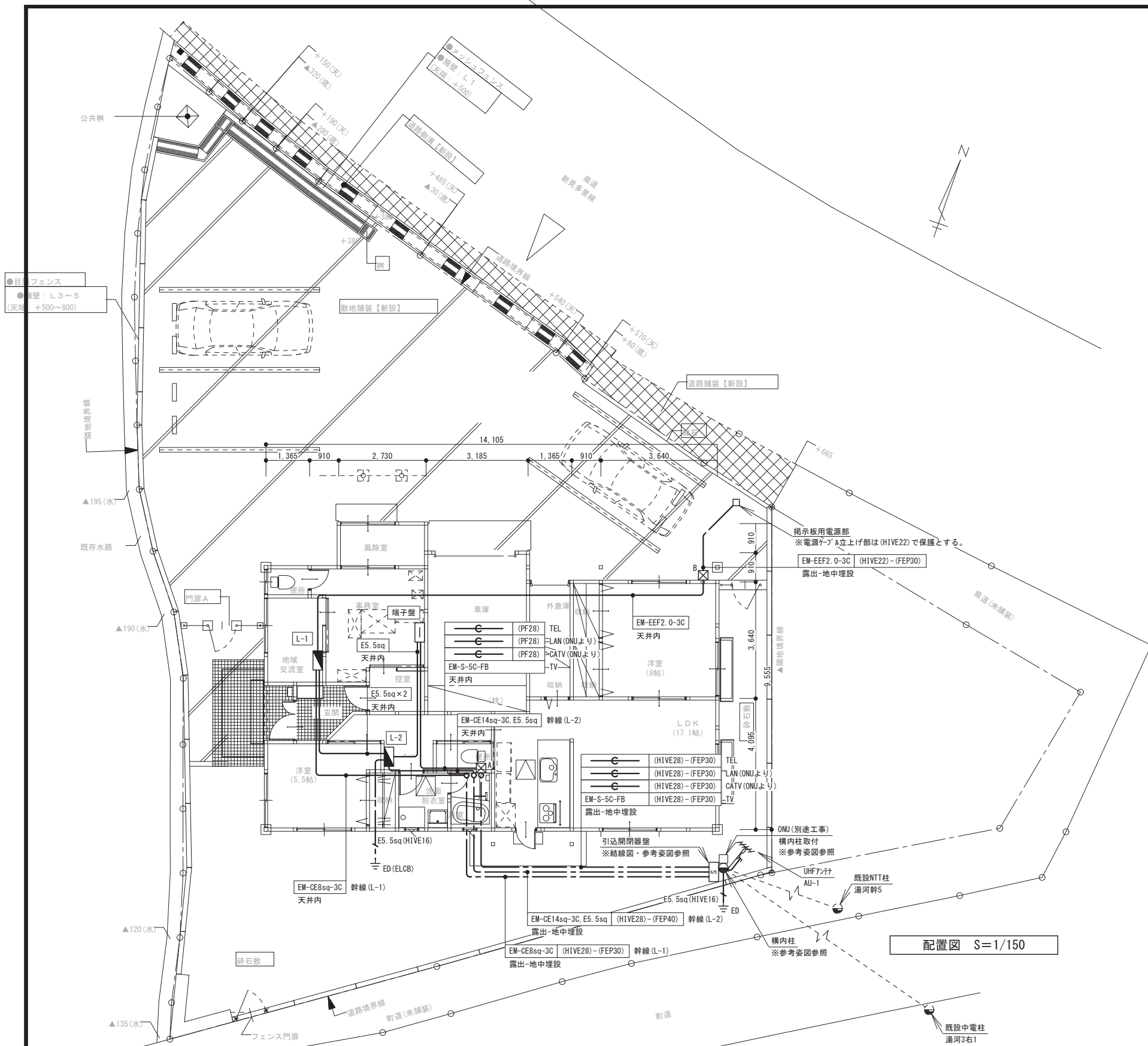
榊永井電機工業所 (榊平水電機産業)

小林制電機 (榊富士オートメーション)

勝英産業㈱ (榊増岡電機製作所)

名 称	測 点	取付高 (mm)
表示盤	床上～中心	天井高×0.9
壁付発信器	"	1,300
ベル、ブザー、チャイム	"	2,300
受付押ボタン (一般)	"	1,300
電源箱	床上～下端	300
外部受付用インターホン(子機)	標準図による	
壁付インターホン(上記以外)	床上～中心	1,300
壁付押ボタン(多機能トイレ)	"	900
壁付押ボタン(多機能トイレ)	"	300
床転倒時用	"	
機器収容箱	天井下～上端	200
テレビ端子	床上～中心	300
" (和室)	"	150
受信機・副受信機	床上～操作部	800~1,500
機器収容箱	"	800~1,500
発信機	床上～中心	800~1,500
ベル	天井下～上端	200
表示灯	"	200
ガス漏れ中継器	天井下～中心	300
検知器 (都市ガス)	天井下～下端	300
" (LPガス)	床上～上端	300





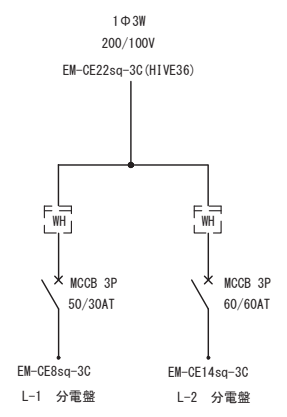
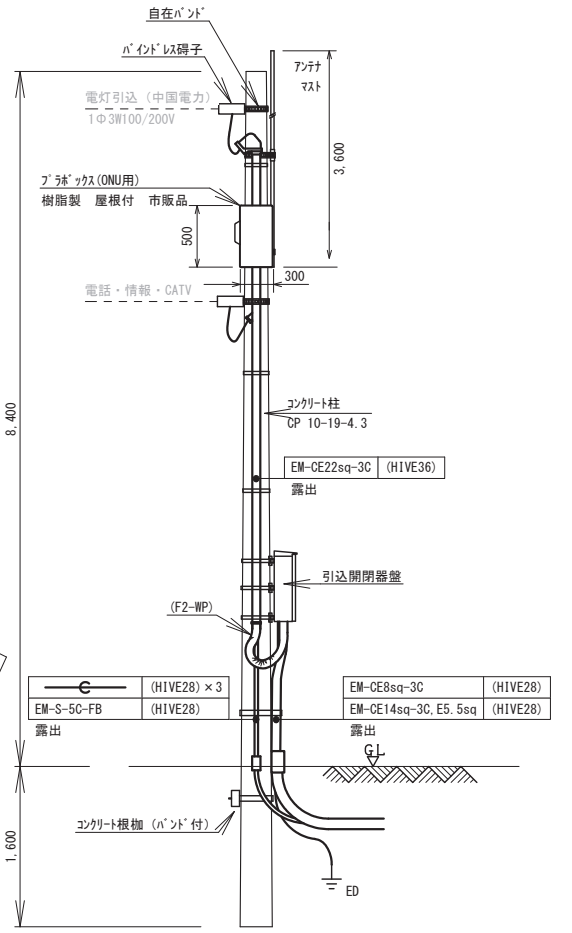
注記

- 幹線引込は機械設備配管と十分調整の上施工のこと。
- 構内柱立上げ部のケーブルはHIVE管にて保護とする。
- ケーブル配線において、壁隠蔽部及び立上下部はPF管にて保護のこと。
なお、各分電盤の壁隠蔽部の幹線ケーブル保護管は下記による。

L-1 (PF28), L-2 (PF28)

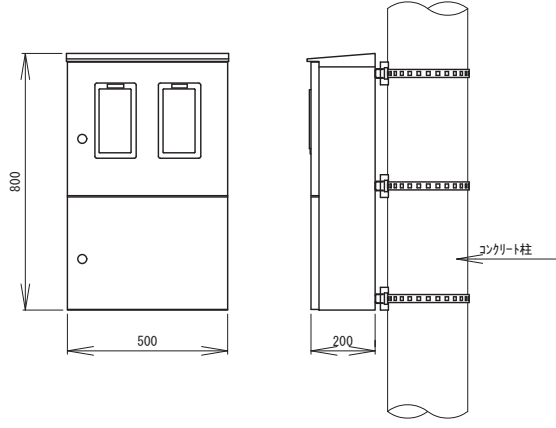
- 図中指示無きシンボルは標準図参照又は下記とする。

☒ A	ブチックス	VE 300×300×100
☒ B	ブチックス	鋼製 150×150×100 WP



構内柱 参考姿図

※図中、形状及び寸法は参考とする。


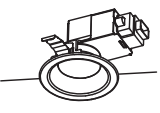
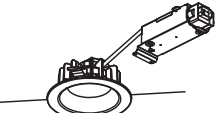

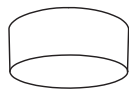


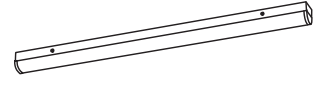

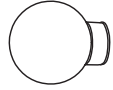


引込開閉器盤 参考姿図

配置図 S=1/150



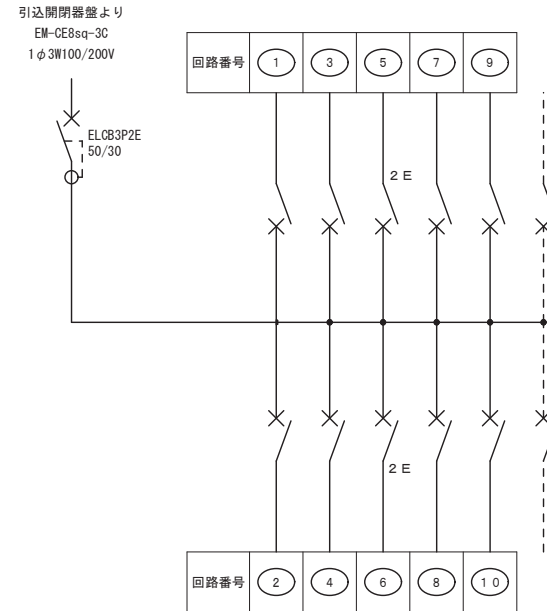
照明器具 参考姿図

<p>A LED⁺-スライト 富士型 W150</p>  <p>公共品番: LSS9-4-65</p>	<p>B LED⁺ ウォライト 100形⁺ケル電球 1 灯器具相当</p>  <p>昼白色 (5000K)、Ra83 器具光束805lm、消費電力7.3W、電圧100V 集光タイプ、高気密SB形 枠: 7&#223;イハスト (枠付つや消し) 埋込穴φ100</p> <p>パナソニック LGD3120NLE1 相当品</p>	<p>C LED⁺ ウォライト</p>  <p>昼白色 (5000K)、Ra83 器具光束1504lm、消費電力15.3W、電圧100V 拡散タイプ、高気密SB形 枠: 7&#223;イハスト (枠付つや消し) 埋込穴φ125</p> <p>パナソニック LGD6200NLE1 相当品</p>
<p>D LED⁺ ウォライト 100形電球 1 灯器具相当</p>  <p>昼白色 (5000K)、Ra83 器具光束820lm、消費電力7.4W、電圧100V 拡散タイプ、高気密SB形、防湿型・防雨型 枠: 7&#223;イハスト (枠付つや消し) 埋込穴φ125</p> <p>パナソニック LRD3200NLE1 相当品</p>	<p>E LED⁺ リング ライト 100形電球 1 灯器具相当</p>  <p>温白色 (3500K)、Ra83 器具光束830lm、消費電力9.6W、電圧100V 拡散タイプ、天井直付型 枠: 7&#223;イハ (乳白)</p> <p>パナソニック LGB51555LE1 相当品</p>	<p>F LED⁺ リング ライト</p>  <p>昼光色 (6500K)、Ra83/電球色 (2700K)、Ra83 器具光束3699lm、消費電力27.6W、電圧100V ソフトライト方式、カットF、羊線天井取付7&#223;イハ対応 加⁺ニ: 7&#223;イハ (乳白つや消し) リモコンで (100%~5%) 調光、専用リモコン送信器同梱</p> <p>パナソニック LGC21104 相当品</p>
<p>G 60形電球 2 灯器具相当</p>  <p>昼光色 (2700K)、Ra80 器具光束1020lm、消費電力14W、電圧100V 防湿型・防雨型、枠⁺込み方式、天井直付型・壁直付型 7&#223;イハ (枠付)、加⁺ニ: 7&#223;イハ (乳白) 光源寿命40000時間 (光束維持率70%)</p> <p>パナソニック LGW50631U 相当品</p>	<p>H LED⁺-スライト 32形Hf蛍光灯 1 灯器具相当</p>  <p>昼光色 (5000K)、Ra83 器具光束2500lm、消費電力23W、電圧100V 器具光束2500lm、消費電力23W、電圧100V 拡散タイプ、天井直付型・壁直付型・据置取付型 加⁺ニ: 7&#223;イハ (乳白)</p> <p>パナソニック LGB52110LE1 相当品</p>	<p>I LED⁺ ットライト 60形電球 1 灯器具相当</p>  <p>昼光色 (5000K)、Ra83 器具光束440lm、消費電力6.8W、電圧100V 拡散タイプ、防雨型、NaPiOn・明るさを増す付 可動範囲上下90度、回転方向330度 7&#223;イハスト (オフ/ラック) パ⁺ニ: 7&#223;イハ (透明) 点灯照度調整機能付</p> <p>パナソニック LGWC40388LE1 相当品</p>
<p>J LED赤色表示灯</p>  <p>電池内蔵型 (ニッケル水素蓄電池) 電源部分離タイプ・非常用LED併用型 光源寿命60000時間 天井直付型・壁直付型 防雨型</p>		

= 注記 =
1. 図中、形状・仕様等は参考とする。
2. 消費電力は、JIS C 8105-3 に依る。

分電盤 (L-1) 結線図

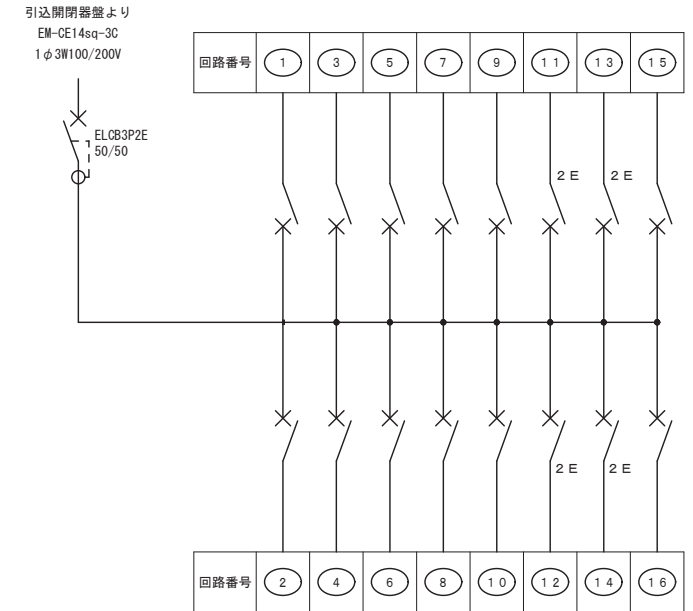
樹脂製露出・半埋込両用型 市販品 ドア付



1. 事務室側照明 2P1E20A×8
2. 事務室コンセント 2P2E20A×2
3. 事務室コンセント 予備ス⁺ニ×2
4. 地域交流室・控室コンセント
5. 事務室エアコン
6. 地域交流室エアコン
7. 便所コンセント
8. 屋外掲示板
9. 予備
10. 予備

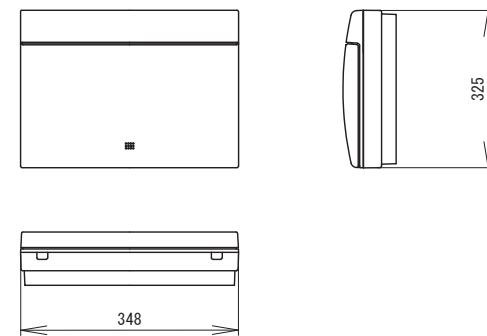
分電盤 (L-2) 結線図

樹脂製露出・半埋込両用型 市販品 ドア付

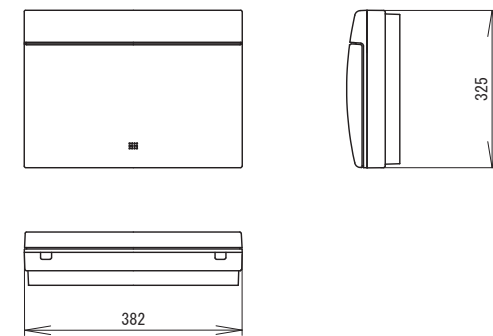


1. 住居部分照明 2P1E20A×12
2. LDK、ホ⁺ルコンセント 2P2E20A×4
3. 玄関、洋室コンセント
4. LDKコンセント
5. LDK、洋室 (北側) コンセント
6. 便所コンセント
7. 電子レンジ
8. 冷蔵庫
9. 洗面台コンセント
10. 洗濯・乾燥機
11. 洋室エアコン
12. LDKエアコン
13. 洋室 (北側) エイコン
14. 屋外コンセント
15. 予備
16. 予備

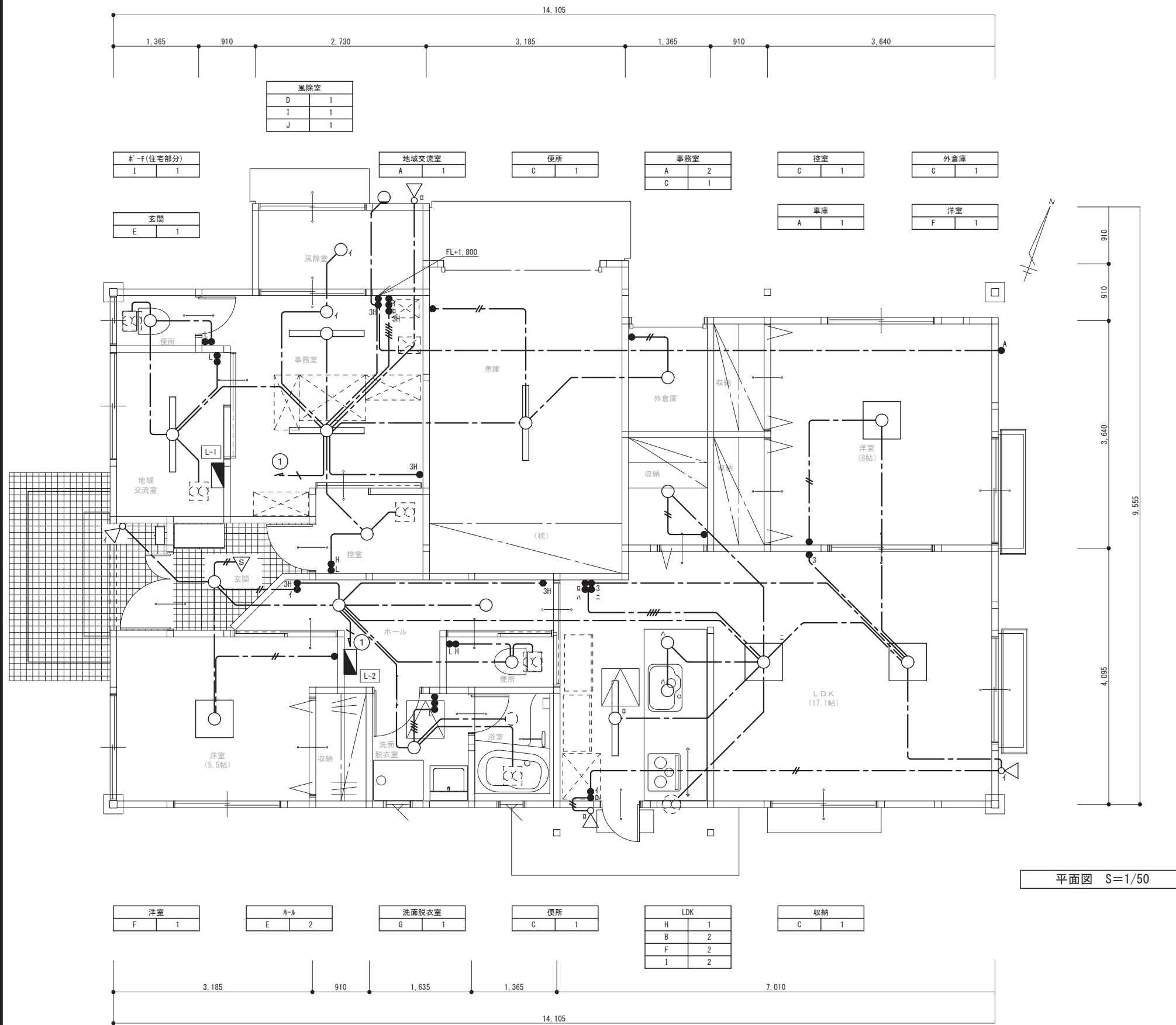
分電盤 (L-1) 参考姿図



分電盤 (L-2) 参考姿図



	<p>一級建築士事務所 登録番号 鳥取県第03-1035号 その建築設計事務所 米子市河崎1746-17 TEL(0859)30-0100 FAX(0859)30-0101 監理責任者一級建築士登録番号236776 山本 博樹</p>	<p>検印 担当 作図 作図 R6年3月 日 SCALE</p>	<p>工事名 黒坂警察署多里駐在所新築工事 図面名 分電盤結線図・照明器具参考姿図</p>	<p>E-04 08</p>
--	--	--------------------------------------	---	--------------------



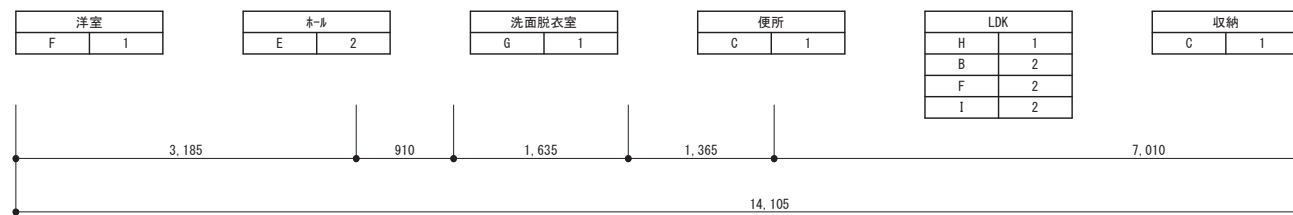
凡例

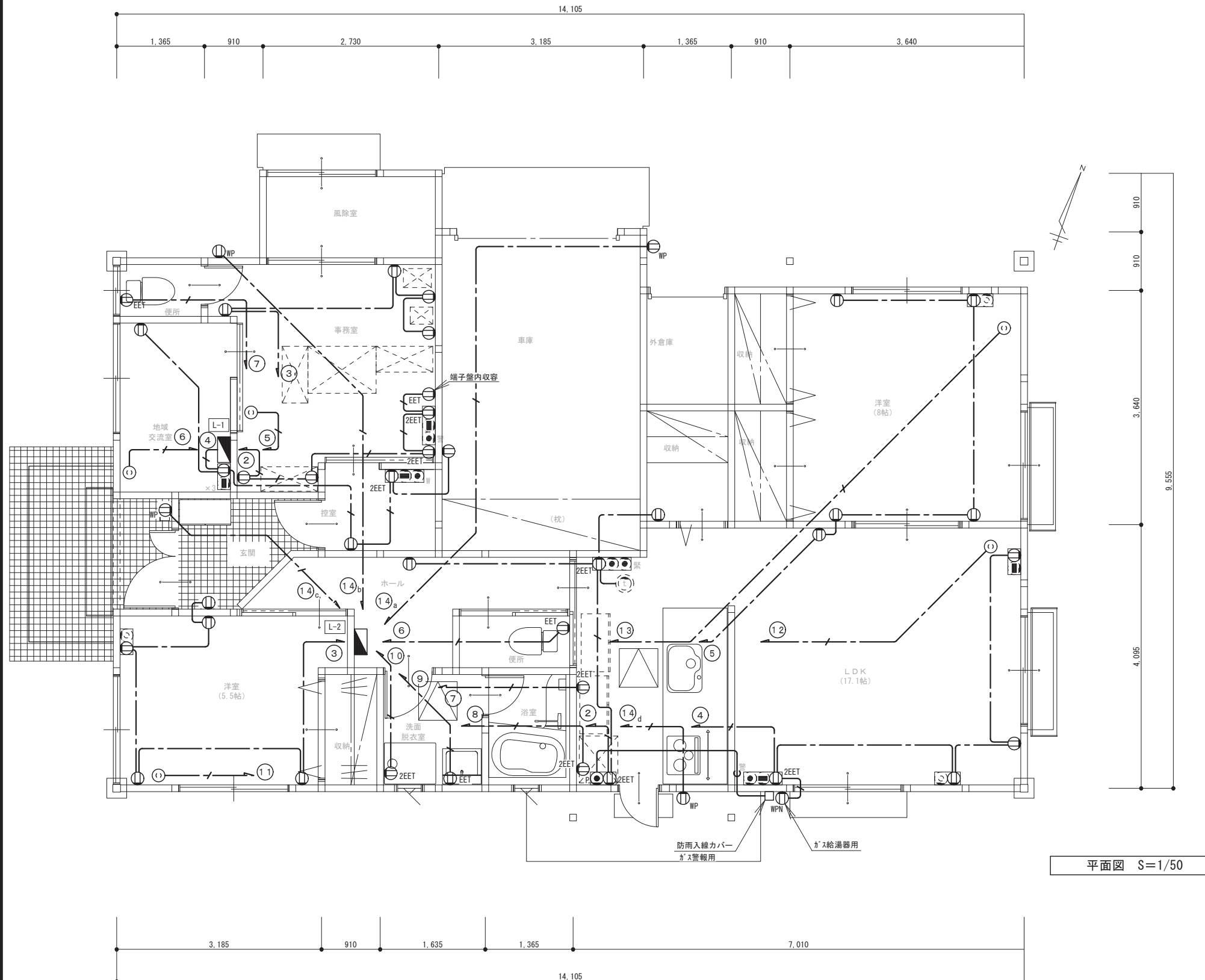
記号	名称	摘要
■	分電盤	
○	LED照明器具	直付型
○	LED照明器具	直付型
○	LED照明器具	ダクト
○	LED照明器具	ダクト
○	LED照明器具	ダクト
○	LED照明器具	ダクト
●	埋込スイッチ	1P15A
●	埋込スイッチ	3W15A
●	埋込スイッチ	1P15A(H) × 1
●	埋込スイッチ	3W15A(H) × 1
●	埋込スイッチ	1PL4A
●	自動点滅器	100V3A 防滴ダクト付ダクト
▽	熱線センサ付自動スイッチ	親機 広角検知型
■	住宅用火災報知機	親機 煙感知器 露出型
■	換気扇	機械設備工事
■	換気扇	機械設備工事

注記

1. 図中、指示なき配管配線は下記による。		
—	EM-EEF2.0-3C	天井内
—	EM-EEF1.6-2C	天井内
—	EM-EEF1.6-3C	天井内
—	EM-EEF1.6-2C × 2	天井内
—	EM-EEF1.6-2C × 3C	天井内
2. ケーブル配線において、壁隠蔽部及び立上下部はPF管にて保護のこと。 2.0-3C(PF22)、2C/3C(PF16)、2C × 2(PF22)、その他(PF28)		
3. 図中、指示なきシボは標準図または凡例による。		
4. 機器取付高さは原則として特記仕様書によるが、施工図にて監督員と協議の上施工にあたること。		

平面図 S=1/50





平面図 S=1/50

凡例

記号	名称	摘要
■	電灯盤	
⊕	埋込コンセント	2P15A×2
⊕EET	埋込コンセント	2P15AE×1, ET
⊕2EET	埋込コンセント	2P15AE×2, ET
⊕2EET	電話用通線フック 電話用通線フック 埋込コンセント	緊急通報電話用 通信機器は別途警察通信工事取付 2P15AE×2, ET
⊕2EET	電話用7ヶ口レット 情報用通線フック 埋込コンセント	6極4芯(警察電話用) 通信機器は別途警察通信工事取付 2P15AE×2, ET
⊕2EET	電話用7ヶ口レット 情報用通線フック 埋込コンセント	6極4芯(WAN用) 2P15AE×2, ET
⊕2EET	情報用通線フック×3 埋込コンセント	ネットワーク機器用 2P15A×2
⊕2EET	通線フック 埋込コンセント	2P15A×2
⊕	情報用通線フック 埋込コンセント	2P15A×2
⊕	テレビ端子 埋込コンセント	SH-7F 2P15A×2
⊕	天井付コンセント	2P15/20AE×1
⊕WP	防水コンセント	2P15A×2, ET
⊕WPN	防水コンセント(入線機能付)	2P15A×1, ET
⊕	カメラ付親機	参考図参照

注記

1. 図中、指示なき配管配線は下記による。

 - EM-EEF2.0-2C 天井内
 - EM-EEF2.0-3C 天井内
 - 空配管(PF16) 天井内
2. ケーブル配線において、壁隠蔽部及び立上下部はPF管にて保護のこと。

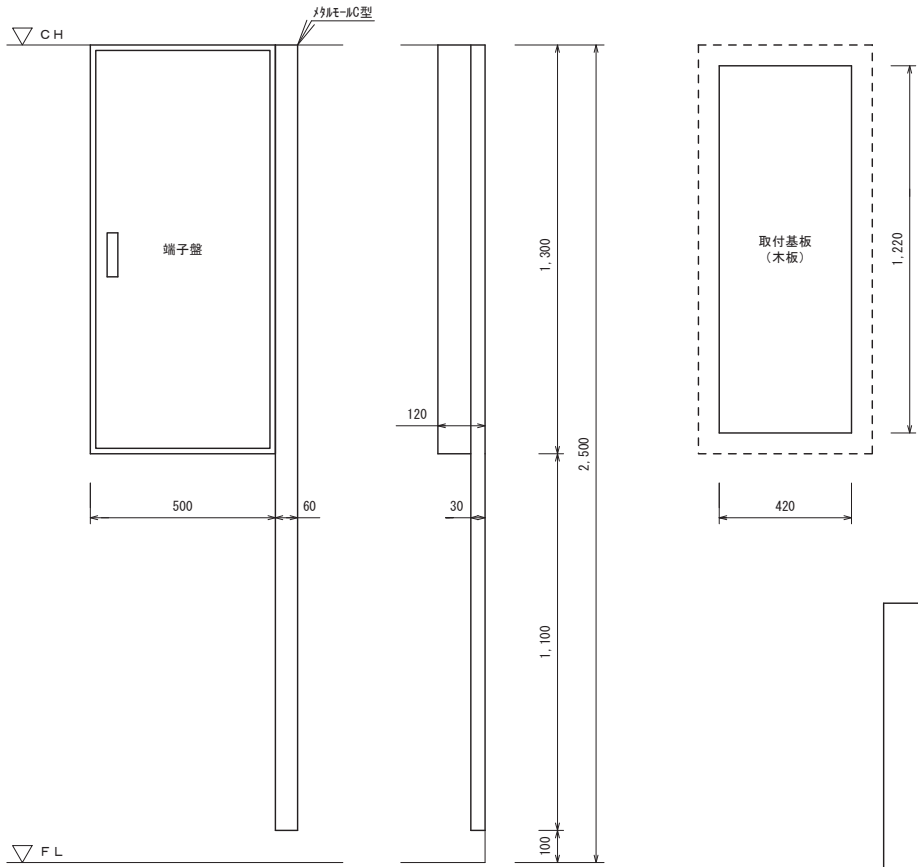
2.0-3C: (PF22)、2.0-2C: (PF16)
3. 図中、指示なきシグナルは標準図または凡例による。
4. 1m以上の空配管には導入線を入れること。
5. 機器取付高さは原則として特記仕様書によるが、施工図にて監督員と協議の上施工にあたること。

尚、土間の室に設ける機器取付高さはFL+600とする。



端子盤 参考姿図

鋼板製市販品 露出型



端子盤内訳表

	電話	テレビ
鋼板製	保安器5回路 λ^{\wedge} - λ ×3	CATV保安器 λ^{\wedge} - λ
露出型	10P端子台 λ^{\wedge} - λ ×2	7-スリ-
内部木板取付		4分配器

機器参考姿図

モニター観機 (動画録画・録音機能付)

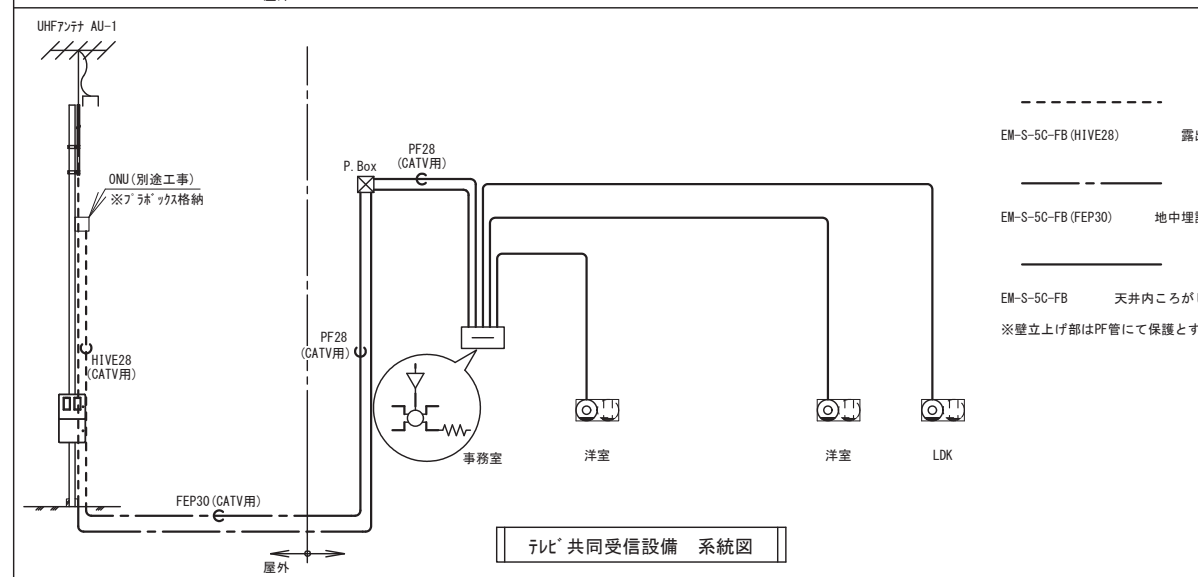
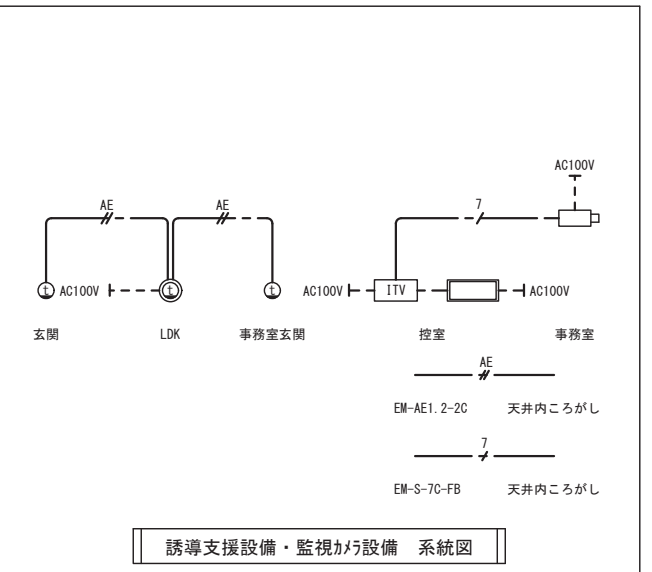
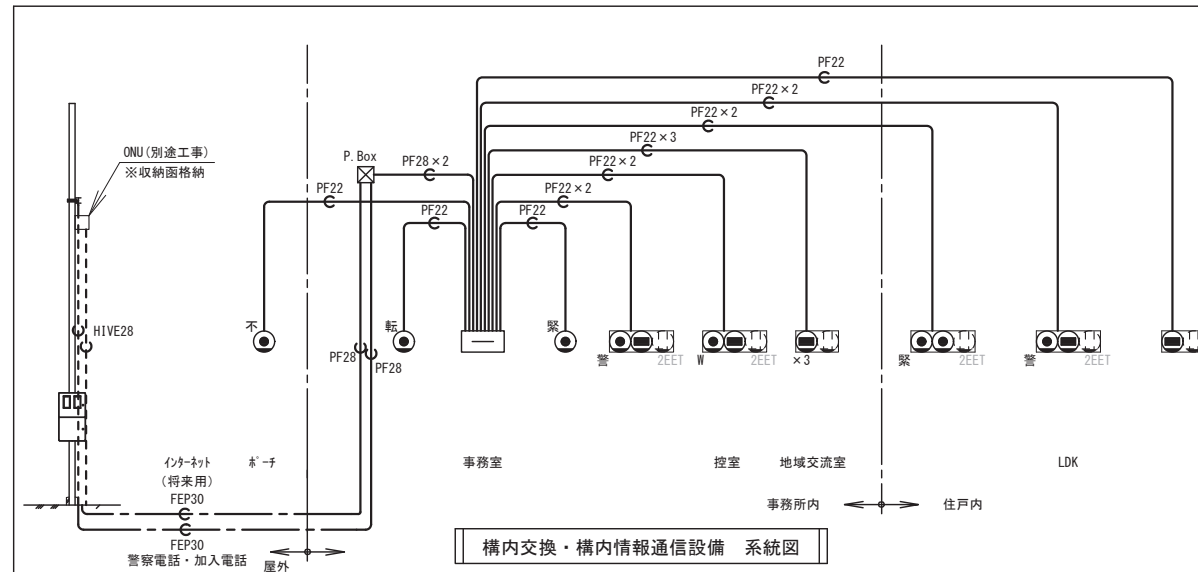
電源	AC100V (50/60Hz)
消費電力	待機時 約2.3W、動作時 約8W
質量	約440g (壁掛け金具無し)
質量	約475g (壁掛け金具有り)
外観色調	ホワイト
画面表示	約3.5型カラー液晶ディスプレイ

カメラ付玄関子機

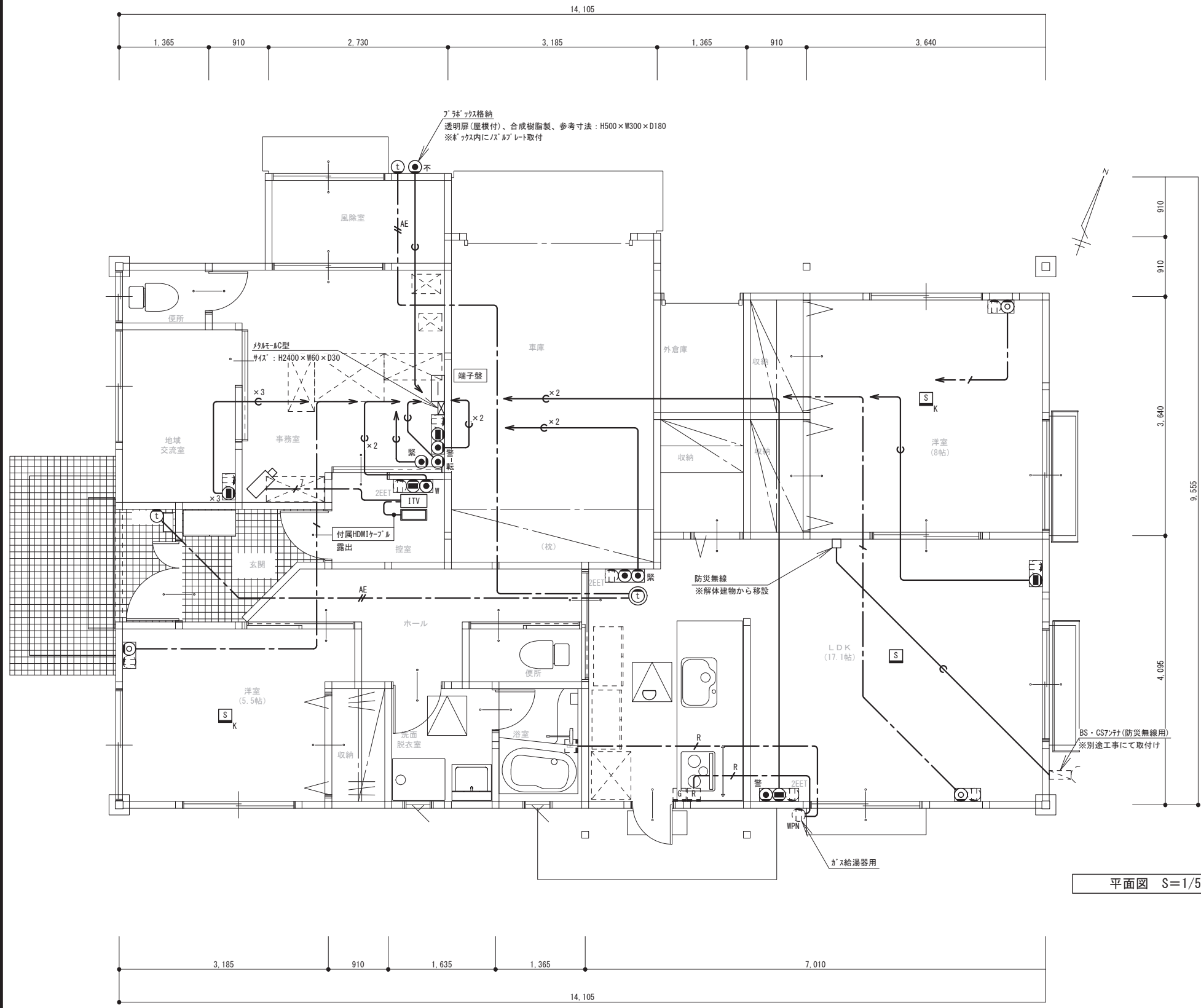
電源電圧	持ち受け時: DC 約5V、動作時: DC 約20V (ドアホン観機より供給)
消費電流	待機時: DC 約2mA、動作時: DC 約150mA
質量	約175g
外観色調	シルバー
取付方法	露出型: JIS 1 専用スイッチボックス適合

凡例

記号	名称	摘要
	端子盤	
	電話用通線タップ	緊急通報電話用 通信機器は別途警察通信工事取付
	電話用通線タップ	6種4芯(警察電話用) 通信機器は別途警察通信工事取付
	電話用通線タップ	6種4芯(WAN用) 通信機器は別途警察通信工事取付
	電話用通線タップ	6種4芯(WAN用) 通信機器は別途警察通信工事取付
	情報用通線タップ×3	ネットワーク機器用
	情報用通線タップ	2P15A×2
	テレビ端子	SH-7F
	緊急通報電話用	通信機器は別途警察通信工事取付
	不在時電話転送装置用	通信機器は別途警察通信工事取付
	転換用	通信機器は別途警察通信工事取付
	カメラ付観機	参考姿図参照
	カメラ付玄関子機	参考姿図参照
	防犯カメラ	解体建物から移設
	レコーダ	解体建物から移設 壁掛型
	モニター	解体建物から移設 壁掛型
	住宅用火災報知器 観機	煙感知器 露出型(検定品) AC100V仕様
	住宅用火災報知器 子機	煙感知器 露出型(検定品)
	住宅用火災報知器 子機	熱感知器 露出型(検定品)
	増幅器	端子盤内に設置
	4分配器	端子盤内に設置



鳥取県
令和5年度
J2300842
西部環境建築局



平面図 S=1/50

凡例

記号	名称	摘要
[Symbol]	端子盤	
[Symbol]	電話用通線タップ 電話用通線タップ 埋込コンセント	緊急通報電話用 通信機器は別途警察通信工事取付 2P15AE×2, ET
[Symbol]	電話用7トレット 情報用通線タップ 埋込コンセント	6極4芯(警察電話用) 通信機器は別途警察通信工事取付 2P15AE×2, ET
[Symbol]	電話用7トレット 情報用通線タップ 埋込コンセント	6極4芯(WAN用) 2P15AE×2, ET
[Symbol]	情報用通線タップ×3 埋込コンセント	ネットワーク機器用 2P15A×2
[Symbol]	情報用通線タップ 埋込コンセント	2P15A×2
[Symbol]	テレビ端子 埋込コンセント	SH-7F 2P15A×2
[Symbol]	'A'コンセント	緊急通報電話用 通信機器は別途警察通信工事取付
[Symbol]	'N'コンセント	不在時電話転送装置用 通信機器は別途警察通信工事取付
[Symbol]	'R'コンセント	転換器用 通信機器は別途警察通信工事取付
[Symbol]	ケーブル付親機	参考姿図参照
[Symbol]	ケーブル付玄関子機	参考姿図参照
[Symbol]	防犯カメラ	解体建物から移設
[Symbol]	モニター	解体建物から移設 壁掛型
[Symbol]	モニター	解体建物から移設 壁掛型
[Symbol]	住宅用火災報知器 親機	煙感知器 露出型(検定品) AC100V仕様
[Symbol]	住宅用火災報知器 子機	煙感知器 露出型(検定品)
[Symbol]	住宅用火災報知器 子機	熱感知器 露出型(検定品)
[Symbol]	増幅器	端子盤内に設置
[Symbol]	4分配器	端子盤内に設置
[Symbol]	給湯器リモコン	別途 機械設備工事
[Symbol]	ガス漏れ検知器	別途 入居者工事
[Symbol]	防水コンセント(入線機能付)	2P15A×1, ET

注記

1. 図中、指示なき配管配線は下記による。

[Symbol]	EM-S-5C-FB	天井内
[Symbol]	EM-S-7C-FB	天井内
[Symbol]	EM-AE1.2-2C	天井内
[Symbol]	空配管(PF22)	天井内
[Symbol]	空配管(PF22)×2	天井内
[Symbol]	空配管(PF22)×3	天井内
[Symbol]	支給ケーブル	※機械設備工事支給品・取付けは電気工事 天井内
2. ケーブル配線において、壁隠蔽部及び立上下部はPF管にて保護のこと。
3. 図中、指示なき'シ'は標準図または凡例による。
4. 1m以上の空配管には導入線を入れること。
5. 機器取付高さは原則として特記仕様書によるが、施工図にて監督員と協議の上施工にあたること。
尚、土間の室に設ける機器取付高さはFL+600とする。
6. 特に事務室と地域交流室の電話・情報コンセントの位置については各室の展開図を作成の上、警察関係者とよく調整の上決定すること。



機械設備工事特記仕様書

I. 工事概要

1 工事場所 日野郡日南町湯河

2 建物概要

番号	建物名称	構造	階数	建築基準法による延べ面積(m ²)	消防法施行令別表第一の区分	備考
1	駐在所(併用住宅)	W	1	112.00	() 項	
2					() 項	
3					() 項	
4					() 項	
5					() 項	

3 工事種目 (●印の付いたものが対象工事種目)

工事種目	番号	1	2	3	4	5	屋外	備考
● 空調設備								
● 冷暖房設備		○						
● 換気設備		○						
● 排煙設備								
● 自動制御設備								
● 衛生器具設備		○						
● 給水設備		○					○	
● 排水設備		○					○	
● 給湯設備		○						
● ガス設備		○						
● 浄化槽設備								
● 消火設備								
● さく井設備								
● 電気設備工事								
● 建築工事								

4 設備概要 (本工事における工事種目ごとの概要を示すもので、仕様を規定するものではない。)

項目	設備概要
● 空調設備	● 単一ダクト方式 ● 各階ユニット方式 ● ダクト併用ファンコイルユニット方式
● 冷暖房設備	● ファンコイルユニット方式 ● パッケージ方式
● 暖房設備	● 温水暖房 ● 蒸気暖房 ● 温風暖房 (● 局所式 ● 中央式) ● 床暖房
● 熱源	● 電気 ● 灯油 ● A重油 ● ガス ● バイオマス
● 主要熱源機器	● 鋼製ボイラー ● 鉄製ボイラー ● 真空式温水発生機 ● 無圧式温水発生機 ● チリングユニット ● スクリュー冷凍機 ● 遠心冷凍機 ● 吸収式冷凍機 ● 直置き吸収式冷水機 ● 小形吸収式冷水機ユニット ● バイオマスボイラー ● ルームエアコン ● ヒートポンプパッケージエアコン (マルチタイプ ● 有 ● 無) ● 温風暖房機 ● FF暖房機 ● その他 ()
換気設備	● 第一種 ● 第二種 ● 第三種
排煙設備	● 機械排煙 (適用法規 ● 建基法 ● 消防法)
自動制御設備	● 電気式 ● 電子式 ● デジタル式
● 給水設備	給水方式 ● 水道直結方式 ● 高置水槽方式 ● ポンプ直送方式 ● 増圧給水方式 水源 ● 水道水 ● 井水
● 排水設備	排水方式 ● 自然流下 ● ポンプ排水 (● 汚水 ● 雑排水 ● 雨水) 放流先 ● 汚水 ● 公共下水道 ● 浄化槽 ● 雑排水 ● 公共下水道 ● 浄化槽 ● 雨水 ● 公共下水道 ● 側溝 ● 河川 浄化槽 ● 処理方式 ● 小規模合併 ● 合併 ● 処理水放流先 ● 排水路 ● 側溝 ● 河川
● 給湯設備	● 局所式 (● ガス ● 油 ● 電気) ● 中央式 (● 油 ● ガス ● 電気)
● 消火設備	● 屋内消火栓 ● 屋外消火栓 ● 連結給水管 ● 連結散水 ● スプリンクラー ● 泡消火 ● 粉末消火装置 ● 不活性ガス消火 (● 窒素 ● 窒素系) ● ハロゲン化物消火
● ガス設備	● 都市ガス (MJ/Nm ³) ● 液化石油ガス

II. 特記仕様

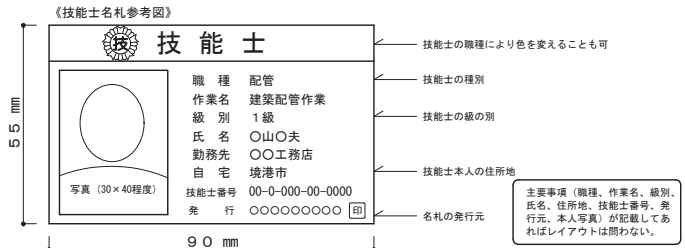
1 一般事項

- 現場説明書、質問回答書、特記仕様書及び図面に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の標準仕様書等のうち、
●印の付いたものによる。
●公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編)(令和4年版)(以下「標準仕様書」という。)
●公共建築改修工事標準仕様書(機械設備工事編)(令和4年版)(以下「改修標準仕様書」という。)
●公共建築設備工事標準仕様書(機械設備工事編)(令和4年版)(以下「標準図」という。)
- 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「機械設備工事監理指針(令和4年版)」(以下「監理指針」という。)を適用する。
- 電気設備工事及び建築工事を本工事を含む場合、電気設備工事及び建築工事はそれぞれの標準仕様書等及び監理指針を適用する。

2 特記事項

- 項目は番号に ○印の付いたものを適用する。
- 特記事項のうち選択する事項は ●印の付いたものを適用する。
●印の付かない場合は、●印の付いたものを適用する。●印と●印の付いた場合は両方を適用する。
- 一般共通事項のうち (3、11、12、13、15、16、17、18、36) 項は、●建築 ●電気設備 工事特記仕様書による。

項目	特記事項
1 官公署その他への手続	工事の施工に伴い必要な官公署その他への手続、検査並びにその費用は、請負者の負担とする。
2 電気保安技術者	工事現場における電気保安技術者は、鳥取県総務部営繕工事自家用電気工作物保安規程第5条に定める工事担当技術者の職務を補佐し、当該工事の工事期間中自家用電気工作物の保安の業務を行うものとする。なお、電気保安技術者の資格は標準仕様書第1編第1章第3節1. 3. 2によるものとし、一般用電気工作物にかかる工事についても、自家用電気工作物の場合と同様の業務を行うものとする。
3 工事安全計画書等	建設工事公衆災害防止対策要綱及び建築工事安全施工技術指針を参考に工事安全計画書を作成し監督職員に提出する。
4 発生材の分析及び処理	引渡しを要するもの以外は、構外搬出適切処理とする。 ●無し ●有り () 引渡しを要するもの以外は、構外搬出適切処理とする。 特別管理産業廃棄物 ●無し ●有り ●本工事において調査を行う (● 廃石綿(配管用保温材) ● PCB使用機器 ●) アスベスト含有設備資機材(ガasket、パッキン、たわみ継手等の石綿含有廃棄物)は関係法令に従い適切に処理を行う。 PCB使用機器は関係法令等に従い適切に処理する。 撤去予定機器の微量PCB分析 ●無し ●有り 再生資源化を図るもの ●無し ●有り (● コンクリート塊 ● アスファルトコンクリート塊 ●) 本工事に使用する設備機材等は、設計図書に規定するもの又はこれらと同等以上の品質及び性能を有するものとする。ただし、これらと同等以上のものとする場合は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料をあらかじめ監督職員に提出して承諾を受ける。なお、(一社)公共建築協会発行の「建築材料・設備機材等品質性能評価事業 設備機材等評価名簿」による場合は評価書の写しを監督職員に提出するものとする。 JIS等のマーク及び評価書のある機材を使用する場合は、標準仕様書第1編第1章第4節1. 4. 2(3)の品質及び性能を有することの証明となる資料の提出を省略できる。ただし、標準仕様書に規定される製作図、試験成績等は除く。 機械設備工事機材承諾図式集(令和4年版)によるほか、監督職員の指示による。 機器類は、図示する形状、配管等などの取出し位置及び製造番号により、特定製造者の製品を指示、限定しない。 機器類の能力、容量等は、原則として図面に記載された値以上とする。 電動機出力、燃料消費量等は、原則として図面に記載されている値以下とする。 下記より適用する技能士は、適用する工事作業中、1名以上の者が自ら作業をするとともに他の技能者に対して施工品質の向上を図るための作業指導を行う。また、そのものが技能士であることが分かる名札(下図参考)を常時着用する。 ●配管 (● 1級 ● 2級) ● 熱絶縁施工 (● 1級 ● 2級) ● 冷凍空調調和機器施工 (● 1級 ● 2級) ● 建築板金 (● 1級 ● 2級)
5 機材等	
6 機材の品質・性能証明	
7 機材の承諾図	
8 図形等の表示	
9 電気容量及び機器表示	
10 技能士の適用	
11 施工図等	
12 完成写真等	



提出した施工図等の著作権に係わる当該建物に限る使用権は発注者に移譲するものとする。
国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「工事写真撮影ガイドブック機械設備工事編 平成30年版」によるほか、監督職員の指示による。下記のものを出す。

区分	分類・規格	撮影箇所	部数	電子データの提出
工事写真	カラー・サービ判	各工種工程毎	※ 1部 ● 部	● 要 ● 不要
完成写真	カラー・サービ判	監督職員の指示による	※ 2部 ● 部	● 要 ● 不要

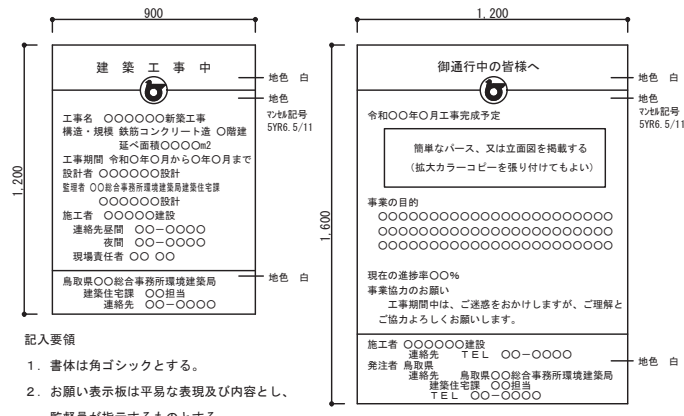
13 完成図等
14 他工事との取合
15 工用水・電力・その他
16 表示板
17 足場
18 工用仮設物
19 土工事
20 保温工事

区分	名称	部数
※ 完成図原図	完成図 ● 原紙 ※ CADデータ ※ PDFデータ 施工図 ● 原紙 ● CADデータ ● PDFデータ	1部
※ 完成図 2つ折製本	※ 完成図 ※ 完成図(縮小版) ● 施工図	※ 2部 ● 部
※ 完成図書 ※ A4版市販ファイル ● A4版黒表紙製本	※ 完成図(縮小版) ※ 主要機器図 ※ 試験成績書	※ 2部 ● 部
※ 保守用説明書 (A4版ファイル)	※ 保守に関する指導案内書 ※ 機器取扱説明書 ※ 主要機器一覧表	※ 2部 ● 部
※ 保証書		1部
※ 官公署の届出書類		1部

● 原因ケース・製本図面の背表紙に「施設コード・部局名称」ラベルを貼り付ける。

他工事との取合い	建築	電気設備	機械設備
● コンクリート壁、床、梁貫通部	スリーブ・箱入 ● ● ※ 補 強 ※ ● ●		
● 鉄骨造の開口及び補強	※ ● ● ●		
● 照明器具・幹線等の吊りボルト用インサート(くぎ処理共)	● ● ※ ●		
● 軽量鉄骨壁のボックス取付用下地	● ● ※ ●		
● 埋込分電盤・端子盤・プルボックスの仮枠及び埋込部分の補強	仮 枠 ● ● ※ ● 補 強 ※ ● ●		
● OAフロア・フリーアクセスフロアの切込み及び補強	※ ● ● ●		
● 埋込形機器取付用の天井・壁の切込加工及び下地の補強	切 り 込 み ● ● ● ※ 補 強 ※ ● ●		
● 自動開閉装置を取付ける防火戸の切込み、補強及びドアクローザ、フロアヒンジ	※ ● ● ●		
● 電気室、自家発電室などの基礎及びピット(蓋を含む)	※ ● ● ●		
● 天井点検口	※ ● ● ●		
● 機器類のコンクリート基礎	屋内・屋外設置 ● ● ● ※ 屋 上 設 置 ※ ● ●		
● 機器付属の制御盤及び操作盤から機器までの配線	● ● ● ※		
● 機器用コントロールスイッチ(空調機、給湯器等)の取付及び配線	● ● ● ※		

本工事に必要な工用水、水及び諸手続きなどの費用はすべて受注者の負担とする。
設ける。(寸法等は下図による。建築工事、電気設備工事等と一緒に表示する。)



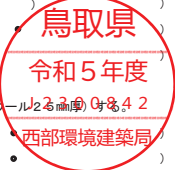
記入要領
1. 書体は角ゴシックとする。
2. お願い表示板は平易な表現及び内容とし、監督員が指示するものとする。

「手すり先行工法等に関するガイドライン」に基づく足場の設置にあたっては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の(2)手すり据置き方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。

構内に作るものが ※ 出来る ● 出来ない
(ア) 埋め戻し土 ● 掘削土のなかの良質土 (●コンクリート管以外の管の周囲は山砂の類)
● 山砂の類 ()
● 真砂土 ()

(イ) 建設発生土処分 ● 構外に搬出 ● 構内に敷ならし ● 構内の指示する場所に堆積

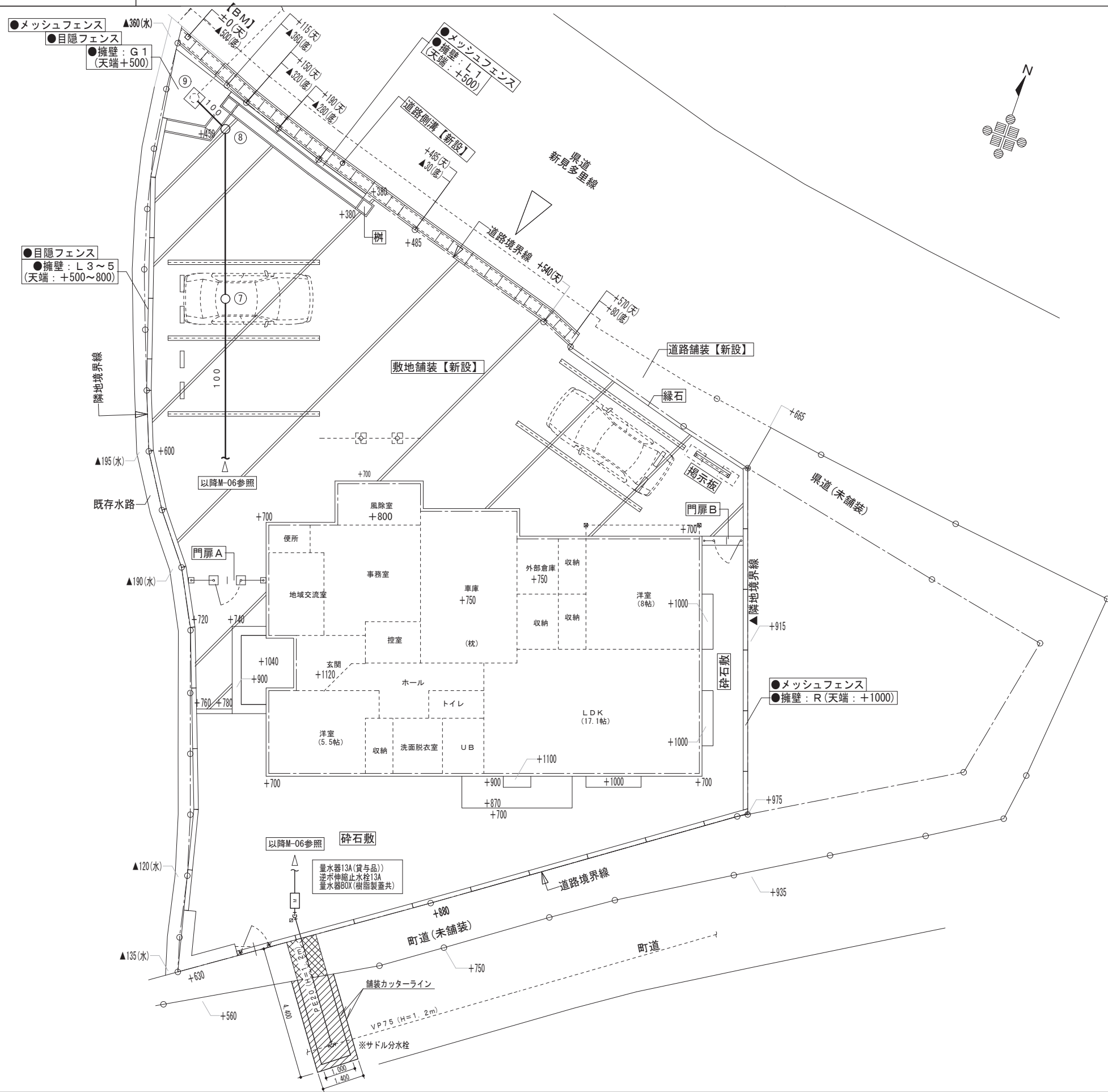
● 冷温水管 (● ロックウール ● グラスウール ● ポリスチレンフォーム)
● 蒸気管 (● ロックウール ● グラスウール ●)
● 給水管 (● ロックウール ● グラスウール ● ポリスチレンフォーム)
● 保温チューブ (厚さ②) ● エアコンドレン)
● 排水管 (● ロックウール ● グラスウール ● ポリスチレンフォーム ● 保温チューブ (厚さ⑩))
● 給湯管 (● ロックウール ● グラスウール ● 保温チューブ (厚さ②))
● 消火管 (● ロックウール ● グラスウール ● ポリスチレンフォーム)
● ダクト (● ロックウール ● グラスウール ●)
● 燃焼熱源等機械室内の配管 (● ロックウール ● グラスウール)
● 全熱交換機の給気ダクト (● 機器外気側 ● 機器室内側) は保温 (グラスウール2層厚⑩) による。
● 冷媒管の保温外装 屋内 (● 樹脂製化粧ケース ● 合成樹脂製シート)
● 屋外 (● 樹脂製化粧ケース ● SUS鋼板 ●)



一般 共通 事項	21 鋼管類の防食処置	地中埋設 ● ベトロラタム系 ● プチルゴム系 ● 熱収縮チューブ及びシート	1 空気調和設備	① 設計用温湿度条件	<table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2">外気条件</th> <th colspan="4">室内 (調整目標値)</th> </tr> <tr> <th colspan="2">一般</th> <th colspan="2">()</th> </tr> <tr> <th>(DB)</th> <th>(RH)</th> <th>(DB)</th> <th>(RH)</th> <th>(DB)</th> <th>(RH)</th> </tr> <tr> <td>夏季</td> <td>34.6</td> <td>6</td> <td>℃</td> <td>56.4</td> <td>9%</td> <td>26.0</td> <td>℃</td> <td>50.0</td> <td>9%</td> <td>℃</td> <td>9%</td> </tr> <tr> <td>冬季</td> <td>0.2</td> <td>℃</td> <td>76.5</td> <td>9%</td> <td>22.0</td> <td>℃</td> <td>40.0</td> <td>9%</td> <td>℃</td> <td>9%</td> </tr> </table>	外気条件		室内 (調整目標値)				一般		()		(DB)	(RH)	(DB)	(RH)	(DB)	(RH)	夏季	34.6	6	℃	56.4	9%	26.0	℃	50.0	9%	℃	9%	冬季	0.2	℃	76.5	9%	22.0	℃	40.0	9%	℃	9%	⑥ 衛生器具設備	① 衛生器具の参考型番 2 小便器用節水装置	型番変更等により参考型番が変更又は廃止されている場合、参考型番の同等品とする。 ※ 小便器一体型 ● 小便器分離型 ● 洗浄水量4リットル/回以下 ※ 個別感知方式 (● A C電源 ● 自己発電 ● 乾電池) ● 手動式 電源供給方式 ● A C電源 ● 自己発電 ● 乾電池 操作方式 ● 電気開閉式 (● センサー式 ● タッチスイッチ式) ● 手動式
	外気条件			室内 (調整目標値)																																											
				一般		()																																									
	(DB)	(RH)		(DB)		(RH)	(DB)	(RH)																																							
	夏季	34.6		6		℃	56.4	9%	26.0	℃	50.0	9%	℃	9%																																	
	冬季	0.2		℃		76.5	9%	22.0	℃	40.0	9%	℃	9%																																		
	22 絶縁継手	● 標準図 (施工3)		● (1)絶縁フランジ ● (2)絶縁シート ● (3)絶縁スリーブ ● (4)絶縁ユニオン		2 冷却水管	※ SGP (白) ● SGP-V A ● SGP-P A	⑦ 給水設備	⑤ 温水洗浄便座	洗浄水加水方式 ● 瞬間式 ● 貯湯式 ※ 標準図 (施工64) ● 標準図 (施工65)																																					
	23 防振継手	※ 合成ゴム製 (球形) ● ポリテトラフルオロエチレン製 ● ペローズ形 (ステンレス製)		● ベローズ形 ● スリーブ形		3 冷水・温水・冷温水管	※ SGP (白) ● SGP-H V A ● ステンレス鋼管 (SUS304)	⑧ 排水設備	① 盥水器	① 親メーター ※ 借用 ● 買取 (※ 直読 ● 遠隔表示) ● 子メーター ● 買取 ● 借用 (※ 直読 ● 遠隔表示)																																					
	24 伸縮管継手	※ ベローズ形 ● スリーブ形				4 膨張・空気抜・補給水管	● 架橋ポリエチレン管 (ファンコイル機器接続部に限る) ● ポリブテン管 (ファンコイル機器接続部に限る)	⑨ ガス設備	② 配管材料	(ア)一般配管 ● SGP-V B ● SGP-P B ● SGP-P B ● SUS304 ● SUS316 ● H I V P ● 保温付架橋ポリエチレン管(保温厚10t)																																					
	25 塗装	各種機材のうち、下記の部分は塗装しない。(さび止め塗装は除く。) (ア)埋設されるもの(ただし、防食塗装部分を除く) (イ)垂鉛めっき以外のめっき仕上げ面 (ウ)垂鉛めっきされたもので、常時隠ぺいされる部分 (エ)垂鉛めっきされた金属電線管、鋼製架台及び支持金物類 (オ)樹脂コーティング等を施したもので、常時隠ぺいされる部分 (カ)カラー垂鉛鉄板面 (キ)アルミ、ステンレス、銅、熔融アルミニウム垂鉛鉄板面、合成樹脂製等、特に塗装の必要を認められない面 (ク)特殊な意匠的表面仕上げ処理を施した面 (ケ)主・各階機械室内等及び電気室内の垂鉛めっきされた露出ダクト及び露出配管				5 蒸気給水管	※ SGP (白) ● ステンレス鋼管 (SUS304)	⑩ 給湯設備	③ 弁類	(イ)土間下配管 ● SGP-V D ● SGP-P D ● H I V P ● SUS304 ● SUS316 (ウ)地中配管 ● SGP-V D ● SGP-P D ● H I V P ● SUS304 ● SUS316 ● 水道配水用ポリエチレン管(75~100A) ● 水道用ポリエチレン二層管(50A以下)																																					
26 ステンレス鋼管の接合方法	● 上記及び標準仕様書によらず塗装を施す部分・箇所 ()		6 蒸気還水管	※ S T P G 3 7 0 - S c h 4 0 (黒) ● ステンレス鋼管 (SUS304)	⑪ ガス設備	④ 水槽のマンホール	(エ)特記なき給水管の最小口径は20Aとする。 (オ)ビニル管の接合方法 ※ 接着接合 ● ゴム輪接合 (直管以外の継手部には離脱防止金具取付とする。) (カ)ポリエチレン管の接合方法 50A以下 ※ 金属製継手 ● 融着継手 75A以上 ※ 融着継手 ※ 口径65A以上の仕切弁及び逆止弁は、ライニング弁とする。 ● 5K (受水栓以降の配管に使用) ● 10K (公営水道に直結する配管に使用) ● 融着継手																																								
27 溶接配管の検査	非破壊検査の適用 (● 放射線透過検査 ● 浸透探傷検査又は磁粉探傷検査) 抜 取 率 (● 標準仕様書による ● %)		7 油・油用通気管	一般配管 ※ SGP (黒) 地中配管 ※ 合成樹脂被覆鋼管	⑫ 給湯設備	① 配管材料	(ア)屋内汚水管 ● V P ● R F - V P ● SGP (白) ● 排水用塩ビライニング鋼管 ● 耐火二層管 (イ)屋内排水水管 ● V P ● R F - V P ● SGP (白) ● 排水用塩ビライニング鋼管 ● 耐火二層管 (ウ)ポンプ排水管 ● V P (水道用) ● H I V P ● 排水用塩ビライニング鋼管 (圧送排水管用継手) (エ)通気管 ● V P ● R F - V P ● SGP (白) ● 排水用塩ビライニング鋼管 (オ)屋外排水管 ● V P ● R F - V P ● V U (地中) ● R E P - V U (地中) ● R S - V U ● 卵形管 ● コンクリート管																																								
⑳ 埋設表示	● 上記及び標準仕様書によらず塗装を施す部分・箇所 ()		8 冷媒管	● 断熱材被覆鋼管	⑬ 給湯設備	2 満水試験継手	3階以上にわたる排水管立て管に満水試験継手を ※ 取付ける ● 取付けない																																								
㉑ 支持金物・固定金具	呼び径60以下以下の継手は、S A S 3 2 2 を満足するものとする。		9 空調用給水管	● ステンレス鋼管 ● SGP-V A ●	⑭ ガス設備	4 煙試験	※ 施工する ● 施工しない ※ 行わなくてもよい ● 図示の系統のみ行う																																								
㉒ 総合試運転調整	ポンプ、屋外設置機器及びピット内に使用するアンカーボルト、ナットはSUS304製とする。 屋外及びピット内の配管、ダクトに使用する支持金物等はステンレス製または溶融亜鉛めっき仕上げとする。 下記事項の総合調整を行い、測定結果を監督職員に提出する。 ● 温度 ● 湿度 ● 風量 ● 騒音 ● 水量 ● 浄化槽排水水质 ● 風速 ● じんあい ● 飲料水水质 (● 一般飲料水適合検査 ●) ● その他水质等 (● 雑用水 ● 空調用流体)		10 空調用排水管	※ SGP (白) ● V P	⑮ ガス設備	① 配管材料	● SGP-H V A ● ステンレス鋼管 ● 保温付架橋ポリエチレン管(保温厚10t) ● 保温付被覆鋼管 ● 鋼管 湯沸器、給湯機器の付属配管等は製造業者標準品とする。 ※ 5K ● 10K																																								
㉓ アスベスト含有建材の処理	公共建築改修工事標準仕様書 (建築工事編) 9章 環境配慮改修工事 1節 石綿含有建材の除去工事による。 処理を行うアスベスト含有建材の仕様等		11 弁類	● 流量調整弁 ● 定流量弁 (● ダイアフラム式流量可変式 ● カートリッジオリフィス形) を取付ける。 (ア) 防煙ダンパー ※ 遠隔復帰式 ● 電気式 (動作電圧、電流はD C 2 4 V、0.7 A以下とする。) (イ) ビストンダンパー ※ 遠隔復帰式 ● ※ 低圧ダクト ● 高圧1ダクト ● 高圧2ダクト ● 長方形ダクト ● コーナボルト工法 (● 共板工法 ● スライドオンフランジ工法) ● 辺辺1500mmを超えるものはアングルフランジ工法とする。) ● アングルフランジ工法	⑯ ガス設備	2 弁類	(ア)一般配管 ● SGP (白) ● S T P G (イ)土間下配管 ● SGP-V S ● S T P G - V S (ウ)地中配管 ● SGP-V S ● S T P G - V S ※ 10K ● 16K (ア)呼水タンク ※ 施工しない ● 施工する (イ)充水タンク ※ 施工しない ● 施工する (ウ)配管の保温は次による。(屋外露出箇所は種別e3・(ハ)・VIIによる) ● 屋内消火栓用 (※ 施工しない ● 施工する) ● スプリンクラー用 (※ 施工しない ● 施工する) ● 連結送水用 (※ 施工しない ● 施工する) ● 連結散水用 (※ 施工しない ● 施工する) ● 広範囲型2号消火栓 ● 易操作性1号消火栓 ● 屋内消火栓 (● 1号 ● 2号) ● 窓素 ● I G - 5 4 1 ● I G - 5 5 ● H F C - 2 2 7 e a ● H F C - 2 3 ※ 手動 ● 自動手動切替式																																								
㉔ 補修など	工事の施工に伴い既成部分を汚染又は損傷した場合は、既成にならない補修する。 既存のコンクリート床、壁などの配管貫通部の穴開けは、原則としてダイヤモンドカッターによる。		12 ファンコイルユニット	● 断熱材被覆鋼管	⑰ ガス設備	② 配管材料	(ア)一般配管 ● SGP (白) ● S T P G (イ)土間下配管 ● SGP-V S ● S T P G - V S (ウ)地中配管 ● SGP-V S ● S T P G - V S ※ 10K ● 16K (ア)呼水タンク ※ 施工しない ● 施工する (イ)充水タンク ※ 施工しない ● 施工する (ウ)配管の保温は次による。(屋外露出箇所は種別e3・(ハ)・VIIによる) ● 屋内消火栓用 (※ 施工しない ● 施工する) ● スプリンクラー用 (※ 施工しない ● 施工する) ● 連結送水用 (※ 施工しない ● 施工する) ● 連結散水用 (※ 施工しない ● 施工する) ● 広範囲型2号消火栓 ● 易操作性1号消火栓 ● 屋内消火栓 (● 1号 ● 2号) ● 窓素 ● I G - 5 4 1 ● I G - 5 5 ● H F C - 2 2 7 e a ● H F C - 2 3 ※ 手動 ● 自動手動切替式																																								
㉕ はつり	探査方法 ※ 電磁誘導式 ● 放射線透過検査		13 ダンパー	● ステンレス鋼管 ● SGP-V A ●	⑱ ガス設備	③ ガスメータ	都市ガスはガス供給事業者の供給約款による。 (ア)一般配管 ※ SGP (白) ● 合成樹脂被覆鋼管 (イ)土間下配管 ※ 合成樹脂被覆鋼管 ● ガス用ポリエチレン管 (ウ)地中配管 ※ 合成樹脂被覆鋼管 ● ガス用ポリエチレン管 ● 親メーター ※ 借用 ● 買取 (取付け ※ 別途 ● 本工事) ● 子メーター ※ 買取 ● 借用 (取付け ※ 本工事 ● 別途) ● 縦型 ● 横型 ● 借用 ● 買取 ● 標準図 (施工73)の ● 要領 (a) ● 要領 (b) ● 要領 (c) ● 標準図 (施工74)の ● 要領 (a) ● 要領 (b) ● 不要 ● 要 (※ 別途工事 ● 本工事)																																								
㉖ 室内空気中の化学物質の濃度測定	対象箇所 ()		14 ダクト	● 流量調整弁 ● 定流量弁 (● ダイアフラム式流量可変式 ● カートリッジオリフィス形) を取付ける。 (ア) 防煙ダンパー ※ 遠隔復帰式 ● 電気式 (動作電圧、電流はD C 2 4 V、0.7 A以下とする。) (イ) ビストンダンパー ※ 遠隔復帰式 ● ※ 低圧ダクト ● 高圧1ダクト ● 高圧2ダクト ● 長方形ダクト ● コーナボルト工法 (● 共板工法 ● スライドオンフランジ工法) ● 辺辺1500mmを超えるものはアングルフランジ工法とする。) ● アングルフランジ工法	⑳ ガス設備	4 バルコ貯槽	● 小規模合併処理 (● 分離接触ばっ気方式 ● 嫌気ろ床接触ばっ気方式 ● 脱窒ろ床接触ばっ気方式) ● その他性能評価を受けた方式 () () ● 合併処理 (● 接触ばっ気方式 ● 長時間ばっ気方式 ● 回転板接触方式) ● ユニット型 ● 現場施工型 ● 処理対象人員 人 ● 処理水量 m ³ /d ● 流入BOD 200mg/L ● 放流水質BOD 20mg/L以下 ● T-N mg/L以下 ● T-P mg/L以下																																								
㉗ 火災保険等	対象箇所 ()		15 吹出口・吸込口	● 流量調整弁 ● 定流量弁 (● ダイアフラム式流量可変式 ● カートリッジオリフィス形) を取付ける。 (ア) 防煙ダンパー ※ 遠隔復帰式 ● 電気式 (動作電圧、電流はD C 2 4 V、0.7 A以下とする。) (イ) ビストンダンパー ※ 遠隔復帰式 ● ※ 低圧ダクト ● 高圧1ダクト ● 高圧2ダクト ● 長方形ダクト ● コーナボルト工法 (● 共板工法 ● スライドオンフランジ工法) ● 辺辺1500mmを超えるものはアングルフランジ工法とする。) ● アングルフランジ工法	㉑ 浄化槽設備	5 容器廻りの配管	※ 自然流下 ● ポンプ排水 ● 砂 ● 根切土の中の良質土 ● 不要 ● 要 (図示による)																																								
㉘ グリーン購入	対象箇所 ()		16 チャンパー等	● 流量調整弁 ● 定流量弁 (● ダイアフラム式流量可変式 ● カートリッジオリフィス形) を取付ける。 (ア) 防煙ダンパー ※ 遠隔復帰式 ● 電気式 (動作電圧、電流はD C 2 4 V、0.7 A以下とする。) (イ) ビストンダンパー ※ 遠隔復帰式 ● ※ 低圧ダクト ● 高圧1ダクト ● 高圧2ダクト ● 長方形ダクト ● コーナボルト工法 (● 共板工法 ● スライドオンフランジ工法) ● 辺辺1500mmを超えるものはアングルフランジ工法とする。) ● アングルフランジ工法	㉒ 浄化槽設備	6 容器転倒防止	● 不要 ● 要 (図示による)																																								
㉙ 鳥取県公共工事環境配慮指針	対象工事		17 消音内貼り	● 流量調整弁 ● 定流量弁 (● ダイアフラム式流量可変式 ● カートリッジオリフィス形) を取付ける。 (ア) 防煙ダンパー ※ 遠隔復帰式 ● 電気式 (動作電圧、電流はD C 2 4 V、0.7 A以下とする。) (イ) ビストンダンパー ※ 遠隔復帰式 ● ※ 低圧ダクト ● 高圧1ダクト ● 高圧2ダクト ● 長方形ダクト ● コーナボルト工法 (● 共板工法 ● スライドオンフランジ工法) ● 辺辺1500mmを超えるものはアングルフランジ工法とする。) ● アングルフランジ工法	㉓ 浄化槽設備	7 ガス漏れ警報器	※ 製造者標準仕様 (ロック式) ● MHA型 (ボルト式) 3ヶ月相当分を納入する。																																								
㉚ 建築物省エネ法	対象工事		18 瞬間流量計及び流量測定口	● 流量調整弁 ● 定流量弁 (● ダイアフラム式流量可変式 ● カートリッジオリフィス形) を取付ける。 (ア) 防煙ダンパー ※ 遠隔復帰式 ● 電気式 (動作電圧、電流はD C 2 4 V、0.7 A以下とする。) (イ) ビストンダンパー ※ 遠隔復帰式 ● ※ 低圧ダクト ● 高圧1ダクト ● 高圧2ダクト ● 長方形ダクト ● コーナボルト工法 (● 共板工法 ● スライドオンフランジ工法) ● 辺辺1500mmを超えるものはアングルフランジ工法とする。) ● アングルフランジ工法	㉔ 浄化槽設備	9 消毒薬																																									
㉛ 耐震施工	設備機器の固定は、次に示す設計用地震力に耐える方法とする。ただし、重量1kN以下の一般機器について、製造者の指定する固定方法を採用する場合は、この限りではない。 (1) 機器の据付け及び取付け 設計用水平地震力は、機器の重量 (自由表面を有する水槽その他の貯槽にあっては有効質量) [kN]に、地域係数と次に示す設計用標準水平震度を乗じたものとする。 設計用標準水平震度		19 定風量・変風量ユニット	● 流量調整弁 ● 定流量弁 (● ダイアフラム式流量可変式 ● カートリッジオリフィス形) を取付ける。 (ア) 防煙ダンパー ※ 遠隔復帰式 ● 電気式 (動作電圧、電流はD C 2 4 V、0.7 A以下とする。) (イ) ビストンダンパー ※ 遠隔復帰式 ● ※ 低圧ダクト ● 高圧1ダクト ● 高圧2ダクト ● 長方形ダクト ● コーナボルト工法 (● 共板工法 ● スライドオンフランジ工法) ● 辺辺1500mmを超えるものはアングルフランジ工法とする。) ● アングルフランジ工法	㉕ 浄化槽設備																																										



外構図



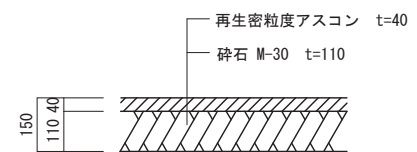
—配管凡例—

給水管	(屋内) 架橋ポリエチレン管 (保温厚10mm付) (屋外露出) ガス給湯器まわり: SGP-VB (屋外埋設) 量水器まで: 水道用ポリエチレン二層管 量水器以降: H I V P
給湯管	(屋内) 架橋ポリエチレン管 (保温厚10mm付) (屋外露出) ガス給湯器まわり: SGP-HVA
雑排水・汚水管	(屋内) VP (屋外露出) カラーVP (屋外埋設) VP
LPG配管	(屋内) SGP (白) (屋外露出) SGP (白) (屋外埋設) ポリエチレン被覆鋼管
雨水管	(屋外埋設) VU

—衛生設備配管保温仕様—

配管名	施工場所	仕様
給水管	住戸内全て	架橋ポリエチレン管 (保温厚10mm付)
	屋外露出	ポリスチレンフォーム20t+ポリフィルム+ステンレス鋼板
	給湯器カバー内	グラスウール20tアルミガラス化粧筒
給湯管	住戸内全て	架橋ポリエチレン管 (保温厚10mm付)
	屋外露出	グラスウール20t+ポリフィルム+ステンレス鋼板
	給湯器カバー内	グラスウール20tアルミガラス化粧筒

町道AS舗装構成参考図



特記事項

- 町道の水道本管からの給水分岐は本工事とする。
 部分はアスファルト復旧範囲を示す。(土工事後舗装共)
 部分は未舗装部分の掘削、埋戻し範囲を示す。(配管周囲は山砂の類で埋戻し)
- は埋設表示 (RC) を示す。
- 図中の太線は新設を示す。細破線は別途工事または備品を示す。



一級建築士事務所 登録番号 鳥取県第03-1035号

その建築設計時事務所

米子市河崎1746-17 TEL(0859)30-0100 FAX(0859)30-0101
 監理責任者一級建築士登録番号236776 山本 博樹

検印	担当	作図	作図	R6年3月 日
				SCALE
				1/100

工事名	黒坂警察署多里駐在所新築工事	M-03
図面名	機械設備工事 配置図	06

衛生器具リスト

名称	参考品番	仕様・付属品	便所 事務室	トイレ 住居	LDK	洗面脱衣室	屋 外	合 計
洋風大便器	CS232B	SH233BA(手洗付), TCF6623(洗浄便座), YH51R(紙巻器), YT51R(対ル掛け)	1	1				2
手すり	T112CL10	腰掛便器用手すりL型, 樹脂被覆タイプ	1					1
洗濯機パン	PWSP80J2W	800サイズ, 樹脂製 縦引トラップ共				1		1
ストレート止水栓		流し台付属混合水栓用			2			2
洗濯機用水栓	TW11R					1		1
不凍ホーム水栓							1	1
不凍水栓柱		1, 200H					1	1
ガーデンパン	550G型	参考寸法: 550×500×183H, レジコン製, 鎖付ゴム栓共					1	1
ガスコック		2口 (15A, L型, ヒューズ式)			1			1
洗面化粧台	LDBA060BAGMS1A	間口600タイプ, L型-混合栓, ストレート型止水栓(床給水)×2, ストラップ ※下部収納扉の取手部分にタオルを掛けられる形状のもの				1		1
化粧鏡	LMBA060B1GDG1G	間口600タイプ 照明, 1面鏡				1		1

※流し台及びUBの各水栓は器具本体の付属品とする。

衛生機器表

記号	名称	仕様	参考電気容量	数量	
GH-1	ガス瞬間給湯器	形式	屋外壁掛形、先止め式、給湯専用、給湯給湯接続サイズ20A	1φ 100V 44W (凍結防止ヒータ)	1
		能力	20号		
		燃料消費量	LPG 42.6KW		
		付属品	台所リモコン(コード7m)、浴室リモコン(コード9m)、配管カバー600H		
			アース線付プラグ、接地用配線、他付属品共		

汚水樹寸法リスト

記号	樹種	仕様及び参考寸法	地盤高さ	管底高	樹深さ	蓋	備考
①	小口径樹	100×200×90L, 塩ビ製	GL±0 (BM+700)	GL-400	400H	塩ビ製蓋	
②	"	100×200×90Y, 塩ビ製	GL±0 (BM+700)	GL-440	440H	"	
③	"	100×200×90Y, 塩ビ製	GL±0 (BM+700)	GL-470	470H	"	
④	"	100×200×90YWS, 塩ビ製	GL±0 (BM+700)	GL-510	510H	"	
⑤	"	100×200×90L, 塩ビ製	GL±0 (BM+700)	GL-650	650H	"	
⑥	"	100×200×90Y, 塩ビ製	GL±0 (BM+700)	GL-850	850H	"	
⑦	"	100×200×ST, 塩ビ製	GL-100 (BM+600)	GL-820	820H	防護蓋(T-14)	
⑧	"	100×200×DR, 塩ビ製	GL-250 (BM+450)	GL-1310	1310H	"	
⑨	(既設)公共樹		GL-200 (BM+500)	GL-1400	1400H	"	天端高さ調整

※リストに記入の数値は参考寸法とする。勾配は1/50以上とする。

雨水樹寸法リスト

記号	樹種	仕様及び参考寸法	地盤高さ	管底高	樹深さ	蓋	備考
A	小口径樹	100×150×90Y, 塩ビ製	GL±0 (BM+700)	GL-300	300H	塩ビ製蓋	
B	"	100×150×90Y, 塩ビ製	GL±0 (BM+700)	GL-360	360H	"	
C	"	100×150×90L, 塩ビ製	GL±0 (BM+700)	GL-300	300H	"	
D	"	100×150×90L, 塩ビ製	GL±0 (BM+700)	GL-340	340H	"	
E	"	100×150×90Y, 塩ビ製	GL±0 (BM+700)	GL-355	355H	"	
F	"	100×150×90Y, 塩ビ製	GL±0 (BM+700)	GL-375	375H	"	
G	"	100×150×DR, 塩ビ製	GL±0 (BM+700)	GL-850	850H	"	計2ヶ

※リストに記入の数値は参考寸法とする。勾配は1/100以上とする。

空調・換気機器リスト

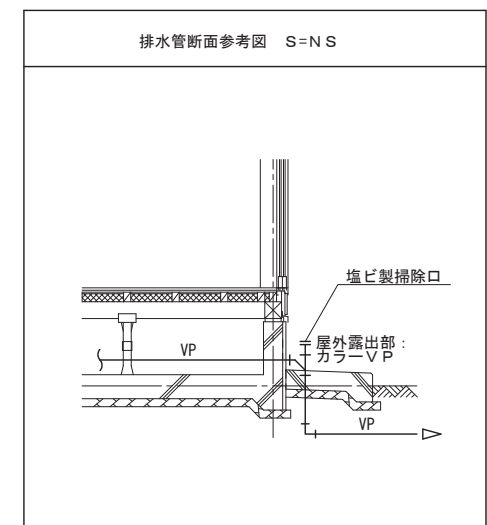
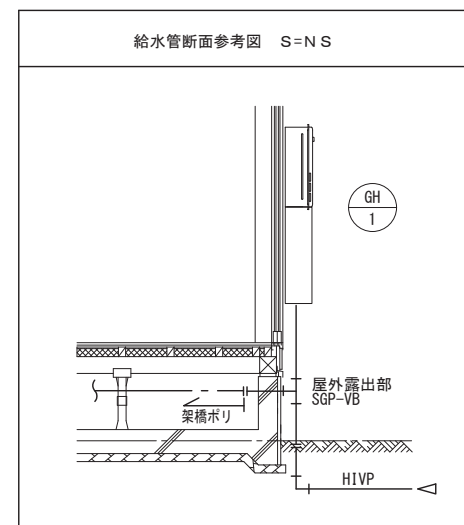
記号	名称	仕様	電気容量	数量	設置場所・備考	
AC-1	ルームエアコン	形式	壁掛形、インバーター制御	1φ 100V 圧縮機 650W F(内) 28W F(外) 22W	1	事務室
		能力	冷房能力 2.8KW 暖房能力 3.6KW			
		付属品	ワイヤレスリモコン、ドレンアップ			
			室外機用鋼製架台300H、緑石共			
FE-1	天井埋込換気扇	形式	低騒音タイプ	1φ 100V 10.0W	1	地域交流室
		風量	100φ×60m3/h×15Pa			
		付属品	100φSUS製深形フード(防虫網付)共			
FE-2	天井埋込換気扇	形式	低騒音タイプ	1φ 100V 5.0W	2	便所・控室
		風量	100φ×40m3/h×15Pa			
		付属品	100φSUS製深形フード(防虫網付)共			
FE-3	天井埋込換気扇	形式	低騒音タイプ	1φ 100V 10.0W	1	トイレ
		風量	100φ×50m3/h×15Pa			
		付属品	100φSUS製深形フード(防虫網付)共			
FE-4	天井埋込換気扇	形式	浴室用、二部屋換気用、低騒音タイプ	1φ 100V 20.0W	1	UB
		風量	100φ×70m3/h×20Pa			
		付属品	100φSUS製深形フード(防虫網付)共			
FE-5	レンジフード		本体は建築工事		(1)	LDK
			150φダクト接続・SUS製深形フード(防虫網付)及び取付本工事			

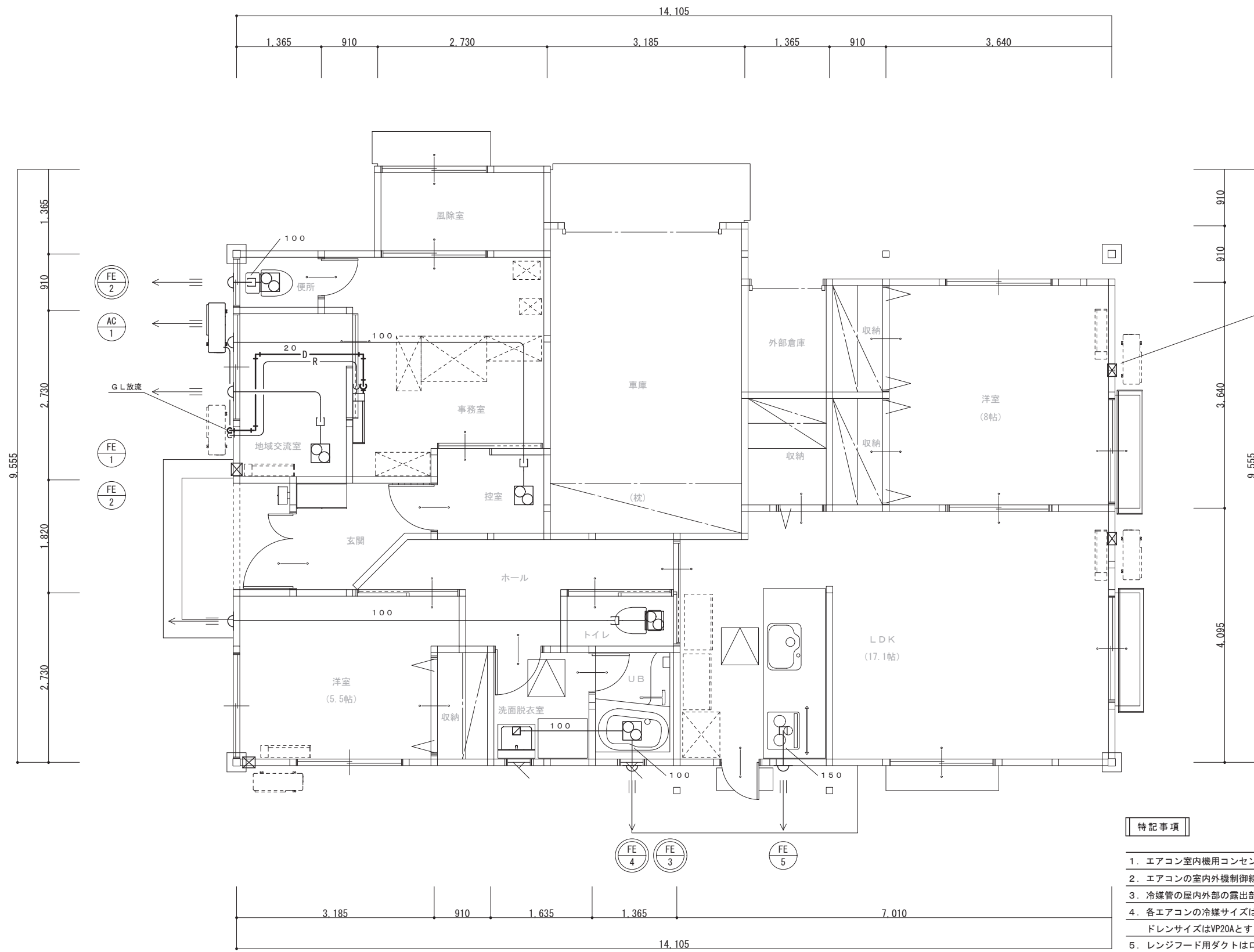
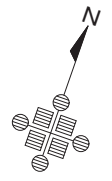
[特記事項]

※エアコンの能力はJIS標準条件(JISC9612)による。

※室外機架台は溶融亜鉛メッキ仕上げとする。

※深形フードは全て指定色焼付塗装品とする。





エアコン用スリーブ75φ×4ヶ所
(ウォールキャップ・穴蓋付)

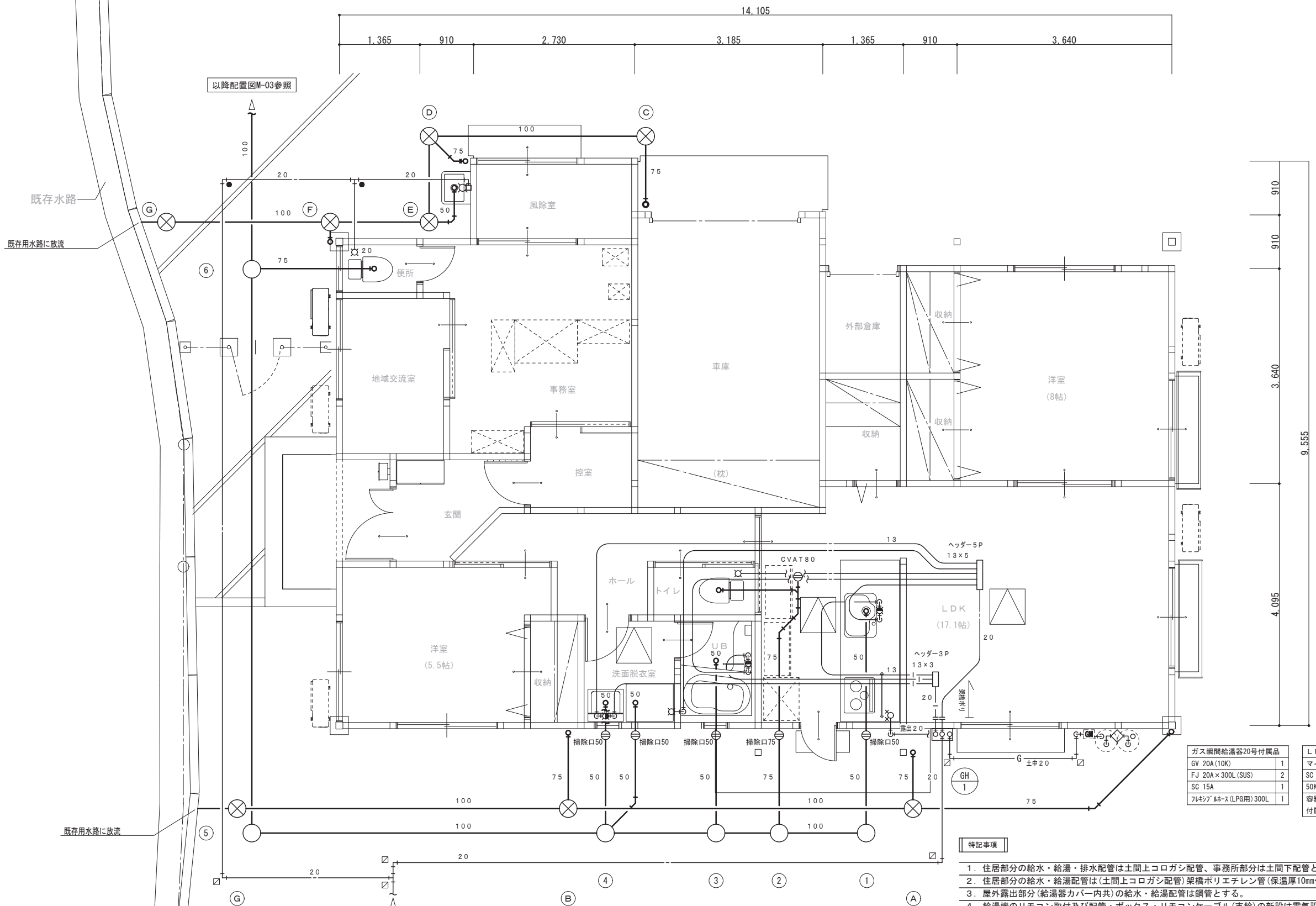
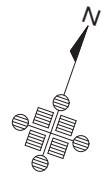
特記事項

1. エアコン室内機用コンセント新設は電気工事とする。
2. エアコンの室内外機制御線 (EM-EF1.6mm-3C) は冷媒管共巻施工とする。
3. 冷媒管の屋内外部の露出部には樹脂製化粧カバー (ドレン収納共) を使用すること。
4. 各エアコンの冷媒サイズは6.35φ (保温10t) × 9.52φ (保温20t) ドレンサイズはVP20Aとする。
5. レンジフード用ダクトはロックウール保温材50tにて断熱施工とする。
6. 図中機器番号◎印は24時間運転とする。
7. 指示無き配管・ダクトは天井内を示す。
8. 図中の太線は新設を示す。細破線は別途工事または備品を示す。

1階 平面図 S:1/100



一級建築士事務所 登録番号 鳥取県第03-1035号 その建築設計時事務所 米子市河崎1746-17 TEL(0859)30-0100 FAX(0859)30-0101 監理責任者一級建築士登録番号236776 山本 博樹		検印 	担当 	作図 	作図 	R6年3月 日 SCALE 1/100	工事名 鳥取県警察署多里駐在所新築工事	図面名 機械設備工事 空調・換気設備 平面図	M-05 06
---	--	--------	--------	--------	--------	---------------------------	------------------------	---------------------------	------------



ガス瞬間給湯器20号付属品	LPG集合装置付属品
GV 20A (10K)	マイコンガスメーター (貸与品)
FJ 20A×300L (SUS)	SC 20A
SC 15A	50K-2本集合装置一式
フレキシブル給湯器(LPG用)300L	容器スライド (専用ワット共)、参考品番: HYS-50CB
	付属品: 横ズレ防止杭、チェーンフック

- 特記事項**
1. 住居部分の給水・給湯・排水配管は土間上コロガシ配管、事務所部分は土間下配管とする。
 2. 住居部分の給水・給湯配管は(土間上コロガシ配管)架橋ポリエチレン管(保温厚10mm付)とする。
 3. 屋外露出部分(給湯器カバー内共)の給水・給湯配管は鋼管とする。
 4. 給湯機のリモコン取付及び配管・ボックス・リモコンケーブル(支給)の新設は電気設備図面を参照すること。
 5. ●は埋設表示(ピン)・□(RC)を示す。
 6. 図中の太線は新設を示す。細破線は別途工事または備品を示す。

1階 平面図 S:1/100

